

仙台市博物館年報

第 48 号

令和 2 年度

目 次

ごあいさつ

1. 令和2年度の事業について	2
概要／新型コロナウイルス感染症への対応／防煙垂れ壁の落下とその対応／ 令和3年2月13日の福島県沖地震による被害とその対応	
2. 震災10年への取り組み	6
3. 展示	6
常設展示／国指定文化財の公開／企画展	
4. 資料の収集保管	41
受贈資料／購入資料／寄託資料／資料修理／資料保存／資料の貸出／ 写真資料の貸出・利用／収蔵指定文化財一覧／収蔵資料一覧	
5. 教育・普及	47
講座・イベント／プレイミュージアム／情報資料センター／ 学校教育との連携／生涯学習施設との連携（SMMA・歴ネット）／ 「特集震災10年」関連パネル展示／広報／刊行物・グッズ等	
6. 調査・研究	61
7. 仙台市史活用推進事業	65
8. ボランティア	67
9. 友の会	69
10. 組織・予算・運営	70
組織・事務分掌／予算概要／職員／仙台市博物館協議会	
11. 利用状況	73
月別観覧者数／施設利用状況／講師等利用状況／視察対応状況	
12. 条例・規則・要綱等	75
仙台市博物館条例／仙台市博物館条例施行規則／ 仙台市博物館資料取扱要綱／ 仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱	
仙台市博物館のあゆみ	84

ごあいさつ

2020年（令和2年）は、新型コロナウイルス感染症が世界に広がり、多くの人命を奪い、人々の生活を一変させてしまった年として記憶されることになるでしょう。あらゆるところで感染を防ぐための取り組みが必要となり、世界中のミュージアムも休館や活動の見直しを迫られることとなりました。当館においても、4月11日から5月18日まで臨時休館となり、開館にあたっては、感染症対策を講じ、展覧会をはじめとする諸事業を検討し直しました。

また感染症の影響とは別に、8月9日には、当館1階ロビーの防煙垂れ壁が落下したことにより、その改修工事のために同日より10月5日まで休館しました。さらに令和3年2月13日に発生した福島県沖地震によって建物や設備に損傷を受けたことにより、その修繕のため2月14日から休館に入り、この間、宮城県内の感染症が広がったこともあり、開館できたのは5月12日となってしまいました。このように、本年度の当館の活動は、3度の臨時休館という厳しい事態が続く中でのもとなりました。

展覧会活動では、感染症拡大防止のために、予定していた3つの企画展は全て中止し、代わりに規模を縮小して、常設展の特集展示としてそれぞれのエッセンスを紹介しました。このうち、春に予定していた企画展は、時期を冬に変えて特集展示「福島美術館の優品」として開催し、仙台市民に親しまれてきた福島美術館の軌跡を、優れた美術品や歴史資料とともに紹介しました。夏には、慶長遣欧使節派遣の背景となった当時の海外交流の様子にも注目した特集展示「支倉常長帰国400年」を、秋には、仙台藩主の描いた絵画や藩に仕えた絵師の作品を紹介する特集展示「仙台藩の絵画」を開催しました。また本年度は、東日本大震災発災から10年となることを受け、常設展示の中で「特集震災10年－災害を生き延びた人々」と題して、仙台地方の災害の歴史や、東日本大震災の被災及び当館が行った資料レスキューの様子を紹介する展示を行いました。

教育普及事業についても、感染症対策のために様々な変更や新たな試みを行いました。例えば講座やイベントは規模を縮小し、オンラインでの配信も一部導入しました。学校団体の観覧時には、人数を分散しての見学をお願いしました。広報活動では、臨時休館や人々の移動が制限される社会状況を踏まえ、インターネットによる情報発信に力を入れました。

仙台市史活用推進事業では、これまで力を入れてきた講座に加えて、展示という手法にも積極的に取り組み、特集展示「『仙台市史』の収集資料－古文書・記録・絵画－」として、市史編さんの成果を紹介しました。

以上のような、厳しい状況の中での新たな試みは、今後の活動の糧になるものと考え、より良い方向に発展させていきたいと存じます。

なお、当館は令和3年に開館60周年を迎えます。現在の建物は建てられてから35年を経過し、設備の老朽化が進みました。このため令和3年10月から令和6年3月まで大規模改修のため長期休館に入る予定です。利用者の皆様には大変なご不便をおかけいたしますが、将来にわたって博物館活動を行うための工事であることをご理解いただき、引き続き当館の活動にご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

仙台市博物館
館長 高橋 泰

1. 令和2年度の事業について

概要

令和2年度は、当館の事業に影響を及ぼす3つの大きな出来事があり、それぞれについて対応を迫られることとなった。1つ目は前年度からの新型コロナウイルス感染症の流行であり、2つ目は8月の1階ロビーにおける防煙垂れ壁の落下、3つ目は令和3年2月13日に発生した福島県沖地震である。これらに関わる主な事項を時系列でたどると次のようになる。

令和2年4月1日

新型コロナウイルス感染防止策を講じたうえで開館（前年度末の設備改修による3カ月の臨時休館を経ての開館）。

4月11日～5月18日

国の新型コロナウイルス緊急事態宣言に伴う感染拡大防止のため臨時休館（市有各施設とも）。

5月19日

再開館。

8月9日

1階ロビーの防煙垂れ壁が落下。

8月9日正午～10月5日

防煙垂れ壁の点検及び更新工事のため臨時休館。

10月6日

再開館。

令和3年2月13日

福島県沖地震発生。

2月14日～5月11日

地震被害箇所の修繕及び感染症対策のため臨時休館（市有各施設は感染症対策のため3月26・27日～5月11日臨時休館）。

5月12日

再開館。

以下、3つの出来事について当館の状況と対応を述べる。

新型コロナウイルス感染症への対応

1. 対応体制の整備

通常業務とは別に感染症対策業務が種々必要となるため、その体制を整えることとした。その業務とは、(1)館内での感染拡大を防止する策を講じること、(2)博物館活動のガイドラインを策定すること、(3)事業の見直しを行うこと、(4)臨時休館中にも情報を発信する策を講じることなどである。

(1)は主に庶務係が担い、(2)～(4)は主に学芸企画室・学芸普及室が担った。また、それぞれの業務を束ねる対策本部会議を随時開催し、館としての方針を決定した。

2. 対応策の内容

(1) 館内の感染拡大防止策

① 衛生上の感染防止策

宮城県内外から多数の来館者を迎える施設として、館内での感染拡大を防止するために以下の対策を講じた。

- ・自動手指消毒器等消毒液の設置
- ・トイレ洗面所の蛇口の一部自動化
- ・入口へのサーマルカメラ設置
- ・窓口カウンターへのアクリル板等の設置
- ・館内共有場所の定期的消毒
- ・観覧時の一定間隔確保の呼びかけ
- ・館内表示やホームページへの掲載によるマスクや咳エチケット等の協力の呼びかけ

② 施設・設備の利用制限

- ・ミニシアターの閉室（番組は展示エリア内出口付近でモニター上映）
- ・プレイミュージアムの閉室
- ・情報資料センターの閉室（10月6日より人数・時間制限のうえ開室）
- ・水飲み場の閉鎖
- ・休憩スペースのソファ、椅子の削減
- ・レストランの座席の削減、時間短縮営業
- ・ミュージアムショップの時間短縮営業



入口に設置したサーマルカメラ



チケット売り場のアクリル板とマスク着用をお願いする表示

(2) 博物館活動のガイドライン策定

国や仙台市のガイドラインに示されている密閉・密集・密接を回避する考え方に基づいて策定した。主な点は以下のとおり。

- ① 展示室について、各室とも観覧者同士の間隔を2メートル確保することを目安に、観覧者数を制限する。
- ② 講演会等について、参加者数の上限は、ホールを44人（定員204人）、講習室を21人（定員60人）とする。また、時間は60分程度以内とする。

(3) 事業の見直し

全国や宮城県の感染状況を踏まえ、かつ国や仙台市のガイドラインに基づきながら、予定していた事業を絶えず見直すことが求められた。事業によっては、大幅な変更を加えながら開催したものや、やむを得ず中止したものがあつた。以下にその要点を述べる（詳細は本年報の各項目を参照されたい）。

① 展示

i 常設展示

前述のとおり、ミニシアターとプレイミュージアムは閉室した。また、引き出し式の浮世絵

ケースや、音声ガイドの貸出サービス、及びタッチパネル式の情報検索システム等についても休止した。

ii 企画展

広範な広報によって多くの来場者を期待する企画展については、3つの全てについて中止とし、代わりに常設展示の中での特集展示として、規模を縮小しながらも企画展のエッセンスを紹介する展示を行った。

② 教育・普及

i 講座・イベント

講座や講演会は、やむを得ず中止したものもあつたが、募集人数を縮減し、感染防止対策を講じたうえで開催したものもあつた。また、対面式ではなく、オンラインでの配信型の講座も開催した（東北工業大学との連携による「まちなか博物館講座」）。

イベントにおいても、密閉・密集・密接の状況を生じかねないものは中止し、これらを受け得るものについて感染防止策を講じたうえで開催した。

ii 学校教育との連携

学校団体の見学受け入れについては、人数を分散していただくなどの対策をお願いした。

学校教員対象の講座や研修については、一部を除いて中止した。また学芸員資格取得を目指す学生を対象とする博物館実習も中止せざるを得なかった。

③ 生涯学習施設との連携

当館はSMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）の研修部会の一員として、コロナ禍におけるミュージアムの情報発信の手法をテーマに取り上げた研修会を開催した。

例年開催され、当館も参加してきたSMMAのミュージアムユニバースは中止となった。

④ 広報

新型コロナウイルス及び防煙垂れ壁落下、そして地震により、当館の活動は休止もしくは変更を余儀なくされる事態が断続的に起き、その周知を図るために、「仙台市博物館だより」の内容・発行時期を変更し、またホームページやツイッターでの周知を頻繁に行った。

⑤ 仙台市史活用推進事業

くずし字講座は中止としたが、仙台市史講座

や図書館連携講座は、人数を縮減し、感染防止対策を行ったうえで実施した。

また『市史せんだい』Vol.30の発行を予定していたが、掲載予定の座談会が中止となり、発行は令和3年度に延期することとした。

⑥ボランティア活動の支援

展示解説活動は対面式であるため、休止せざるを得なかった。また、解説のための学習活動や、運営のための会合については、年度後半に再開したが、地震後の臨時休館によって再び休止することとなった。

⑦友の会活動の支援

友の会会員向けの特集展示の広報セミナーは、2回に分けて参加者数を分散させる方式で実施した。また、日帰り研修会は中止したが、他施設への見学セミナーは感染防止対策を講じたうえで実施した。

(4) 情報発信

臨時休館があり、また開館したとしても、市民が外出を控える社会状況の中で、博物館のもつ歴史・文化にまつわる情報を市民に届けるために、インターネットを用いた新たな手法の開拓を行った。

主なものとして、動画の制作、配信が挙げられる。まず重要文化財に指定された伊達家文書と藩主の印章を紹介する動画を伊達武将隊と共同で2本制作し、配信した。続いて3つの特集展示の内容を伝えるものを各2本ずつ、合計6本をYouTubeで配信した。また常設展示の一部を紹介する動画を2本制作し、これについては令和3年度に配信する予定である。

また開催を見送った企画展で展示する予定だった資料を「おうちで楽しむ展覧会」として紹介するページや、「チャレンジ！おうちで楽しむ博物館」と題して、「もんきりがた遊び」等の自宅での作り方を紹介するページを当館のホームページに掲載した。

このようなインターネットを用いる手法は、各地のミュージアムが取り組んでいるものである。例えば北海道博物館のホームページに設けられた「おうちミュージアム」は、家で楽しみながら学べるアイデアを発信する館を紹介する企画であり、当館をはじめ全国の200を超える館が登録している（令和3年5月現在）。

なお、詳細は本年報の「5. 教育・普及」の「広報」の項を参照されたい。

防煙垂れ壁の落下とその対応

1. 落下と臨時休館、及び緊急工事

8月9日（日）10時40分頃、当館1階ロビー中央階段脇の防煙垂れ壁が落下した。防煙垂れ壁とは、火災発生時に煙の流動を防ぐために天井に設置される下り壁のことで、当館の場合はガラス製であった。当該場所の垂れ壁は全長22メートルで12枚のガラスからなり、落下して割れたのは中央の2枚である。



落下した防煙垂れ壁



交換工事が終わった防煙垂れ壁

開館中のことであったが、幸い付近に観覧者はおらず、怪我人はなかった。館内には同様の防煙垂れ壁が各所にあり、安全確認が必要との判断から、同日昼より急遽臨時休館とした。同時に、ツイッター・記者会見等にその旨を掲載し、周知を図った。

その後、仙台市都市整備局公共建築部営繕課等と状況を確認、検討し、館内13カ所の防煙垂れ壁全ての緊急点検及び工事が終了するまで臨時休館とすることとした。工事では、垂れ壁をガラス製から軽量不燃シートに交換した。安全確認を経て、10月6日（火）より開館した。

2. 落下の原因

営繕課の検討結果によれば、防煙垂れ壁を支えている吊り金具の根元が錆びて天井レールに固着して

いたため、地震時に揺れ幅が大きくなる中央部付近の吊り金具に疲労亀裂が発生して破断し、ガラスが落下したものと考えられる、という。この検討結果については、令和3年5月21日(金)、当館ホームページに掲載した。

令和3年2月13日の福島県沖地震による被害とその対応

1. 当館の被害

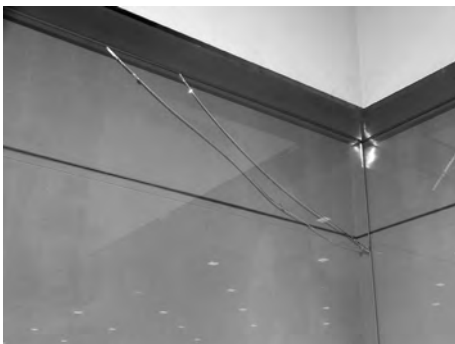
令和3年2月13日(土)23時8分頃に福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震があり、当館が所在する仙台市青葉区の揺れは震度5強であった。

この地震で当館は建物及び設備に被害を受けたため、翌2月14日(日)より臨時休館とした。主な被害は以下のとおりである。

- ・1階エントランスホールのスプリンクラーヘッド落下による水損
- ・館内天井各所における部材の落下
- ・館内各所の壁石の破損
- ・1階ロビー南側窓ガラスの割れ
- ・総合展示室及び企画展示室をはじめとする展示ケース各所のガラスの割れ、亀裂
- ・企画展示室の展示ケース開閉機構の破損



スプリンクラーが破損し、水に浸かったエントランスホール



企画展示室展示ケースの割れたガラス

2. 臨時休館と修繕

館内の設備点検を行い、上記の破損箇所及び修繕が必要な箇所について修繕を行った。

この間臨時休館とし、4月下旬の一部開館を目指していたが、3月26日(金)より、宮城県・仙台市緊急事態宣言の発令に伴い、新型コロナウイルス感染拡大防止のために市有各施設が臨時休館となり、これが5月11日まで延長されたことにより、当館の開館も5月12日(水)となった。

開館にあたっては、展示ケースの修繕が終了していない総合展示室を除く全ての展示室を開室した。なお、企画展「仙台市博物館開館60周年記念祭「たっぷり わくわく 名品尽し」」は当初4月23日(金)からの開催を予定していたが、上記の事情により5月12日からの開催となった。

2. 震災10年への取り組み

当館では東日本大震災以後、被災した歴史資料等の資料レスキュー活動や、刊行物やパネル展示等を通じて仙台市域の災害の歴史を紹介する取り組みを継続して行ってきた。

本年度は東日本大震災から10年となることを受け、これまでの活動の成果として、常設展示やパネル展示、さらに館外文化施設等との連携事業などを展開した。常設展示については、旬の常設展2020年冬において「特集震災10年—災害を生きた人々」と題する展示を行った。この展示では、総合展示室内の複数のケースにおいて江戸時代から近代にかけて、仙台地域でおきた地震・風水害・疫病・凶作などの様々な災害について、残された記録から災害に向き合いながら生きた人々の姿を紹介した。また、コレクション展示室Ⅱでは、東日本大震災で被災した資料のレスキュー活動と仙台平野の地震の歴史について、レスキューした資料などを用いて紹介した(31・40頁を参照)。

また、同時期にミュージアムストリートでパネル展示「仙台市域の災害の記録」および「東日本大震災が仙台市沿岸部地域に与えた影響と現在のようす」、「東日本大震災後の仙台市沿岸部の風景」を行った(57頁参照)。

館外での取り組みについては、SMMA参加館のうち仙台市歴史民俗資料館とせんだい3.11メモリアル交流館と連携し、クロスイベントとして3館でパネル展示を同時開催した(55頁参照)。

また、仙台国際センターで行われた「仙台防災未来フォーラム2021」にて、資料レスキュー活動等の紹介パネルをブース展示した(67頁参照)。

なお、常設展示・クロスイベントは令和3年2月13日に発生した地震および新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会期中で中止を余儀なくされたが、今後もこうした取り組みを継続することが当館の役割として求められるだろう。

3. 展示

常設展示

令和2年度は、3度の臨時休館による影響が常設展示にも及んだ。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため(4/11~5/18)、防煙垂れ壁落下による点検・工事等のため(8/9~10/5)、福島県沖を震源とする地震被害の点検・修繕等のため(2/14~5/11)、以上の3度の期間について臨時休館したことから、年間(4/1~2021.3/31)の開館日数は計188日であった。

(1) 展示概要と使用展示室

常設展示室は、総合展示室、特集展示室、テーマ展示室Ⅰ・Ⅱ、コレクション展示室Ⅰ・Ⅱ、プレイミュージアムの合計7室で構成される。

総合展示室では古代から中世、そして現在の町の骨格が形成された近世を経て、近代都市へと変貌する仙台の様子を、「むかしの仙台」「伊達政宗、仙台へ」「城」「藩」「町」「近代都市へのあゆみ」の6ゾーンに分けて紹介し、特に仙台城や城下町仙台に関する情報を充実させている。

隣接する特集展示室は、通史的な展示では紹介しにくい資料などを、様々なテーマのもとに展示している。本年度は重要文化財指定を記念した「伊達家文書と藩主の印章」など、計5回実施した特集展示の会場として使用したほか、近代の仙台画壇をテーマとする展示を行った。

2室あるテーマ展示室のうち「仙台藩の武器・武具」と題されるⅠについては、仙台藩歴代藩主の具足をはじめ、陣羽織・刀剣などを展示、「慶長遣欧使節」と題されたⅡでは、「慶長遣欧使節関係資料」を展示している。なお、両展示室はともに前・奥室の2空間から成るが、Ⅱの奥室については資料保存の観点から閉室する場合もあった。

2つのコレクション展示室では、当館の特徴的なコレクション類を特集して展示している。Ⅰでは、茶道具や古人形・漆工芸・陶磁器を展示している。通常であれば、この展示室の前には引き出し式の特別ケースを設置し、浮世絵を常時展示していたが、ケースへの接触を伴う展示形態であることから、令和2年度は年間を通じて展示することができなかった。Ⅱでは、

主として絵画を展示しているが、本年度は「支倉常長帰国400年」・「福島美術館の優品」の2度の特集展示において絵画以外の資料も展示した。

これら展示室のほか、具足などの複製資料や郷土玩具などを豊富にそろえた体験型展示を行うプレイミュージアムがある。大人から子供まで楽しめる展示は来館者アンケートでも好評を得てきたが、本年度は体験型展示を運用することができず、やむなく年間を通じて閉室となった。しかし当館ホームページで配信した「チャレンジ!おうちで楽しむ博物館」など、プレイミュージアムで提供してきた展示素材を活用した事業を別実施した。その詳細については、「5. 教育・普及プレイミュージアム・広報」の項を参照されたい。

(2) 令和2年度の常設展示

現在、10万点近くを収蔵している当館の資料を可能な限り数多く展示し、来館者が楽しめるよう、春夏秋冬と年4回の展示替えを実施した。各季とも臨時休館による影響はあったものの、それぞれの展示コーナーでは学芸員が日頃の研究を生かし、様々な切り口による展示を試みている。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した3つの企画展に代わり、そのエッセンスを詰め込んだ特集展示を開催した。

①特集展示「支倉常長帰国400年」

(7/21～8/9)

②特集展示「仙台藩の絵画」(10/6～11/23)

③特集展示「福島美術館の優品」(12/1～1/31)

それぞれ複数の展示室を使用した展示であったが、いずれも企画展と呼んで差し支えない規模と内容を備えていた。それらを常設展の流れの中に組み込みつつ、特集展示として楽しんで頂けるよう構成した。

また、2021年は東日本大震災の発災から10年を迎えることから、各展示ゾーンに共通テーマ「特集震災10年」を設定した常設展示も実施した。特集展示室での『仙台市史』の収集資料の展示や、コレクション展示室Ⅱでのレスキュー資料の展示など、初めての企画を含む充実した内容であったが、令和3年2月13日に発生した福島県沖地震によって館内設備に被害があったことから、臨時休館とともに展示を終了した。

なお、常設展の展示替えの詳細については、小テーマは次頁「表1」を、その具体的な展示資料については後掲「常設展示資料目録(抄録)」を参照されたい。

(3) 外国人来館者への配慮

外国人来館者に、展示をより深く理解していただくために、当館では以下のような取り組みを行っている。

- 1 英・中・韓3カ国語対応の音声ガイドの導入
- 2 英・中・韓3カ国語パンフレットの作成
- 3 小テーマの解説への英・中・韓3カ国語併記
- 4 展示資料のキャプションへの英文併記

ただし、1 音声ガイドは接触を伴う機器を使用する必要があることから今年度は運用を停止した。

(4) 今後の課題等

各コーナーのテーマや資料が入れ替わりながら、全体としては常に仙台の歴史と文化を概観できる、という当館の常設展の特色を一層生かせる工夫を推し進めていきたい。

表1 令和2年度展示替え一覧

展示室	ゾーン	コーナー	旬の常設展2020春 「伊達政宗と家臣たち」ほか (4/1-4/10、5/19-6/21)	旬の常設展2020夏 「文倉常長帰国400年」ほか (6/23-8/9)	旬の常設展2020秋 「奥羽の戦国大名」ほか (10/6-12/20)	旬の常設展2020冬 「特集震災10年-災害を生きた人々」ほか (12/22-2021.2/13)
総合 展示室	1 むかしの 仙台	1 仙台のあけぼの	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器 ほか	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器 ほか	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器 ほか	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器 ほか
		2 縄文人のくらし	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか (蔵王町鍛冶沢遺跡出土土器)	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか (蔵王町鍛冶沢遺跡出土土器)	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか (蔵王町鍛冶沢遺跡出土土器)	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか (蔵王町鍛冶沢遺跡出土土器)
		3 稲作の始まりと 有力者の出現	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生)中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料 (古墳)遠見塚古墳の出土資料ほか
		4 中央政権の進出	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか
		5 陸奥国分寺	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型	陸奥国分寺模型
		6 武士の台頭	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料
		7 神仏への祈り	6/14 陸奥国分寺の仏像	6/16-8/9 信仰の中の金工資料	陸奥国分寺の仏像	信仰の中の金工資料
	2 伊達政宗、 仙台へ	8 伊達氏の登場	奥羽の戦国大名	伊達氏の外交	奥羽の戦国大名	伊達氏と寺社・信仰
		9 仙台藩主、伊達政宗	5/19-5/31 重文 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用	6/2-8/2 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用(複製)	8/4-23 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 菅野重成拝領	黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用(複製)
	3 城	10 仙台城のすがた	6/14 遺品にみる仙台城	6/16-8/9 伊達政宗と城	10/6-12/13 伊達政宗と城	12/15-2/13 災害を生きた人々-仙台城の被災と修復
		11 藩主と夫人たち	6/14 仙台藩の奥方	6/16-8/9 伊達政宗と文芸	10/6-12/13 伊達政宗と城	12/15-2/13 伊達政宗の死と瑞鳳殿
		12 武家のくらし	武家の服飾	家紋と調度	10/6-12/13 武家の服飾	12/15-2/13 食のうつわ
	4 藩	13 仙台藩のようす	街道を歩く	仙台藩の禁教政策	仙台藩の狩り	災害を生きた人々-仙台藩の自然災害
		14 仙台藩の家臣たち	寛文事件	武士の行列	仙台藩の要害	寛文事件
	5 町	15 城下町仙台	6/14 城下の中心地 芭蕉の辻	6/16-8/9 城下の中心地 芭蕉の辻	災害を生きた人々-仙台藩の飢饉	12/15-2/13 災害を生きた人々-仙台藩の疫病と信仰
		16 町のくらし	6/14 春の行事	6/16-8/9 仙台と七夕	10/6-12/13 秋のにぎわい	12/15-2/13 絵馬に見る産業
		17 教育と文化	仙台藩の学問と思想家(養賢堂/林子平)	仙台藩の学問と思想家(天文学/林子平)	仙台藩の学問と思想家(医学教育/林子平)	仙台藩の文化人と思想家(文化人/林子平)
		18 新たな時代へ	玉虫左太夫の生涯	仙台藩と外国	仙台藩の軍備拡充	幕末人物伝2 三浦乾也
	6 近代都市 へのあゆみ	19 戊辰戦争と明治維新	仙台藩の戊辰前夜	仙台藩の戊辰戦争	仙台藩の戊辰戦争	戊辰戦争後の仙台藩
		20 近代都市仙台	近代の仙台と福島家	近代の仙台と博覧会	絵図・地図でみる「杜の都」仙台の変遷	12/1-1/31 福島美術館の優品 2/2-2/13 『『仙台市史』の収集資料-古文書・記録・絵画-』
特集 展示室	東側・中央ケース	4/1-5/31 伊達家文書と藩主の印章	6/2-7/12 近代の仙台画壇	7/21-8/9 世界の中の日本-慶長遣欧使節の背景-	10/6-11/23 藩主が描いた絵画	12/1-1/31 福島美術館の優品
	西側ケース					
コレク ションI	北側ケース(陶磁器)	埋木細工	中国・朝鮮のやきもの			
	中央ケース		盆石	館蔵のやきもの	三浦乾也特集	
	L	そば猪口	中国・朝鮮のやきもの			
	S(茶道具)	茶道具	夏の茶道具	茶道具	茶道具(三浦乾也)	
	奥室	花巻人形と堤人形	山形の古人形と堤人形/瘡瘡よけ	芝居と東北の古人形/瘡瘡よけ	芝居と東北の古人形/瘡瘡よけ	
	浮世絵	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休止				
企画 展示室	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため閉室					
テーマI	仙台藩の武器武器 前室	6/14 仙台藩の武器武器	6/16-8/9 仙台藩の武器武器	10/6-12/13 仙台藩の武器武器	12/15-2/13 仙台藩の武器武器	
	仙台藩の武器武器 奥室	6/14 仙台藩の武器武器	6/16-8/9 仙台藩の武器武器	10/6-12/13 仙台藩の武器武器	12/15-2/13 仙台藩の武器武器	
テーマII	慶長遣欧使節 前室	7/19 国宝「慶長遣欧使節関係資料」	7/21-8/9 支倉常長帰国400年・国宝「慶長遣欧使節関係資料」	10/6-12/27 国宝「慶長遣欧使節関係資料」	1/5-2/13 国宝「慶長遣欧使節関係資料」	
	慶長遣欧使節 奥室	閉室		閉室		
コレク ションII	6/14 仙台四大画家特集	6/16-7/12 仙台の画家が中国絵画に学んだ作品	7/21-8/9 文書と記録でたどる支倉常長の足跡	10/6-11/23 江戸の狩野家と藩に仕えた絵師たち	12/1-1/31 福島美術館の優品	2/9-2/13 特集震災10年-災害を生きた人々
プレイ ミュージ アム	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため閉室					

臨時休館 4/11~5/18(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)、8/9正午~10/5(防煙垂れ壁落下のため)、令和3年2/14~3/31(*) (地震被害のため)
* 至令和3年5/11。5/12再開館

常設展示資料目録（抄録）

1. 表記のうち重文は重要文化財
2. コレクション名については一部略記した。
3. その他の略記事項については以下の通り。
 仙台市博物館蔵資料＝館蔵 伊達家寄贈文化財＝伊文
 斎藤報恩会寄贈資料＝報恩会、
 仙台市教育委員会＝仙台市教委、
 社会福祉法人共生福祉会蔵＝共生福祉会
 コレクション＝C、世紀＝C
4. コーナータイトルや資料名の前の①～④の数字は、特集展
 示の関連展示であることを示す。
 ①支倉常長帰国400年、②仙台藩の絵画
 ③福島美術館の優品、④特集震災10年―災害を生きた人々

総合展示室

1 むかしの仙台

仙台のあけぼの

2020.4/1～4/10、5/19～6/21、6/23～8/9、
 10/6～12/20、12/22～2021.2/13

1. ペン先形ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
 後期旧石器初頭 1点 仙台市教委
2. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
 後期旧石器初頭 2点 仙台市教委
3. 石刃 上ノ原山遺跡（上層）
 後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 1点 仙台市教委
4. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（上層）
 後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 3点 仙台市教委
5. スクレイパー 上ノ原山遺跡（上層）
 後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 4点 仙台市教委
6. 彫刻刀形石器 上ノ原山遺跡（上層）
 後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 4点 仙台市教委
7. 両面加工の石器 野川遺跡 縄文草創期 1点 仙台市教委
8. へら形石器 野川遺跡 縄文草創期 2点 仙台市教委
9. 土器の破片 野川遺跡 縄文草創期 一括 仙台市教委

縄文人のくらし

2020.4/1～4/10、5/19～6/21、6/23～8/9、10/6～12/20、
 12/22～2021.2/13

1. 縄文土器・深鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 2点
 仙台市教委
2. 縄文土器・浅鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 1点
 仙台市教委
3. 縄文土器・注口土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点
 仙台市教委
4. 縄文土器・革袋形土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点
 仙台市教委

5. 縄文土器 高柳遺跡 縄文中期中葉 6点 仙台市教委
6. 狩りの道具・石槍 三神峯遺跡 縄文前期前葉 1点
 仙台市教委
7. 狩りの道具・石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 2点
 仙台市教委
8. 狩りの道具・石鎌 大野田遺跡 縄文後期前葉 10点
 仙台市教委
9. 漁の道具・鹿角製銚 大野田遺跡 縄文後期前葉 2点
 仙台市教委
10. 漁の道具・土製錘 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点
 仙台市教委
11. 漁の道具・軽石製浮子 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点
 仙台市教委
12. 打製石斧 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
13. 磨製石斧 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
14. 凹石 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
15. 石皿 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
16. 土偶 大野田遺跡 縄文後期前葉 9点 仙台市教委
17. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 4点 仙台市教委
18. 土偶 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡 縄文晩期 1点
 片倉家資料

19. 人面付き双口土器 宮城県蔵王町下別当遺跡
 縄文時代晩期 1点 片倉家資料
 ※No.9は7/28～8/9、10/6～10/29の間1点、No.16は7/28
 ～8/9、10/6～10/29の間7点展示、No.18は4/1～4/10、5
 /19～8/9、No.19は10/6～2/13の展示

稲作の始まりと有力者の出現

2020.4/1～4/10、5/19～6/21、6/23～8/9、
 10/6～12/20、12/22～2021.2/13

1. 弥生土器・高坏 中在家南遺跡 弥生中期 1点
 仙台市教委
2. 弥生土器・甕 中在家南遺跡 弥生中期 1点
 仙台市教委
3. 弥生土器・壺 中在家南遺跡 弥生中期 1点
 仙台市教委
4. 竪杵 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
5. 竪杵未製品 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
6. 石包丁 高田B遺跡 弥生 7点 仙台市教委
7. 太形蛤刃石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
8. 扁平片刃石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
9. 鑿形石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
10. ガラス小玉 遠見塚古墳 4C末 3点 仙台市教委
11. 手づくね土器 遠見塚古墳 4C末 5点 仙台市教委
12. 土師器・壺 遠見塚古墳 4C末 1点 仙台市教委
13. 朝顔形埴輪 大野田5号墳 5C後半 1点 仙台市教委
14. 須恵器・有蓋脚付壺 南小泉遺跡（26次） 5C後半 1点
 仙台市教委
15. 円筒埴輪 大野田1号墳 6C 1点 仙台市教委

中央政権の進出

2020.4/1~4/10、5/19~6/21、6/23~8/9、
10/6~12/20、12/22~2021.2/13

1. 材木列（外扉）のクリ材 郡山遺跡
7C後半~8C前半 2点 仙台市教委
2. 土師器・坏（在地） 郡山遺跡 8C初頭 1点 仙台市教委
3. 土師器・坏（畿内産） 郡山遺跡 7C末~8C前半 1点
仙台市教委
4. 土師器・坏（関東系） 郡山遺跡 7C中葉 1点
仙台市教委
5. 単弁蓮華文軒丸瓦 郡山遺跡 7C後半~8C前半 1点
仙台市教委
6. 重弧文軒平瓦 郡山遺跡 7C後半~8C前半 1点
仙台市教委
7. 土師器・坏（関東系） 長町駅東遺跡 7~8C前半 2点
仙台市教委
8. 土師器・坏（在地） 長町駅東遺跡 7~8C前半 2点
仙台市教委
9. 須恵器・長頸瓶 茂ヶ崎横穴墓群1号墓
7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
10. 須恵器・大甕 茂ヶ崎横穴墓群3号墓
7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
11. 須恵器・平瓶 茂ヶ崎横穴墓群20号墓
7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
12. 勾玉（ガラス） 茂ヶ崎横穴墓群4号墓
7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
13. 勾玉（瑪瑙） 茂ヶ崎横穴墓群4号墓
7C後半~8C前半 3点 仙台市教委
14. ガラス小玉（大） 茂ヶ崎横穴墓群4号墓
7C後半~8C前半 4点 仙台市教委
15. ガラス小玉（中） 茂ヶ崎横穴墓群4号墓
7C後半~8C前半 3点 仙台市教委
16. ガラス小玉（小） 茂ヶ崎横穴墓群4号墓
7C後半~8C前半 40点 仙台市教委
17. 切子玉（水晶） 茂ヶ崎横穴墓群8号墓
7C後半~8C前半 2点 仙台市教委
18. 管玉（碧玉） 茂ヶ崎横穴墓群25号墓
7C後半~8C前半 3点 仙台市教委
19. 切子玉（琥珀） 茂ヶ崎横穴墓群25号墓
7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
20. 丸玉（蛇紋岩） 茂ヶ崎横穴墓群25号墓
7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
21. 白玉 茂ヶ崎横穴墓群25号墓
7C後半~8C前半 4点 仙台市教委
22. 陸奥国分寺創建瓦（重弁蓮華文軒丸瓦） 陸奥国分寺跡
奈良 1点 仙台市教委
23. 陸奥国分寺創建瓦（偏行唐草文軒平瓦） 陸奥国分寺跡
奈良 1点 仙台市教委

24. 刻印文字瓦（「丸」「占」「伊」「物」） 陸奥国分尼寺跡
奈良~平安 4点 仙台市教委
 25. 指書き文字瓦 陸奥国分寺跡 平安 3点 仙台市教委
 26. 陸奥国分寺修復瓦（宝相華文軒丸瓦） 陸奥国分寺跡
平安 1点 仙台市教委
 27. 陸奥国分寺修復瓦（連珠文軒平瓦） 陸奥国分寺跡
平安 1点 仙台市教委
 28. 棟平瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点 仙台市教委
 29. 獣面文鬼瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点 仙台市教委
 30. 七重塔水煙片 陸奥国分寺跡 奈良~平安 1点
東北大学文学部
 31. 七重塔九輪 陸奥国分寺跡 奈良~平安 1点 仙台市教委
- ※No.25は2/9~2/13、No.28は4/1~4/10、5/19~8/9、
10/6~2/7、No.29は4/1~4/10、5/19~8/9、
10/6~2/7の展示

武士の台頭

2020.4/1~4/10、5/19~6/21、6/23~8/9、
10/6~12/20、12/22~2021.2/13

1. 大甕（常滑） 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
2. 小壺（在地） 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
3. 片口鉢（在地） 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
4. 合子（古瀬戸） 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
5. 仏花瓶（古瀬戸） 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
6. 天目茶碗（瀬戸美濃） 洞ノ口遺跡 中世 1点
仙台市教委
7. 青磁・碗（中国） 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
8. 青磁・皿（中国） 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
9. 青白磁・合子（中国） 洞ノ口遺跡 中世 1点
仙台市教委
10. 青白磁・梅瓶（中国） 洞ノ口遺跡 中世 2点
仙台市教委
11. 白磁・四耳壺（中国） 洞ノ口遺跡 中世 1点
仙台市教委
12. 白磁・壺（中国） 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
13. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 11点 仙台市教委
14. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 15点 仙台市教委
15. 短刀（拵付） 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
16. 短刀 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
17. 鎌 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
18. 馬具（轡） 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
19. 板碑 洞ノ口遺跡 延慶3年 1点 仙台市教委
20. 板碑 洞ノ口遺跡 応長2年 1点 仙台市教委
21. 板碑 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
22. 呪符木簡 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
23. 地藏菩薩木像 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
24. 木製五輪塔 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
25. 洪武通寶 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
26. 永楽通寶 洞ノ口遺跡 中世 7点 仙台市教委

27. 銭種不明 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 28. 鬼瓦 東光寺遺跡 中世 2点 仙台市教委

神仏への祈り

- 「陸奥国分寺の仏像」 2020.4/1~4/10、5/19~6/14
 1. 木造不動明王立像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 2. 木造毘沙門天立像 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺

- 「信仰の中の金工資料」 6/16~8/9
 1. 重文 銅鏡 羽黒山御手洗池出土 平安~鎌倉 10面 出羽三山神社

- 「陸奥国分寺の仏像」 10/6~12/20
 1. 木造十二神将立像 子神 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 2. 木造十二神将立像 丑神 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 3. 木造十二神将立像 申神 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺
 4. 木造十二神将立像 亥神 鎌倉 1 軀 陸奥国分寺

- 「信仰の中の金工資料」 12/22~2021.2/13
 1. 重文 懸仏 鎌倉 8面 熊野那智神社
 2. 重文 銅鏡 鎌倉 2面 熊野那智神社

2 伊達政宗、仙台へ

伊達氏の登場

- 「奥羽の戦国大名」 2020.4/1~4/10、5/19~6/21
 1. 伊達植宗知行宛行状 濱田下総守宛
 天文14年8月3日 1通 濱田家資料
 2. 伊達晴宗知行宛行状 濱田四郎右兵衛尉宛
 天文14年9月11日 1通 濱田家資料
 3. 留守景宗判物 遠藤弥左衛門尉宛
 天文14年12月16日 1幅 佐藤勝五郎氏寄贈
 4. 由良国繁書状 遠藤山城守(基信)宛
 (天正10年)3月25日 1通 報恩会
 5. 祖先行軍之図 江戸 1幅 館蔵
 6. 伊達政宗朱印状 内崎右馬頭宛 天正17年10月3日 1通 報恩会
 7. 葛西晴信黒印状 石森かもさへもん宛
 天正19年3月3日 1通 報恩会

- 「伊達氏の外交」 6/23~8/9
 伊達輝宗の外交
 1. 伊達輝宗画像 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 2. 重文 蘆名止々斎(盛氏)書状 米沢(伊達輝宗)宛
 (天正4年)9月13日 1通 伊文
 3. 重文 松井友閑書状 伊達左京大夫(輝宗)宛
 (天正3年)10月25日 1通 伊文

4. 織田信長書状 遠藤内匠助(基信)宛
 (天正3年)10月25日 1通 報恩会
 5. 伊達輝宗書状 岩城殿(常隆)宛
 (天正10年)6月5日 1幅 館蔵
 伊達政宗の外交
 6. 伊達政宗画像 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 7. 重文 葛西晴信黒印状 伊達殿(政宗)宛
 (天正15年頃)11月13日 1通 伊文
 8. 重文 北条氏照書状 伊達殿(政宗)宛
 (天正17年)7月29日 1通 伊文
 9. 重文 北条氏照書状 原田左馬助(宗時)宛
 (天正17年)7月29日 1通 伊文
 10. 重文 徳川家康書状 伊達左京大夫(政宗)宛
 (天正19年)正月12日 1通 伊文
 11. 徳川家康書状 片倉小十郎(景綱)宛
 (天正19年)正月12日 1幅 片倉家資料
 「奥羽の戦国大名」 10/6~12/20
 1. 重文 塵芥集(村田本) 天文5年4月14日 1冊 伊文



1. 重文 塵芥集(村田本)

2. 塵芥集(伊達吉村旧蔵本) 天文5年4月14日 1冊 小林宏氏寄贈
 3. 段銭帳 天文7年9月3日/天正14年9月17日写 1冊 伊文
 4. 大崎義直朱印状 柳目伊勢守宛 天文9年6月20日 1幅 館蔵
 5. 重文 足利義輝御内書 伊達左京大夫(晴宗)宛
 (永禄2年頃)9月24日 1通 伊文
 6. 重文 織田信長書状 伊達殿(輝宗)宛
 (天正元年)12月28日 1通 伊文
 7. 重文 伊達政宗書状 五郎殿(伊達成実)宛
 (天正17年)5月14日 1通 伊文
 8. 仙道絵図 江戸 1幅 伊文
 ※No.1は10/6~11/29、No.2は12/1~12/20の展示

- 「伊達氏と寺社・信仰」 12/22~2021.2/13
 1. 塵芥集(伊達吉村旧蔵本) 天文5年4月14日 1冊 小林宏氏寄贈
 2. 重文 伊達植宗陣夫免除状案 竹駒別当坊宛
 天文6年7月24日 1通 伊文
 3. 高野山観音院過去帳 貞享3年11月25日写 1巻 伊文
 4. 伊達政宗書状写 観音院宛(文禄3年)2月27日
 1通(1巻のうち) 伊文

仙台藩主、伊達政宗

2020.4/1~4/10

1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用（複製） 1領 館蔵

5/19~5/31

1. 重文 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 桃山 1領 伊文

6/2~8/2

1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用（複製） 1領 館蔵

8/4~8/9

1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 菅野重成拝領
桃山~江戸初期 1領 伊文

10/6~2021.2/13

1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用（複製） 1領 館蔵

3 城

仙台城のすがた

「遺品にみる仙台城」 2020.4/1~4/10、5/19~6/14

1. 伊達政宗画像（複製） 原本は狩野安信筆
原本は江戸前期 1幅 館蔵
2. 金箔押菊丸瓦 仙台北城本丸跡出土 江戸前期 1点
仙台市教委
3. 五七桐紋軒丸瓦 仙台北城本丸跡出土 17C 1点
仙台市教委
4. 三引両紋軒丸瓦 仙台北城本丸跡出土 17C 1点
仙台市教委
5. 九曜紋軒丸瓦 仙台北城本丸跡出土 17C 1点 仙台市教委
6. 仙台北城絵図 江戸中期 1幅 館蔵
7. 伊達政宗書状 了庵（茂庭綱元）宛
（年未詳）26日 1幅 館蔵
8. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿出土資料
江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈資料
9. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点
伊達貞宗氏寄贈資料
10. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本
伊達貞宗氏寄贈資料
11. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面
伊達貞宗氏寄贈資料
12. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口
伊達貞宗氏寄贈資料
13. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈資料
14. 墨 瑞鳳殿出土資料 16C末~17C初期 1点
伊達貞宗氏寄贈資料

15. 墨 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈資料
16. 鉛筆（復元）（原資料：瑞鳳殿発掘資料）
（原資料：17C） 2点 館蔵

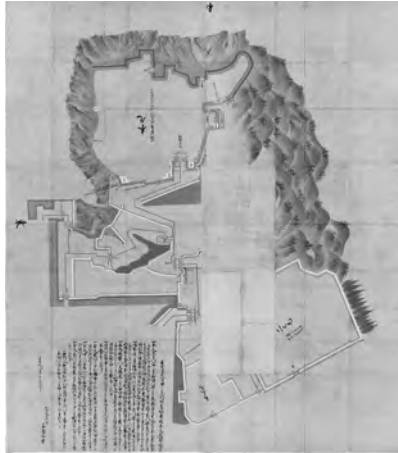
「伊達政宗と城」 6/16~8/9

1. 伊達政宗画像（複製） 原本は狩野安信筆
原本は江戸前期 1幅 館蔵
2. 貞山公治家記録 巻21（慶長6年正月11日条）
元禄16年 1冊 伊文
3. 三体詩鈔 二之上 雪心素隠著 寛永14年刊
13冊のうち1冊 館蔵
4. 伊達政宗和歌詠草「入そめて」 江戸初期（17C） 1幅
伊文
5. 奥州仙台北城絵図（複製）（原本は正保2年頃） 1幅
原本は報恩会
6. 青花金彩鳳凰文合子片 仙台北城本丸跡出土
16C後半~17C初頭 5点 仙台市教委
7. 祥瑞蔓草文変形皿片 仙台北城本丸跡出土
16C後半~17C初頭 8点 仙台市教委
8. 菊唐草文飾り金具 仙台北城本丸跡出土 17C 1点
仙台市教委
9. 金箔押菊丸瓦 仙台北城本丸跡出土 江戸前期 1点
仙台市教委
10. 菊桐紋釘隠 江戸初期 1点 館蔵
11. 青ガラスモール杯片 仙台北城本丸跡出土 17C 23点
仙台市教委
12. エナメル彩動物文ガラス杯片 仙台北城本丸跡出土
17C 4点 仙台市教委
13. 花菱文軒平瓦（滴水瓦） 若林城跡出土 17C前期 1点
仙台市教委
14. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿出土資料
江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈
15. 煙管 瑞鳳殿出土資料 17C 4点 伊達貞宗氏寄贈
16. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 17C 1面 伊達貞宗氏寄贈
17. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 17C 1口 伊達貞宗氏寄贈
18. 鉛筆（復元）（原資料：瑞鳳殿発掘資料）
（原資料：17C） 2点 館蔵
19. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 17C 1点
伊達貞宗氏寄贈
20. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈
21. 墨 瑞鳳殿出土資料 16C末~17C初期 1点
伊達貞宗氏寄贈
22. 墨 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
- ※No.11は6/16~8/2、No.12は8/4~8/9の展示
- 「伊達政宗と城」 10/6~12/13
1. ②伊達政宗画像 狩野安信筆 江戸前期 1幅 伊文
2. ②伊達政宗画像（複製） 原本は狩野安信筆
原本は江戸前期 1幅 館蔵

3. ②扇面図屏風 慶長15年 6曲1双 伊文
 4. ②重要美術品 萩に鹿図屏風 江戸初期(17C) 4曲1双 伊文
 ※No.1・3は10/6~10/25、No.2・4は10/27~12/13の展示

④「災害を生きた人々—仙台城の被災と修復」
 12/15~2021.2/13

1. 仙台城修復伺絵図 寛文8年10月4日 1鋪 報恩会



1. 仙台城修復伺絵図

2. 江戸幕府老中奉書写 寛文8年10月12日 1通 館蔵
 3. 江戸幕府老中奉書写 寛文13年9月15日 1通 伊文
 4. ノミ 仙台城本丸跡出土 江戸前期 2点 仙台市教委
 5. カスガイ状敷金 仙台城本丸跡出土 江戸前期 3点 仙台市教委
 6. クサビ状敷金 仙台城本丸跡出土 江戸前期 2点 仙台市教委
 7. 水晶 仙台城本丸跡出土 江戸前期 10点 仙台市教委
 8. 仙台城修復伺絵図 享保6年11月5日 1幅 報恩会
 9. 江戸幕府老中奉書 享保6年11月19日 1通 館蔵
 10. 仙台城二の丸家作水抜絵図 江戸後期 1鋪 報恩会
 11. 御城中御締等之部 (江戸中~後期) 1冊 報恩会
 12. 仙台城二の丸焼失の際尽力人数調 高野大学 (文化元年) 7月2日 1綴 伊文
 13. 遠藤近江覚書写 (文化元年7月) 1通 個人蔵

藩主と夫人たち

「仙台藩の奥方」 2020.4/1~4/10、5/19~6/14

1. 江戸愛宕下中屋敷絵図 享保20年10月 1幅 萩田耕造氏寄贈
 2. 伊達重村・観心院和歌短冊 伊達重村・観心院(近衛氏年子)筆 江戸中期 1幅 伊文
 3. 雲松院ほか奥方和歌詠草 徳川氏温子(利根姫)ほか筆 (伊達吉村写) 元文3年正月5日 1通 伊文
 4. 御奥方格式 天明7年 10冊のうち4冊 伊文

「伊達政宗と文芸」 6/16~8/9

1. 扇面和歌 伊達政宗筆 江戸前期 1点 館蔵



1. 扇面和歌

2. 道の記 伊達政宗筆 (慶長20年) 1巻 伊文
 3. 伊達政宗書状 松越前守(伊達忠宗)宛 (寛永3年)12月1日 1幅 個人蔵
 4. 伊達政宗筆謡「班女」 江戸初期 1幅 青木家資料
 5. 伊達政宗書状 柳生但州(但馬守宗矩)宛 (寛永10年)3月23日 1幅 加藤昌秀氏寄贈
 6. 貞山様御筆御歌 伊達政宗筆 江戸初期 1冊 伊文
 7. 黄門政宗公御詩歌稿 首藤知平編 元禄16年4月 1冊 尚文館C

※No.1は6/16~8/2、No.2は8/4~8/9の展示

「伊達政宗と城」 10/6~12/13

1. ②竹図屏風 慶長15年 2曲1隻 館蔵
 2. ②菊花図屏風 伊達政宗書 寛永5年 2曲1隻 伊文
 3. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈
 4. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 17C 1点 伊達貞宗氏寄贈
 5. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚 伊達貞宗氏寄贈

※No.1は10/6~10/25、No.2は10/27~12/14の展示

「伊達政宗の死と瑞鳳殿」 12/15~2021.2/13

1. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆 1幅 館蔵
 2. ③伊達政宗殉死衆自詠扇面和歌書 寛永13年 1面 共生福祉会
 3. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈
 4. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
 5. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
 6. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
 7. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
 8. 鉛筆(復元)(原資料:瑞鳳殿発掘資料)(原資料:17C) 2点 館蔵
 9. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚 伊達貞宗氏寄贈
 10. 墨 瑞鳳殿出土資料 16C末~17C初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
 11. 墨 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
 12. 硯 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈

※No.2は4/1~4/10、No.3は5/19~6/21の展示

武家のくらし

「武家の服飾」 2020.4/1~4/10、5/19~6/21

1. 白綾地竜胆立涌文様水干・長袴 江戸中期 1領・1腰 伊文
 2. 萌葱綾地鳶に鯉模様小袖 江戸後期 1領 豊原亮氏寄贈
 3. 納戸紵地桜貝桶模様被衣 江戸後期 1領 館蔵
- ※No.2は4/1~4/10、No.3は5/19~6/21の展示

「家紋と調度」 6/23~8/9

1. 竹に雀・御敷に三文字紋稲穂に雀図指樽 江戸中期 1基 館蔵
2. 竹に雀紋蒔絵系図箱 江戸中期 1組 伊文
3. 金梨地牡丹紋旗箱 江戸中期 1合 伊文
4. 雪薄紋蒔絵見台 江戸後期 1台 館蔵

「武家の服飾」 10/6~12/13

1. 重文 縞モール地花鳥文様帯 三沢初子所用 江戸前期 1筋 伊文
 2. 重文 浅葱綸子地梅に額文様帯 三沢初子所用 江戸前期 1筋 伊文
 3. 重文 白縹子地桔梗文様帯 三沢初子所用 江戸前期 1筋 伊文
 4. 緑絹地九曜紋に唐草文様袴 伝三沢初子所用 江戸前期 1腰 伊文
 5. 藍小紋和歌刺繡襦袢 江戸前期 1枚 伊文
 6. 紅蜀江文錦鍔直垂・袴 江戸後期 1領・1腰 館蔵
 7. 浅葱麻地竹に雀紋大紋 江戸後期 1組 個人蔵
 8. 黒絹地白葵紋頭巾 江戸後期 1頭 伊文
 9. 浮世絵 千代田の大奥 おたち退 楊洲周延筆 明治29年 3枚続 大宮司C
- ※No.1~3は10/6~10/25、No.4・5は10/27~11/3、No.6は10/6~11/3、No.7~9は11/5~12/13の展示

「食のうつわ」 12/15~2021.2/13

1. 竹に雀紋松竹朱漆絵椀類 江戸 1具 伊文/平田道子氏寄贈(田手家伝来)
2. 五彩花鳥文碗 景德鎮 明代以降 5口 伊文
3. 青磁輪花皿 古伊万里 江戸 5口 伊文
4. 染付唐草文輪花皿 古伊万里 江戸 3口 伊文
5. 鉄線唐草文蒔絵掛盤椀杯類 江戸後期 1具 伊文



5. 鉄線唐草文蒔絵掛盤椀杯類

4 藩

仙台藩のようす

「街道を歩く」 2020.4/1~4/10、5/19~6/21

1. 天保六年伊達斉邦江戸登城行列図 明治31年 1巻 石原謙太郎C
2. 諸国順覧懐宝道中図鑑 嘉永5年 1帖 尚文館C
3. 仙台領地名所和歌 正徳2年編 山形みつ氏寄贈
4. 多賀城碑拓本 1幅 武田公寛氏寄贈
5. 松島画紀行・松島日記(写本) 原本は谷文晁筆 江戸後期 1冊 館蔵
6. 松島真景図 遠藤曰人筆 1幅 館蔵
7. 諸国道中金の草鞋 仙台 文化13年 館蔵
8. 塩竈詣 燕石斎薄墨著 文政8年 1冊 尚文館C
9. 金華山詣 燕石斎薄墨著 文政8年 1冊 尚文館C
10. 陸奥東海金華山正面図 慶応元年改版 1幅 報恩会

①「仙台藩の禁教政策」 6/23~8/9

1. 伊達政宗書状 柳又右(柳生又右衛門宗矩)宛 (慶長18年)12月晦日 1幅 佐々木治郎氏寄贈
2. 江戸幕府老中奉書 仙台中納言(伊達政宗)宛 寛永12年8月27日 1通 伊文
3. 支倉六右衛門召仕古切支丹与五右衛門改帳 支倉藤五郎常角筆 元禄6年6月晦日 1冊 支倉家資料
4. 義山公治家記録 卷2 (寛永16年閏11月21日条、同12月19日条) 元禄16年 1冊 伊文
5. 切支丹不分明者支倉六右衛門死失帳 支倉藤五郎(常角)筆 元禄5年12月1日 1冊 支倉家資料
6. 伊達綱基知行宛行黒印状 支倉丹助(常信)宛 寛文10年7月9日 1通 支倉家資料
7. キリシタン制札 奉行 天和2年5月 1面 郷右近忠男氏寄贈

「仙台藩の狩り」 10/6~12/20

1. ②たかがり図巻(たかがり・すなどり図巻のうち) 伊達吉村筆 江戸中期(18C) 1巻 伊文
2. 獅山公治家記録 卷86 (享保10年2月19日条) 宝暦8年 1冊 伊文
3. 伊達吉村書状 勝千代(伊達宗村)宛 (享保10年)2月21日 1通 伊文
4. ②狩獵図 伊達吉村筆 江戸中期(18C) 1幅 伊文
5. ②鷺鳥図 狩野古信筆 江戸中期(18C) 1幅 伊文

④「災害を生きた人々ー仙台藩の自然災害」12/22~2021.2/13

1. 貞山公治家記録 卷30 (寛永元年10月5日条) 元禄16年 1冊 伊文
2. 王翼祈禱文 王翼筆 (寛永2年・正月22日) 1通 伊文
3. 仙台藩領内洪水被害口上覚書写 寛永15年4月21日 1通 伊文

4. 凶荒図録 小田切春江編 木村金秋画 明治18年 1冊
三原良吉蔵
5. 備荒草木図 建部清庵著 天保4年 2冊 館蔵
6. 民間備荒録 建部清庵著 明和8年 1冊 個人蔵
7. 安政二年八月三日地震被害調写 治三郎宛
安政2年8月8日 1綴 伊文
8. 享和壬戌洪水記(写本) 原本:鈴木三伯筆
原本:享和2年 1帖 館蔵



8. 享和壬戌洪水記(写本)

9. 安政三年七月二十三日日本吉北方津波状況調
石森幸左衛門筆 (安政3年)11月 1通 伊文

仙台藩の家臣たち

- 「伊達政宗と家臣たち」 2020.4/1~4/10、5/19~6/21
1. 片倉景綱肖像 猪野謙山筆 近代 1幅 館蔵
2. 片倉代々記 天正12年12月条 1冊 片倉家資料
3. 片倉景綱・石川昭光起請文 登坂式部少輔・南右馬允宛
慶長5年7月25日 1通 片倉家資料
4. 伊達政宗書状 片倉備中(景綱)宛
(慶長7年)12月晦日 1幅 館蔵
5. 伊達政宗書状 山岡志摩重長・鈴木和泉重信宛
(慶長6年)8月21日 1幅 鈴木家資料
6. 清水道閑書状 鈴木元信宛 年未詳7月22日 1幅
鈴木家資料
7. 重文 本多正信披露状 鈴木和泉守(重信)・奥山出羽守
(兼清)宛 (慶長18年)12月28日 1通 伊文
8. 伊達政宗書状写 (慶長20年)5月8日 1通 鈴木家資料
9. 伊達政宗と二十四将図(昭和10年) 1幅 青木和子氏寄贈
10. 他国之書状之停帳 寛永2年 1冊 石母田晃氏寄贈

「武士の行列」 6/23~8/9

1. 御軍役御定 享保12年 1冊 伊文
2. 「備」に関する規定(享保12年) 5冊のうち1冊 伊文
3. 楽山公行列図巻 近代 11巻のうち10巻目 伊文
4. 嘉永四年練兵行軍之図 江戸後期 1冊 片倉家資料
5. 白石城の図 小関雲陽筆 明治41年 1幅 片倉家資料
6. 毛槍(白鳥毛)の鞘 江戸(17~19C) 1点
橋本信次郎氏寄贈

「仙台藩の要害」 10/6~12/20

1. 岩出山要害絵図 岳鳳製
壬午之孟春(明治15年カ) 双幅 個人蔵
2. 仙台藩奉行連署状 富田老岐(氏紹)ほか3名
弾正(伊達宗親)宛 貞享4年6月1日 1通 個人蔵
3. 仙台藩奉行連署状 大町主計(頼直)ほか4名
弾正(伊達村泰)宛 享保6年間7月28日 1通 個人蔵
4. 仙台藩奉行連署状 秋保外記(氏盛)ほか3名
内蔵(伊達村通)宛 安永5年9月29日 1通 個人蔵
5. 仙台藩奉行連署状 石田豊前(元直)ほか4名
内蔵(伊達村通)宛 安永6年7月5日 1通 個人蔵

「寛文事件」 12/22~2021.2/13

1. 伊達兵部・田村右京連署起請文 立花飛驒守(忠茂)宛
万治3年 11月21日 1通 伊文
2. 伊達亀千代領知黒印状 角懸四郎兵衛宛
寛文元年 11月16日 1通 角懸家資料
3. 徳川家綱領知判物 松平亀千代宛 寛文4年4月5日
1巻 伊文
4. 伊達綱宗書状 松平亀千代宛
(寛文8年)5月25日 1通 伊文
5. 江戸幕府申渡覚書写 松平陸奥守(伊達綱基)宛
(寛文11年)4月6日 1通 伊文
6. 伊達綱村領知朱印状 角懸伊兵衛宛
天和3年8月 1通 角懸家資料
7. 伊達亀千代書「花月」(寛文6年) 1幅 共生福祉会
8. 毘沙門天画像 伊達綱宗筆 江戸前期 1幅 伊文

5 町

城下町仙台

「城下の中心地 芭蕉の辻」 2020.4/1~10、5/19~6/14

1. 芭蕉の辻櫓状建物の設計図 文政10年 1鋪 館蔵
2. 明治元年現状仙台城市之図 熊耳耕年写 近代 1巻 館蔵
3. 錦絵芭蕉の辻(複製) 作者不詳 原資料:江戸後期
4枚 館蔵
4. 「二十四輩巡拜図会後篇卷之四」より芭蕉の辻 了貞著
竹原春泉齋画 文化6年刊 1冊 個人蔵
5. 芭蕉の辻図(複製) 熊耳耕年画 近代 1面 三原良吉C
6. 芭蕉辻伊勢佐挑見世当図 曜斎国輝画 明治初期 3枚続
阿部次郎C
7. 芭蕉の辻の建物の瓦 近代 3点 館蔵



7. 芭蕉の辻の建物の瓦

「城下の中心地 芭蕉の辻」 6/16~8/9

1. 文久二年仙台城下絵図 文久2年 1幅 報恩会
2. 仙台鹿の子(写本) 江戸 1冊 尚文館C
3. 芭蕉の辻へ掲げられた檄文写 慶応4年9月 1通 個人蔵
4. 「仙台及塩釜松島名所図絵」より芭蕉ノ辻・電信郵便局
林基春画 明治29年発行 1点 三原良吉C
5. 仙台名勝案内 菊田定郷編集 明治32年 1冊 菊田定郷C
6. 芭蕉の辻が描かれた年賀状 天江富弥筆 昭和3年正月
1通 三原良吉C
7. 芭蕉の辻商館火災の図 近代 1面 仙台市消防局蔵
8. 芭蕉の辻図(複製) 熊耳耕年画 近代 1面 三原良吉C
9. 芭蕉辻伊勢佐挑見世当図 曜斎国輝画 明治初期 3枚続
阿部次郎C
10. 芭蕉の辻の建物の瓦 近代 2点 館蔵

④「災害を生きた人々ー仙台藩の飢饉」 10/6~12/13

1. 仙台城下絵図 宝暦10~12年 1冊 飯倉晴武氏寄贈
2. 天明飢饉の記録板書 天明4年 1点 伊東善広氏寄贈
3. 六代治家記録 徹山公 卷31 天明6年5月27日条
1冊 伊文
4. 六代治家記録 徹山公 卷29 天明4年4月16日条
1冊 伊文
5. 銀札 天明4年 5点 平間家資料
6. 天明飢死図集(写本) 鈴木三伯筆 原本は天明5年10月
1冊 館蔵
7. 六代治家記録 龍山公 卷31 天保7年9月23日条
1冊 伊文
8. 天保荒歳物語 上 天保10年 1冊 報恩会
9. 飢饉食料草木 佐々城朴庵筆 天保4年 1冊 三原良吉C
10. 国分大倉村難洪御百姓共江松皮餅被下置通帳
天保7年 1冊 館蔵
11. 御救助方万人講 天保7年9月 1冊 佐藤恒明氏寄贈

④「災害を生きた人々ー仙台藩の疫病と信仰」
12/15~2021.2/13

1. 鍾馗図 狩野古信筆 江戸中期 1幅 伊文
2. 鍾馗図 狩野典信筆 江戸中期 1幅 伊文
3. 痘疹戒草巻中 池田錦橋輯著 文化6年 1冊 尚文館C
4. 蘇民将来 近代 3点 三原良吉C
5. 新形三十六怪撰為朝の武威痘鬼神を退く図
明治23年 1点 館蔵
6. 清正神儀公御手形 近代 1枚 三原良吉C
7. 修身図鑑附録 三好清篤画 明治26年 1冊 報恩会
8. 獅山公治家記録 享保18年7月26日条 1冊 伊文
9. 救民単方 佐々木朴庵 安政5年 1冊 尚文館C
10. 仙台城五蔵卦絵図(複製) 原本は元禄4・5年 1幅
原本は報恩会
11. 定禅寺諸御用記録 役者大悲院筆 嘉永5年1月 1冊
報恩会
12. 桜田良佐日記 桜田良佐筆 安政6年10月17日条 1冊
報恩会

※No.1は12/15~1/31、No.2は2/2~2/13の展示

町のくらし

「春の行事」 2020.4/1~4/10、5/19~6/14

1. ぼんぼこ祭り図 遠藤曰人筆 江戸後期 1幅 館蔵
2. 木下駒 江戸 3点 三原良吉C
3. 榴ヶ岡花見図屏風 江戸中期 6曲1隻 阿部次郎C



3. 榴ヶ岡花見図屏風

4. 徳利付蒔絵野弁当 江戸末期 2組 甲田C
5. ぼんぼこ槍の瓢箪 年月日不詳 2点 足立孔C
6. 相撲図 遠藤曰人筆 江戸後期 1幅 館蔵
7. 奥州名所図会 初編 江戸後期 1冊 報恩会
8. 伊達綱村釈迦堂建立本願覚書(年未詳) 3月4日 1通
伊文
9. 「仙台及塩釜松島名所図絵」より榴ヶ岡桜花満開及
招魂碑之景 林基春画 明治29年発行 1点 三原良吉C
10. 枇杷文指樽 江戸後期 1対 増子征氏寄贈
11. 花もどり図 遠藤曰人筆 文政10年 1幅 館蔵
12. 仙府神社案内記 伊勢屋半右衛門刊 文政元年刊 1冊
尚文館C

※No.2・3は4/1~4/10、No.5~12は5/19~6/14の展示

「仙台と七夕」 6/16~8/9

1. 伊達政宗和歌詠草 伊達政宗筆 元和4年秋 1幅 館蔵
2. 濱田氏年中行事 文久2年 1冊 個人蔵
3. 仙府年中往来 燕石斎薄墨版 江戸後期 1冊 阿部次郎C
4. 参詣記 佐助筆 江戸後期 1冊 報恩会
5. やくたい草 伊達慶邦著 明治6年 1冊 伊文
6. 七夕飾り 大正 7点 菅野邦夫氏寄贈
7. 七夕の絵葉書「仙台 肴町七夕祭ノ光景」 大正 1点 館蔵
8. 七夕の絵葉書「仙台名物 五彩の短冊美しき。七夕祭りの
豪華版 東一番町」 昭和11年8月6日撮影 1点 館蔵
9. 七夕の絵葉書「復興七夕に輝く仙台祭り豪華版」
昭和20年代 1点 館蔵

「秋のにぎわい」 10/6~12/13

1. 得可主屋次右衛門祭礼渡物免除願案 得可主屋次右衛門
浅井忠内 文政11年6月 1通 三原良吉C
2. 渡物札 江戸後期 2枚 三原良吉C
3. 仙台東照宮祭礼小絵図 江戸中期~後期 3枚 館蔵
4. 東照宮御祭礼渡物行列帳 嘉永3年 1冊 三原良吉C
5. 東照宮祭礼 渡物図 源頼光公足柄山ニテ金時を尋給フ躰
大町日野屋源四郎 江戸後期~末期 1面 館蔵
6. 東照宮祭礼 渡物図 浦島太郎龍宮へいたつて乙姫に
まみゆる躰 江戸後期~末期 1面 館蔵

7. 東照宮祭礼 渡物図 坂上田村麻呂鈴鹿山出陣の躰
新伝馬町鈴木利三郎 江戸後期～末期 1面 館蔵
8. 東照宮祭礼 渡物図 坂上千熊磨流鎬馬に趣く躰
柳町相澤屋善兵衛 江戸後期～末期 1面 館蔵
9. 東照宮祭礼 渡物図 福神角力の躰 染師町堺屋庄助
江戸後期～末期 1面 館蔵

「絵馬に見る産業」 12/15～2021.2/13

1. 米つくり絵馬(複製) 菅井田龍筆 明治 1面
原資料:岩沼市愛宕神社
2. 石巻港図絵馬(複製) 長谷清右衛門義一筆
文化2年奉納 1面 原資料:石巻市羽黒町烏屋神社
3. 仙台藩奉行連署掟書写 奥山大学・富塚内蔵・大條監物・
柴田外記筆 寛文2年8月15日 1通 片倉家資料
4. 御買米前金受取証文 片倉小十郎村康 御勘定奉行衆
宝暦8年11月18日 1通 片倉家資料
5. 五十集物肴町入荷調 江戸 1通 伊文
6. 海辺並道中絵図 元文2年写 1鋪 館蔵

教育と文化

「仙台藩の学問と思想家」 2020.4/1～4/10、5/19～6/21

仙台藩の藩校 養賢堂

1. 山崎闇斎肖像 大槻平泉賛 天保8年 1幅 伊文
2. 養賢堂の図(複製) 原資料・江戸後期 1額
館蔵(原資料・宮城県図書館蔵)
3. 論語・孟子 養賢堂蔵版 江戸後期 2冊 尚文館C
4. 書経 養賢堂蔵版 江戸後期 1冊 安倍謙一氏寄贈
5. 小学 養賢堂蔵版 嘉永3年 1冊 安倍謙一氏寄贈
6. 論語 天保15年手写カ 1冊 阿部次郎C
7. 大槻平泉肖像 東東菜原画・高橋松亭模写 近代 1幅
佐藤暉雄氏寄贈
8. 理氣鄙言 桜田欽斎著 文化元年序 1冊 中村徳重郎C

林子平の人生と思想

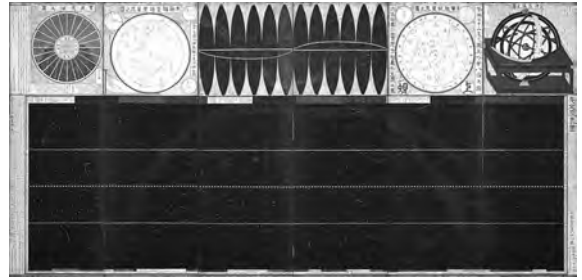
9. 林子平肖像 牧互秀筆 近代 1幅 愛宕中学校寄贈
10. 蘭人制作支那図 林子平筆写 安永7年 1鋪 中村徳重郎C
11. 阿蘭陀船図説(複製) 天明2年版・明治26年印刷複製
1枚 館蔵
12. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊
猪苗代翁・弼氏寄贈
13. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 3冊 館蔵
14. 林子平辞世拓本 江戸後期 1幅 中村徳重郎C

「仙台藩の学問と思想家」 6/23～8/9

仙台藩の天文学

1. 獅山公治家記録 正徳4年2月7日条(遠藤盛俊入門)
田辺希文・兄玉秀基編 宝暦8年 1冊 伊文
2. 伊達世臣家譜(戸板氏) 田辺希元撰 寛政4年12月
1冊 伊文
3. 潮汐図説 高野立斎著 寛延2年 1冊 尚文館C

4. 天文図屏風 名取春仲筆 江戸後期 6曲1隻 館蔵



4. 天文図屏風

林子平の人生と思想

5. 林子平肖像 佐々城朴庵筆 嘉永7年 1冊 尚文館C
6. 儀式考 林良通(笠翁)筆 江戸中期 1冊
猪苗代翁・弼氏寄贈
7. 漢土加留多 18C 6枚 藤塚家資料
8. 阿蘭陀加留多 18C 2枚 藤塚家資料
9. 世界之図 林子平筆写 安永4年 1鋪 中村徳重郎C
10. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊
猪苗代翁・弼氏寄贈
11. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 1冊 館蔵

「仙台藩の学問と思想家」 10/6～12/20

仙台藩の医学教育

1. 仙台年中行事絵巻(複製) 原資料・江戸後期(19C)
1枚 三原良吉C
2. 六物新志 大槻玄沢著 天明6年 1冊 館蔵
3. 瘍医新書 大槻玄沢訳・杉田玄白起業 文政8年刊 1冊
館蔵
4. 解体新書 杉田玄白ら訳 安永3年 1冊 館蔵
5. 存真図腋 佐々木中沢著・畠山仙江画 文政5年 1帖
山形敬一氏寄贈
6. 芝蘭堂新元会図(印刷) 原資料・市川岳山筆
近代(原資料・寛政6年) 1幅 鶴飼新一氏寄贈
7. ②河図図 東東洋筆 文化14年 1幅 館蔵



7. ②河図図

8. ②大舜命契図 東東洋筆 江戸後期(19C) 1幅 伊文
林子平の人生と交友
9. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊 尚文館C
10. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 1冊 藤塚家資料
11. 藤塚家家譜 藤塚式部筆 安永4年 1冊 藤塚家資料

12. アイヌの矢 江戸中期(18C) 3点 藤塚家資料
 13. 報賽歌 林子平筆 寛政3年 1幅 藤塚家資料
 14. 林子平謹慎自守ノ図 1幅 館蔵
 ※No. 7 は10/6~10/25、No. 8 は10/27~12/20の展示

「仙台藩の文化人と思想家」 12/22~2021.2/13

仙台藩ゆかりの文化人

1. 俳人百家撰 緑亭川柳編・歌川国輝画 嘉永8年 1冊 尚文館C
 2. 松窓句集 松窓乙二著 文政6年 1冊 尚文館C
 3. 俳諧三十六句仙 足了庵禾月尼序 嘉永6年 1冊 阿部次郎C
 4. 釣奇一覽 千柳亭序 安政3年 1冊 阿部次郎C
 5. 十夜説教図 遠藤曰人筆 江戸後期(19C) 1幅 天江富弥氏寄贈
 6. 蛙相撲図 遠藤曰人筆 天保4年 1幅 館蔵
 7. 仙台領高名競 角力見立 一騎作 仙台昔話会復刻 文政12年発行・昭和15年復刻 1枚 三原良吉C
 林子平の人生と思想
 8. 林子平肖像 牧互秀筆 近代 1幅 愛宕中学校寄贈
 9. 坪碑 林子平著・程赤城跋 安永7年頃 1冊 中村徳重郎C
 10. 仙台下絵図 林子平筆 江戸中期~後期 1点 中村徳重郎C
 11. 和蘭人宴会図 林子平筆 江戸後期 1額 館蔵
 12. 仏語訳 三国通覧図説 クラプロート訳 1832年刊 1冊 館蔵
 13. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 1冊 館蔵
 14. 林子平辞世拓本 江戸中期(18C) 1幅 中村徳重郎C

新たな時代へ

「玉蟲左太夫の生涯」 2020.4/1~4/10、5/19~6/21

1. 玉蟲左太夫肖像 庄子勇筆 大正 1面 玉蟲誼氏寄贈資料
 2. 玉蟲左太夫書状 兄宛 弘化3年12月28日 1通 玉蟲誼氏寄贈資料
 3. 入北記 卷9 玉蟲左太夫筆 安政4年 1冊 玉蟲誼氏寄贈資料
 4. 航米日録 卷1 玉蟲左太夫著 万延元年 1冊 玉蟲誼氏寄贈資料
 5. 英単語集 玉蟲左太夫筆 江戸末期 1冊 玉蟲誼氏寄贈資料
 6. 玉蟲左太夫意見書 (伊達慶邦宛) (元治元年)9月27日 1通 伊文
 7. 玉蟲左太夫書状 作左衛門宛 (明治元年)10月14日 1通 玉蟲誼氏寄贈資料
 8. 玉蟲左太夫書状 孝七・源吾宛 (明治元年)10月18日 1通 玉蟲誼氏寄贈資料
 9. 堀利熙書「不欺君不憲法不害民」 堀利熙筆 安政4年 1幅 大久保良雄C
 10. 玉蟲左太夫書「違々人世ト安危」 玉蟲左太夫筆 江戸後期 1幅 大久保良雄C

「仙台藩と外国」 6/23~8/9

1. 獅山公治家記録 卷143下 元文4年5月~6月 1冊 伊文
 2. 南瓢記 寛政10年刊 1冊 館蔵
 3. 環海異聞(写本) 大槻玄沢・志村弘強著 原南嶺私註 天保4年 2冊 館蔵
 4. 呂宋国漂流記 大槻磐溪著 弘化2年 1冊 館蔵
 5. アメリカ船石巻渡来図巻 江戸末期 1巻 館蔵
 6. アメリカ船員を描いたスケッチ 安政2年 4面 阿部次郎C

「仙台藩の軍備拡充」 10/6~12/20

1. 大槻俊斎書状 大槻竜之進宛 (弘化3年)5月朔日 1通 大槻祐一氏寄贈
 2. 伊達慶邦西洋銃術稽古申渡書控 (安政3年7月)1通 伊文
 3. 開成丸進水図写 熊耳耕年写 原図:小野寺鳳谷画 近代 1幅 菊田定郷C
 4. 騎兵体歩兵体散兵大訓練之図 月岡芳年画 慶応3年 3枚続 大宮司雅之輔C
 5. 高島流砲術免許皆伝書 大槻十郎太夫安貞 明治元年12月 1通 個人蔵
 6. 二十四封度砲砲之図ほか大型砲図 江戸後期 2点 個人蔵
 7. 仙台城および城下町砲筒備案 江戸後期 1点 個人蔵
 8. 日程記 大童信太夫筆 慶応3年8月 1冊 個人蔵
 9. 蒸気船黒龍丸支払金証書 仙台藩大童信太夫 慶応4年閏4月 1通 個人蔵

「幕末人物伝2 三浦乾也」 12/22~2021.2/13

1. 三浦乾也写真(印刷) 近代 1面 新井田C
 2. 帆前機器并蒸気船器械製造之具(写本) (原本は安政2年正月22日カ) 1冊 館蔵
 3. 開成丸訓練帰帆図 三浦乾也画 安政5年 1幅 菊田定郷C
 4. 三浦乾也への褒賞状 芝多対馬筆 (安政5年)5月 1通 伊文
 5. 三浦乾也書状 清水道看宛 (安政5年)12月12日 1通 亀田兵治C
 6. 紅梅図 三浦乾也筆 江戸後期~明治 1幅 新井田C
 6 近代都市へのあゆみ

戊辰戦争と明治維新

「仙台藩の戊辰前夜」 2020.4/1~4/10、5/19~6/21

1. 伊達慶邦画像 明治 1幅 伊文
 2. 孝明天皇内勅書写(伊達慶邦)宛 (文久2年)12月 1通 伊文
 3. 松崎顕敏他四名連署上書 安田竹之輔・今泉孫四郎・真田喜平太・大立目徳衛・松崎仲太夫(伊達慶邦)宛 文久3年3月24日 1通 伊文
 4. 石清水八幡宮行列之図巻 武藤弘毅筆 明治31年7月 1巻 片倉家資料

5. 伊達慶邦書状控 大内縫殿(義房)宛
(文久3年ヵ) 8月8日 1通 伊文
6. 江戸幕府老中口上書写 (伊達慶邦)宛
(元治元年4月) 1通 伊文
7. 伊達慶邦意見書控 (老中)宛 (元治元年ヵ) 10月 1通 伊文
8. 伊達慶邦書「明心」 江戸末期～明治初期 1幅 伊文
- 「仙台藩の戊辰戦争」 6/23～8/9
1. 本しらべ城州伏見大火の図 慶応4年正月 1枚 個人蔵
2. 太政官沙汰書写 伊達慶邦宛 (慶応4年) 正月20日 1通 伊文
3. 伊達慶邦書状案 上杉斉憲宛 (慶応4年) 2月15日 1通 伊文
4. 伊達慶邦肖像 印藤真楯筆 明治13年 1面 館蔵
5. 松平喜徳書状 伊達慶邦宛 (慶応4年) 3月24日 1通 伊文
6. 会津追討ニ付仙台様御出陣被遊御行列図 慶応4年4月 1枚 報恩会
7. 土湯口戦闘絵図 慶応4年4月19日 1枚 報恩会
- 「仙台藩の戊辰戦争」 10/6～12/20
1. 慶応四年五月朔日奥州於白川戦争之図等 慶応4年5月 1枚 報恩会
2. 白河口戦闘絵図(複製) 明治 1幅 館蔵
3. 戊辰私記 味岡礼質著 明治36年発行 1冊 報恩会
4. 駒ヶ嶺口惣御人数調 慶応4年9月 1綴 個人蔵
5. タワーミニエー銃 江戸末期 1挺 個人蔵
6. 新庄領金山本陣絵図 慶応4年7月 1紙 報恩会
- 「戊辰戦争後の仙台藩」 12/22～2021.2/13
1. 行政官達書 伊達慶邦宛 (明治元年) 12月 1通 伊文
2. 近衛忠熙・忠房書状 伊達亀三郎宛 (明治2年) 4月9日 1通 伊文
3. 松本要人画像 近代 1面 個人蔵
4. 若生文十郎書状 諸弟泣宛 (明治2年) 4月10日 1通 館蔵
5. 明治戊辰江戸獄囚人書 瀬上主膳・坂英力筆 近代 1冊 大久保良雄C
6. 陸前国仙台藩籍調 明治2年5月 1冊 伊文
7. 仙台藩庁絵図 明治2年 1枚 報恩会
- 近代都市仙台
- ③「近代の仙台と福島家」 2020.4/1～4/10、5/19～6/21
1. 第18期営業報告書 東北実業銀行 大正8年 1冊 平間家資料
2. 東北実業銀行関係者写真 昭和7年 1紙 共生福祉会
3. 書三行(人生七十七) 国分青厓作・成天(藤澤幾之輔)筆 昭和前期 1幅 共生福祉会
4. 塩竈神社 遠藤速雄筆 明治～大正 1幅 共生福祉会
5. 宮城県参事遠藤温布告 明治6年 1紙 三原良吉C
6. 書五行(夫日出之郷) 乃木希典筆 明治44年 1幅 共生福祉会
7. 東洋醸造絵はがき(パネル) 大正 2点 館蔵
8. 仙台・金華山漫画之旅 大正12年 1冊 共生福祉会
9. 漫画色紙 大正 13枚のうち2枚 共生福祉会
10. 伊藤清次郎夫妻祝賀記念 昭和7年 1紙 共生福祉会
11. 歌秀 成天(藤澤幾之輔)題 昭和8年 1冊 共生福祉会
12. イラストはがき集 野口明筆 昭和20年代 1面 共生福祉会
13. 瑞巖寺本堂回廊 野口明筆 昭和 1面 共生福祉会
- 「近代の仙台と博覧会」 6/23～8/9
1. 内国勧業博覧会行幸之図 楊州齋周延筆 明治10年11月 3枚続 尚文館C
2. 宮城県博覧会陳列品略目次 鎌田三郎右衛門刊 明治9年 1枚 尚文館C
3. 博物館御貸下物品及諸県下出品目録 宮城博覧会方 明治9年 1冊 尚文館C
4. 宮城県博覧会出品売約之証 宮城県博覧会事務所 藤崎治右衛門宛 明治13年 1綴5枚 三原良吉C
5. ①欧南遣使考 平井希昌著 宮城活版社刊 明治15年 1冊 安久津家資料
6. ①東北之少年 第5号 明治26年 1冊 安久津家資料
7. 東北産業博覧会全図 昭和3年 1枚 館蔵
8. 竹花鳥図 山下梅僊筆 昭和3年 1幅 共生福祉会
9. 七言絶句 青淵(洪沢栄一)筆 近代 1幅 伊澤家C
10. 盆 五大堂 仙台向山 埋木製造卸商 安齋商店 大正～昭和 1枚 館蔵
11. 東北産業博覧会賞状 東北産業博覧会総裁洪沢栄一・東北産業博覧会会長伊沢平左衛門 宍戸喜兵衛宛 昭和3年 1枚 館蔵
- ミニ特集・仙台空襲
12. 空撮された仙台市街(パネル) アメリカ軍撮影 昭和20年5月 3枚 館蔵
13. 空襲後の仙台市街(パネル) 昭和20年7～9月 3枚 館蔵
- 「絵図・地図でみる「杜の都」仙台の変遷」 10/6～12/20
1. 増補 仙台区全図 伊勢斎助発行 明治20年 1枚 三原良吉C
2. 松島塩竈仙台遊覧案内双六 宮城県物産商会方山亀之助刊 大正2年 1枚 三原良吉C
3. 最新版 仙台市全図 東洋造画館発行写 昭和3年 1枚 三原良吉C
4. 宮城県高砂村全図 明治40年 1幅 館蔵
5. 大日本職業別明細図・仙台市全図 昭和12年 1枚 三原良吉C
6. 戦災復興都市計画図 昭和23年頃 1枚 三原良吉C
7. SENDAI 1944年 1面 館蔵
8. 仙台局電信電話区市内図 昭和25年 1幅 館蔵
9. 長町局市内図 昭和26年 1幅 館蔵
- ※No.8・9は10/6～12/1の展示

- ③「福島美術館の優品」 12/1～2021.1/31
1. 四季の花図 熊耳耕年筆 昭和初期 1幅 共生福祉会
 2. 猫に罌粟図 遠藤速雄筆 明治 1幅 共生福祉会
 3. 桜花双鳩図 相山秀朗筆 大正14年 1幅 共生福祉会
 4. 五言二句 高橋天華筆 明治 双幅 共生福祉会

- ④「災害を生きた人々―近代の仙台地域の災害―」
12/22～2021.2/13
1. 虎列刺病予防心得 宮城県 明治10年 1冊 館蔵
 2. 伝染病患者第九回報告 宮城県衛生課 明治15年 1紙 館蔵
 3. 芭蕉の辻商館火災の図 笠原景親筆 明治42年 1面
仙台市消防局蔵
 4. 大風雨ノタメ水害調 明治22年9月11日 1枚 館蔵
 5. 水害救恤義捐金米募集取扱所 明治22年9月 1枚 館蔵
 6. 河原町区水害救助義捐金穀物品決算簿 明治22年 2冊
館蔵
 7. 大橋の銘板 明治25年～昭和13年 1点 報恩会
 8. 三陸大津波を伝える新聞記事(パネル) 奥羽日日新聞
明治29年6月26日付 1点 館蔵
 9. 本吉郡鹿折村絵図 明治初期 1枚 報恩会
 10. 本吉郡小木田村絵図 明治初期 1枚 報恩会
 11. 三陸大海嘯遭難幻燈(パネル) 明治29年 4点 館蔵
 12. 追悼文の草稿 佐藤時彦筆 明治29年 2枚 館蔵
 13. 宮城県管内水害区域図 明治43年 1枚 館蔵
 14. 明治43年洪水を伝える絵ハガキ(パネル) 明治43年 2点
館蔵
 15. 南町大火を伝える絵ハガキ 北目町・柳町(パネル)
大正8年 1点 館蔵
 16. 南町通を走る市電(絵ハガキ・パネル) 昭和初期 1点
館蔵

※No. 7～12・16は2/2～2/13の展示

特集展示室

伊達家文書と藩主の印章

2020.4/1～4/10、5/19～5/31

「鎌倉・南北朝時代の伊達家文書」

1. 重文 伊達道西(貞綱)軍忠状 御奉行所宛
元弘3年5月13日 1通 伊文
2. 重文 北畠顕家下文 伊達郡宛 建武元年9月10日 1通
伊文
3. 重文 足利尊氏袖判御教書 伊達孫三郎入道道西(貞綱)宛
建武3年9月26日 1通 伊文



3. 重文 足利尊氏袖判御教書

4. 重文 足利尊氏袖判下文 伊達長門権守政長宛
建武5年閏7月26日 1通 伊文
5. 重文 伊達政宗一揆契状 余目三河守(持家)宛
永和3年10月10日 1通 伊文
6. 重文 室町将軍家(足利義満)御教書 葛西陸奥守宛
明德2年6月27日 1通 伊文
「室町～戦国時代中期の伊達家文書」
7. 重文 伊達成宗上洛日記写 原本・文明15年 1冊 伊文
8. 重文 細川高国書状 伊達大膳大夫(尚宗)宛
(永正7年)7月24日 1通 伊文
9. 重文 新開隆実書状 伊達左京大夫(植宗)宛
(永正15年)4月5日 1通 伊文
10. 重文 棟役日記 天文4年3月 1冊 伊文
11. 重文 塵芥集(佐藤本) 原本・天文5年4月14日 1冊 伊文
12. 重文 近衛植家書状 伊達二郎(晴宗)宛
(天文16年)閏7月3日 1通 伊文
13. 重文 足利義輝御内書 伊達左京大夫(晴宗)宛
(永禄2年頃)9月24日 1通 伊文
14. 重文 北条氏康書状 伊達殿(晴宗)宛
(永禄3年カ)8月8日 1通 伊文
「伊達政宗の印章と印判状」
15. 重文 伊達政宗知行宛行朱印状(右筆) 大内右馬允宛
天正14年8月29日 1通 伊文
16. 重文 伊達政宗所用印章 桃山 1顆 伊文
17. (参考)伊達政宗黒印状(右筆) 桜田玄番(玄蕃基親)宛
(年未詳)正月5日 1通 桜田家資料
18. (参考)伊達政宗書状(日本語文・複製) ローマ教皇宛
原本・慶長18年9月4日 1通
館蔵(原資料・ヴァチカン図書館蔵)
19. 重文 伊達政宗新田開発免許黒印状(右筆)
加藤喜右衛門(頼定)等3名宛 寛永13年3月26日 1通
伊文
20. 重文 伊達政宗米渡方黒印状(右筆)
笹町新左衛門尉(元清)・須田主計(秀信)宛
寛永13年4月14日 1通 伊文
「戦国時代後期の伊達家文書」
21. 重文 蘆名止々斎(盛氏)起請文 伊達殿(輝宗)宛
永禄9年正月10日 1通 伊文
22. 重文 織田信長朱印状 伊達殿(輝宗)宛
(天正元年)12月28日 1通 伊文
23. 重文 徳川家康書状 伊達殿(輝宗)宛
(天正7年)7月1日 1通 伊文
「戦国末期・江戸時代初期の伊達家文書」
24. 重文 正月仕置之事 受心(伊達輝宗)筆
館(伊達政宗)宛(天正12年)12月 1巻 伊文
25. 重文 伊達政宗書状(自筆) 宛所不明
(天正18年)6月14日 1幅 伊文
26. 重文 伊達政宗書状(自筆)(母義姫宛)
(文禄2年)7月24日 1巻 伊文
27. 重文 伊達政宗銀子借用状(自筆) 土井大炊頭(利勝)・
酒井讃岐守(忠勝)宛 寛永13年2月24日 1通 伊文

「歴代藩主の印章」

28. 重文 伝馬用印章 伊達忠宗または伊達綱宗所用
江戸 1 顆
29. 重文 伊達綱宗所用印章 江戸前期 1 顆
30. 重文 伊達宗村所用印章 江戸中期 1 顆
31. 重文 伊達宗村所用印章 江戸中期 1 顆
32. 重文 伊達重村所用印章 江戸後期 1 顆



32. 重文 伊達重村所用印章

33. 重文 伊達重村所用印章 江戸後期 3 顆 1 組 伊文
34. 重文 伊達斉村所用印章 江戸後期 1 顆 伊文
35. 重文 伊達周宗所用印章 江戸後期 1 顆 伊文
36. 重文 伊達斉宗所用印章 江戸後期 1 顆 伊文
37. 重文 伊達斉義所用印章 江戸後期 1 顆 伊文
38. 重文 伊達斉邦所用印章 江戸後期 1 顆 伊文
39. 重文 伊達慶邦所用印章 江戸後期 1 顆 伊文

近代の仙台画壇

6/2~7/12

1. 馬猿図 遠藤速雄筆 明治 双幅 共生福祉会
2. 宮城十二景 遠藤速雄筆 大正 6 曲 1 双 伊澤家C
3. 山水・花鳥図押絵貼屏風 小圃六一筆 明治~大正
6 曲 1 双 伊澤家C
4. 香取・鹿島参拝記念帖（常総山水奇勝） 小圃六一筆
大正 4 年 2 帖のうち 伊澤家C
5. 松島図巻 小圃六一筆 大正 5 年 2 巻のうち 伊澤家C
6. 西国巡礼記 小圃六一筆 大正 8 年 2 帖のうち 伊澤家C
7. 扇面貼交屏風 小圃六一、熊耳耕年ら筆 近代
2 曲 1 隻 伊澤家C
8. 十二月月風俗図 熊耳耕年筆 近代 6 曲 1 双 館蔵
9. 大橋たもとの図 熊耳耕年筆 昭和 3 年 2 曲 1 隻
津国恒吉氏寄贈
10. 加賀千代女図 熊耳耕年筆 昭和初期 1 幅 共生福祉会
11. 是心会記 昭和 4 冊のうち 亀田兵治C

支倉常長帰国400年

7/21~8/9

「世界の中の日本—慶長遣欧使節の背景—」

1. 花樹鳥獸蒔絵螺鈿書篋筒 桃山 1 基 館蔵
2. 草花蒔絵螺鈿洋櫃 桃山~江戸初期 1 合 館蔵
3. 鮫皮貼洋櫃 江戸初期 1 合 館蔵
4. 南蛮釣鐘 1570年銘 1 口 個人蔵
5. 十字文瀬戸黒茶碗 桃山~江戸初期 1 口 館蔵
6. 重文 伊達輝宗日記 伊達輝宗筆 天正 2 年 1 冊 伊文

7. 火縄銃 刻銘「仙台住木田市郎右衛門定義作中鍛」

江戸中期 1 挺 館蔵

8. 御物之帳 慶長 6 年頃 2 冊 伊文

9. 重文 黒羅紗地裾緋羅紗山形文様陣羽織 伊達政宗所用

桃山 1 領 伊文



9. 重文 黒羅紗地裾緋羅紗山形文様陣羽織

10. 白茶天鷲絨地陣羽織 伝徳川家康所用

山岡志摩重長拝領 桃山 1 領 館蔵

11. 坤輿万国全図屏風 名取春仲筆 江戸後期 6 曲 1 隻 館蔵

12. 南蛮屏風 菊田伊洲筆 江戸後期 6 曲 1 双 館蔵

13. 新大陸図 セバステイアン・ミュンスター
1546年版（初版：1544年） 1 面 館蔵

14. 東洋図 アブラハム・オルテリウス
1598年版（初版：1570年） 1 面 館蔵

15. アジア図 アブラハム・オルテリウス
（初版：1570年） 1 面 館蔵

16. 太平洋図 アブラハム・オルテリウス
（初版：1589年） 1 面 館蔵

17. 日本図 ルイス・テイセイラ/アブラハム・オルテリウス
（初版：1595年） 1 面 館蔵

18. 日本図 ヨドクス・ホンディウス
（初版：1606年） 1 面 館蔵

19. アジア図 ヴィレム・ヤンソン・ブラウ/ヨアン・ブラウ
1642年版（初版：1635年） 1 面 館蔵



19. アジア図

20. 日本殉教の精華 アントニオ・カルディム編
1650年刊（初版：1646年） 1 冊 館蔵

21. 日本図 フィリップ・ブリエ 1650年頃刊 1 面 館蔵

仙台藩の絵画

10/6~11/23

「藩主が描いた絵画」

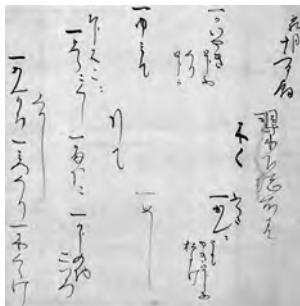
1. 花鳥図屏風 伊達綱宗筆 江戸前期 6曲1双 伊文
2. 霊昭女・花鳥図 伊達綱宗筆 江戸前期 3幅対 伊文
3. 蓮図 伊達綱村筆・賛 江戸中期 1幅 伊文
4. 日輪図 伊達綱村筆 江戸中期 1幅 伊文
5. 鳳凰図 伊達吉村筆 江戸中期 3幅対 伊文
6. 六所玉河和歌御手鑑 伊達吉村筆 江戸中期 1帖 伊文
7. 源氏八景御手鑑 伊達吉村筆 江戸中期 1帖 伊文
8. すなどり図巻(たかがり・すなどり図巻のうち) 伊達吉村筆 江戸中期 2巻のうち 伊文
9. 伊達綱宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
10. 伊達綱村画像 無明禅師筆・香国和尚賛 享保4年 1幅 伊文
11. 伊達吉村画像(東帯姿) 狩野古信筆・伊達吉村賛 江戸中期 1幅 伊文
12. 伊達吉村画像(直衣姿) 伊達吉村筆・賛 江戸中期 1幅 伊文
13. 長松院(伊達吉村夫人)画像 忠岡三千子筆 江戸中期 1幅 伊文
14. 伊達吉村画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
15. 伊達家歴代画真下絵 伊達吉村筆 享保9年 1巻 遠藤養一氏寄贈

福島美術館の優品

12/1~2021.1/31

「伊達家ゆかりの品々」

1. 伊達政宗自筆書状 日傾斎(鮎貝宗重)宛 天正16年12月17日 1幅 共生福祉会
2. 茶席献立 伊達政宗筆(慶長12年頃) 11月12日 1幅 共生福祉会



2. 茶席献立

3. 花鳥図 伊達綱宗筆 江戸前期~中期(17~18C) 1幅 共生福祉会
4. 弁財天牡丹図 伊達綱宗筆 江戸前期~中期(17~18C) 3幅対 共生福祉会
5. 巖上鉢図 伊達綱村筆 元禄8年頃 1幅 共生福祉会
6. 木庵性瑠像 喜多元規筆・木庵性瑠賛 寛文4年5月5日 1幅 共生福祉会

7. 近江八景画帖 伊達吉村筆 江戸中期(18C) 1帖 共生福祉会
8. 和歌手鑑短冊帖 伊達重村筆 江戸中期(18C) 1帖 共生福祉会

「仙台藩ゆかりの絵画」

9. 鷹図 菊田栄羽筆 右幅:延享2年 左幅:寛延4年 双幅 共生福祉会
 10. 若衆・花魁図 忠岡三千子筆 江戸中期(18C) 双幅 共生福祉会
 11. 鍾馗図 東東洋筆 江戸後期(19C) 1幅 共生福祉会
 12. 雨中瀧図 菊田伊洲筆 弘化3年 1幅 共生福祉会
 13. 三皇図 小池曲江筆 文化3年 1幅 共生福祉会
 14. 十六羅漢図 菅井梅閑筆 江戸後期(19C) 1幅 共生福祉会
 15. 琵琶行図 佐久間晴嶽筆 明治15年 1幅 共生福祉会
 16. 富士昇龍図 佐久間晴嶽筆 明治9年 1幅 共生福祉会
- 「工芸の優品」
17. 青磁鳳凰耳花入 中国・龍泉窯 南宋~元(13~14C) 1口 共生福祉会
 18. 金海茶碗 銘「垂桜」李氏朝鮮(17C) 1口 共生福祉会
 19. 松竹鶴蒔絵香合 江戸(18~19C) 1個 共生福祉会
 20. 織部香合 江戸(18~19C) 1個 共生福祉会
 21. 結文形松竹染付香合 永楽和全作 江戸(18~19C) 1個 共生福祉会
 22. 隅切角形香合 江戸(18~19C) 1個 共生福祉会
 23. 香道具 江戸後期(19C) 1式 共生福祉会
 24. 秀衡椀 桃山~江戸(16~17C) 1式 共生福祉会
 25. 二彩角皿 切込焼 江戸末期~明治(19~20C) 1枚 共生福祉会

『仙台市史』の収集資料—古文書・記録・絵画—

2021.2/2~2/13

「ここまでわかった!仙台的歴史」

1. 沙弥浄妙譲状案 正安2年5月21日 1通 個人蔵
2. 奥州宮城国分古館書上控写 延享4年2月 1綴 鷲尾栄一郎氏寄贈
3. 堰下板碑群2号碑(田子大日堂) 中世 1基 田子大日講寄贈
4. 澱不動尊板碑拓本 平成7年5月7日(原資料:文永10年8月24日) 1点 館蔵(原資料:澱町つつみ会)
5. 覚(赦免の件) 平与右衛門宛 享保14年7月 1通 米川家文書
6. 河田家宿守届出証 河田市郎安節筆 明和2年2月 1通 館蔵
7. 大倉村三ヶ銘山所拝領由緒書上写 新国正之助筆 延享3年頃 1綴 館蔵
8. 佐藤岩蔵宣智肖像 江戸後期(19C) 1幅 個人蔵
9. 名取郡北方飯田村絵図 文政年間 1鋪 佐藤信夫氏寄贈

10. 夢想願流之唯授一人高上太刀 松林無雲（蝠也斎）筆
慶長18年9月 1巻 仙台藩士松林家資料



10. 夢想願流之唯授一人高上太刀

11. 夢想願流長刀之大事 松林無雲（蝠也斎）筆
慶長18年9月 1巻 仙台藩士松林家資料
12. 仙台青葉城中御本丸御崖作眺望図 文化・文政年間 1巻
館蔵
13. 江戸御部屋元文四未四月小御記録 元文4年4月 1冊
館蔵
14. 仙台藩職制表 明治2～4年 1点 森田家家中庄司家文書
15. 宮城郡七北田村野村青年教育部書類 大正14年頃 1点
斎藤栄吉氏収集資料
16. 庶務並二部員名簿 昭和25年3月 1冊 遠藤すみ子氏寄贈
17. 女性農業者の作業風景 昭和62年頃 1点 高橋玲子氏寄贈
18. 仙台都市計画地域図 昭和4年7月 1冊 館蔵
19. 宮城郡大沢村防空業務書 昭和14年 1冊
旧宮城町行政文書
20. 仙台市防空演習市民心得 昭和12年9月1日 1綴 館蔵
21. 生出村写真アルバム 明治39年 1冊 個人蔵
22. 我が仙台 仙台市教育委員会 昭和8年12月10日 1冊
菅原蘭吉氏収集資料
23. 仙台郷土廻り 仙台市片平丁尋常小学校
昭和7年頃 1冊 菅原蘭吉氏収集資料
24. 宮城県郷土誌 菊地勝之助著・学習者刊
昭和7年9月25日 1冊 菅原蘭吉氏収集資料
「まだまだある！伊達政宗文書」
館蔵
25. 貞山公御判鑑 江戸 1冊 館蔵
26. 伊達政宗書状（右筆） 亘理兵庫頭（重宗）宛
（天正18年）8月2日 1幅 個人蔵
27. 伊達政宗書状（自筆） 八嶋（久右衛門尉増行カ）宛
（天正18年）7月4日 1通 館蔵
28. 伊達政宗書状（自筆） 伊河内（伊達河内守宗清）宛
（元和6年）閏12月21日 1幅 及川雅子氏寄贈
29. 伊達政宗書状（右筆） 美作守（伊達忠宗）宛
（年未詳）正月27日 1通 仙台藩鷹匠佐藤家文書
30. 伊達政宗黒印状（右筆） 慶長19年9月10日
1通（3通貼継） 鷹匠半澤家資料
31. 伊達政宗黒印状（右筆） 瀬成田源三郎等4名宛
寛永8年6月20日 1通 仙台藩鷹匠佐藤家文書
「初公開！『仙台市史』収集資料」
32. 伊達輝宗判物 天正4年11月22日 1幅 館蔵
33. 伊達綱村書状 牛老大和尚（鉄牛）宛
（元禄10年）閏2月22日 1幅 館蔵

34. 仙台御家中記 遠藤弘定筆（遠藤祐記写）
文久3年7月16日写 1冊 館蔵
35. 仙台市発展策 早川智寛筆 明治36年カ 1綴 館蔵
36. 仙台市長就任裁可書 鹿又武三郎宛 大正8年7月16日
1通 館蔵
37. 売買万覚帳 三右衛門筆 安政7年正月 1冊 館蔵
38. 離縁状（三行半） 寿右衛門筆（年未詳）2月 1通
鷺尾栄一郎氏寄贈
39. 宮城郡国分小田原村絵図 江戸後期（19C） 1鋪 館蔵
40. 河原町青物市場開設関係文書綴 明治19～20年 1綴 館蔵
41. 十文字信介書状 針生（与兵衛）・小西（栄蔵）宛
明治20年6月28日 1通 館蔵
42. 伊藤清次郎書状 御叔父様（小西栄蔵）宛
明治27年6月30日 1通 館蔵
43. 宮城紡績電灯株式会社債券 明治41年1月1日 1点 館蔵
44. 新土蔵入用調帳 小西利兵衛（岩治郎）筆
文政12年9月 1綴 館蔵
45. 蔵作入料留控帳 小西利兵衛筆 文化5年3月 1綴 館蔵
46. 明石図 伊達吉村筆 江戸中期（18C） 1幅 館蔵
47. 農稼業事 柳川屋庄兵衛筆 天保15年9月 1冊
鷺尾栄一郎氏寄贈
48. 私塾開業願之事 作並清亮筆 宮城県御庁宛
明治6年6月 1綴 館蔵
49. 私立東華高等女学校夏期休暇日誌 河田みち子筆
明治45年（大正元年）7月26日～9月5日 1冊 館蔵

テーマ展示室 I

仙台藩の武器武具

2020.4/1～4/10、5/19～6/14

1. 白糸威腹巻 8代伊達齊綱村所用 江戸中期 1領 館蔵
2. 黒漆五枚胴具足 12代伊達齊邦所用 江戸後期 1領 伊文
3. 鉄錆地桶側胴具足 江戸中期 1領 桜田吉則氏寄贈
4. 太刀 銘宝寿 銘「宝寿」「□慶二年八月日」
南北朝 1口 志村修氏寄贈
5. 刀 無銘 伝出羽月山 室町末期 1口 佐藤敬二郎氏寄贈
6. 脇差 銘奥州仙台住国包 銘「奥州仙台住国包」
「慶安五年二月吉日」 江戸前期 1口 赤羽刀
7. 金塗軍配団扇 箱・袋共 室町（箱・袋は江戸前期）
1握 伊文
8. 菊桐紋蒔絵刀掛 江戸前期 1架 伊文
9. 茶猪毛鞆 江戸中期 1合 伊文
10. 日の丸文軍扇 延享元年 1握 伊文
11. 金梨地花鳥蒔絵鞍轡 江戸後期 1具 伊文
12. 火縄銃「東雲」 銘「仙台住木田市郎右衛門尉定幸極上之鍛」
江戸後期 1挺 館蔵
13. 萌葱綾地松喰い立ち鶴紋陣羽織 江戸後期 1領 個人蔵
14. 黒羅背板胴服 伊達政宗所用 江戸初期 1領 菅野家資料
- ※No.13は4/1～10、No.14は5/19～6/14の展示

6/16~8/2

1. 鉄錆地五枚胴具足 4代伊達綱村所用 江戸前期 1領 館蔵
2. 黒漆五枚胴具足 伝片倉重綱所用 江戸初期 1領 館蔵
3. 黒漆五枚胴具足 江戸中期 1領 大津丈重・良之氏寄贈
4. 槍 銘綱家 慶長5年 1振 個人蔵
5. 十文字槍 銘金房正実 室町後期 1振 伊文
6. 矢の根形九曜紋透槍 銘国次 江戸前期 1架 伊文
7. 金梨子地竹雀九曜紋透刀掛 江戸初期 1架 伊文
8. 北斗七星文軍配団扇 江戸後期 1握 伊文
9. 鷹ゆがけ 伊達政宗所用墨書銘「甲田作内」
江戸初期 1指 菅野壽雄氏寄贈
10. 白猪毛鞆 江戸中期 1合 伊文
11. 朱漆雪薄紋鞍轡 伝伊達政宗所用 江戸初期 1組 伊文
12. 仙人図象嵌火繩銃 江戸後期 1口 館蔵
13. 赤羅紗地二引両紋陣羽織 江戸後期 1領
目黒照子氏寄贈
14. 浅葱変綾地波濤模様具足下 江戸後期 1領 館蔵
15. 赤羅紗地北斗七星模様陣羽織 江戸後期 1領
佐藤正人氏寄贈
16. 赤呉縞地金束菖蒲紋陣羽織 江戸後期 1領 菅野家資料
※No.13・14は6/16~7/26の展示

8/4~8/9

1. 鉄錆地五枚胴具足 4代伊達綱村所用 江戸前期 1領 館蔵
2. 黒漆五枚胴具足 伝片倉重綱所用 江戸初期 1領 館蔵
3. 黒漆五枚胴具足 江戸中期 1領 大津丈重・良之氏寄贈
4. 太刀 無銘 号「鑑国行」拵共 豊臣秀吉所用・伊達政宗拝領
鎌倉中期 1口 小笠原信夫氏寄贈



4. 太刀 無銘 号「鑑国行」拵共

5. 重文 豊臣秀吉書状 伊達政宗宛 天正17年 1通 伊文
6. 金梨子地竹雀九曜紋透刀掛 江戸初期 1架 伊文
7. 北斗七星文軍配団扇 江戸後期 1握 伊文
8. 鷹ゆがけ 伊達政宗所用墨書銘「甲田作内」
江戸初期 1指 菅野壽雄氏寄贈
9. 金梨子地竹雀紋馬柄杓 江戸中期 1本 伊文
10. 朱漆雪薄紋鞍轡 伝伊達政宗所用 江戸初期 1組 伊文
11. 仙人図象嵌火繩銃 江戸後期 1口 館蔵
12. 赤羅紗地北斗七星模様陣羽織 江戸後期 1領
佐藤正人氏寄贈
13. 赤呉縞地金束菖蒲紋陣羽織 江戸後期 1領 菅野家資料

10/6~12/13

1. 黒漆五枚胴具足 2代伊達忠宗所用 江戸前期 1領 伊文
2. 黒漆五枚胴具足 6代伊達宗村所用 江戸中期 1領 伊文

3. 黒漆五枚胴具足 武市九郎三郎所用 安政5年 1領 武市通則氏寄贈
4. 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 江戸中期 1領 伊文



4. 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織

5. 太刀 無銘 号「鑑国行」拵共 豊臣秀吉所用・伊達政宗拝領
鎌倉中期 1口 小笠原信夫氏寄贈
6. 重文 豊臣秀吉書状 伊達政宗宛 天正17年 1通 伊文
7. 薙刀 銘国包 江戸前期 1口 本郷榮一郎氏寄贈
8. 剣 国包 銘「山城大掾藤原国包/寛永十八年七月吉日」
「山城子源次郎国包」 寛永18年 1口 赤羽刀
9. 短刀 銘「藤原国包」 江戸中期 1口 藤崎三郎助氏寄贈
10. 日月七星文軍扇 伝伊達政宗所用 江戸初期 1本
本郷榮一郎氏寄贈
11. 和歌詠草「さかつきの」 伊達政宗筆 江戸初期 1幅
本郷榮一郎氏寄贈
12. 「仁澤」号由緒写 原資料は寛永15年 1幅
本郷榮一郎氏寄贈
13. 鉄製如意 銘山城入道用恵 江戸前期 1柄
本郷榮一郎氏寄贈
14. 三代源次郎覚書 元禄9年 1通 本郷榮一郎氏寄贈
15. 口宣案 寛文7年 1通 本郷榮一郎氏寄贈
16. 萌葱綾地松喰い立ち鶴紋陣羽織 江戸後期 1領 個人蔵
17. 赤呉縞地金束菖蒲紋陣羽織 江戸後期 1領 菅野家資料
18. 赤羅紗地折敷に三文字紋陣羽織 江戸後期 1領
武市家資料

※No.4~6は10/6~25、No.8・9は10/27~12/13、No.16は10/27~11/29、No.17・18は12/1~13の展示

12/15~2021.2/13

1. 黒漆五枚胴具足 7代伊達重村所用 江戸中期 1領 伊文
2. 黒漆五枚胴具足 4代伊達綱村所用 江戸前期 1領 伊文
3. 黒漆五枚胴具足 11代伊達齊義所用 江戸後期 1領 伊文
4. 太刀 銘「長谷部国信」 徳川吉宗所用・伊達宗村拝領
南北朝 1口 館蔵
5. 太刀 銘宝寿 銘「宝寿」「□慶二年八月日」
南北朝 1口 志村修氏寄贈
6. 重文 太刀 銘「義光」 建武4年 1口 亀岡八幡宮蔵
7. 刀 金象嵌銘貞次 鎌倉 1口 佐藤敬次郎氏寄贈
8. 刀 無銘(伝元重) 南北朝 1口 伊澤家C
9. 刀 備前長船源兵衛尉祐定 銘(表)「備前國住長船源兵衛尉祐定作」(裏)「永禄三年二月吉日」 永禄3年 1口 伊澤家C

- 10. 矢羽根 江戸 5枚 伊文
 - 11. 矢 江戸 3本 伊文
 - 12. 亀甲蟹牡丹紋鞍籠 江戸後期 1組 伊文
 - 13. 火縄銃「東雲」 銘「仙台住木田市郎右衛門尉定幸極上之鍛」
江戸後期 1挺 館蔵
 - 14. 赤呉縞地金束菖蒲紋陣羽織 江戸後期 1領 菅野家資料
 - 15. 赤羅紗地折敷に三文字紋陣羽織 江戸後期 1領
武市家資料
 - 16. 茶縞地蟹牡丹紋韋羽織 江戸中期 1領
ナンシー・チエコ・大山氏寄贈
 - 17. 赤羅紗地三巴紋陣羽織 江戸後期 1領 新田貴一氏寄贈
- ※No.4は12/15~28、No.5は12/15~1/24、No.6は1/5~24、
No.7・8は1/26~2/13、No.14・15は12/15~1/24、No.16・
17は1/26~2/13の展示

テーマ展示室II

(2020春・夏)慶長遣欧使節関係資料

2020.4/1~4/10、5/19~7/19

- 1. 支倉常長像 高田力蔵模写 昭和47年 1面 館蔵
- 2. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
- 3. セビリア市宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 4. ローマ市街図 16C末刊 1面 館蔵
- 5. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
- 6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵



6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版)

- 7. 支倉常長画像(銅版画) サデルル作
1616~17年頃 1枚 館蔵
- 8. 支倉常長画像(銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
- 9. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 10. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 11. 支倉常長書状(複製) 勘三郎宛
原本は元和4年 1幅 館蔵
- 12. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
- 13. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
- 14. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
- 15. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具 館蔵

- 16. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
 - 17. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
 - 18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面 館蔵
 - 19. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
 - 20. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
17C 1面 館蔵
 - 21. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書(複製)
支倉六右衛門宛 原本は1615年11月20日 1面 館蔵
- ※No.10は6/2~7/19の展示

①国宝「慶長遣欧使節関係資料」

2020夏 支倉特集 7/21~8/9

- 1. 支倉常長像 高田力蔵模写 昭和47年 1面 館蔵
- 2. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃 1面 館蔵
- 3. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像
1615年頃 1面 館蔵
- 4. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書
支倉六右衛門宛 1615年11月20日 1面 館蔵
- 5. クロード・デュエ父子像 ジャック・カロー
1632年刊 1点 館蔵
- 6. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
- 7. 国宝 マント及びズボン 17C 1組 館蔵
- 8. 国宝 鏡 17C 1双 館蔵
- 9. 国宝 鏡 17C 1口 館蔵
- 10. 国宝 轡 17C 2口 館蔵
- 11. 国宝 鞍 17C 1背 館蔵
- 12. 国宝 鞍 17C 1背 館蔵
- 13. 国宝 縞模様布 17C 1枚 館蔵
- 14. 国宝 祭服 17C 1領 館蔵
- 15. 国宝 十字架像 17C 1個 館蔵
- 16. 国宝 ロザリオ 17C 3連 館蔵
- 17. 国宝 ロザリオ 17C初期 2連 館蔵
- 18. 国宝 メダイ残欠 17C初期 6片 館蔵
- 19. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面 館蔵
- 20. 国宝 壁掛 17C初期 1枚 館蔵
- 21. 国宝 ディスチプリナ 17C 1口 館蔵
- 22. 国宝 テカ及び袋 17C 1具 館蔵
- 23. 国宝 十字架 17C 1口 館蔵
- 24. 国宝 レリカリオ 17C 1口 館蔵
- 25. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
- 26. 国宝 四方手 江戸初期カ 4箇 館蔵
- 27. 国宝 野杓 江戸初期カ 1具 館蔵
- 28. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1組 館蔵
- 29. 国宝 印章 江戸初期カ 2顆 館蔵
- 30. 国宝 留金具 17C 10点 館蔵
- 31. 遠藤陸郎撮影写真(パネル) 明治17年頃 館蔵
- 32. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵

(2020秋・冬) 慶長遣欧使節関係資料

10/6~2021.2/13

1. 支倉常長像 高田力蔵模写 昭和47年 1面 館蔵
2. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
3. セビリア市宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
4. ローマ市街図 16C末刊 1面 館蔵
5. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版)
アマーティ著 1615年刊 1冊 館蔵
6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版)
アマーティ著 1617年刊 1冊 館蔵
7. 支倉常長画像(銅版画) サデルル作
1616~17年頃 1枚 館蔵
8. 支倉常長画像(銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
9. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
10. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
11. 支倉常長書状(複製) 勘三郎宛
原本は元和4年 1幅 館蔵
12. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
13. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
14. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
15. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具 館蔵
16. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
17. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ(参考資料) 19C 1面 館蔵
19. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
20. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
17C 1面 館蔵
21. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書(複製)
支倉六右衛門宛 原本は1615年11月20日 1面 館蔵

コレクション展示室 I

やきもの

「埋木細工・そば猪口(西川瑞國コレクション)」

2020.4/1~4/10、5/19~6/21

1. 埋木細工 鷹置物 大正~昭和 1組 鹿島ゆき子氏寄贈
2. 埋木細工 花入 大正~昭和 1点 安斎博雄氏寄贈
3. 埋木文庫 大正末~昭和初期 1合 安斎千代氏寄贈
4. 埋木細工 亀置物 小竹彰作 昭和 1組
仙台埋木細工同業会寄贈
5. 埋木細工 二宮金次郎像 昭和 1組 安斎博雄氏寄贈
6. 埋木細工 鹿角形ネクタイ掛 小竹彰作 昭和 1点
仙台埋木細工同業会寄贈
7. 埋木細工 葉形銘々皿 黒川吉右衛門作 昭和 5枚
仙台埋木細工同業会寄贈

8. 埋木細工 千鳥形菓子鉢 小竹健勇作 昭和 1枚
仙台埋木細工同業会寄贈
9. 埋木細工 鳳凰置物・置物台 小竹彰作 昭和 1枚
仙台埋木細工同業会寄贈
10. 埋木細工 サラダフォーク・スプーン 石垣博作 昭和
1組 仙台埋木細工同業会寄贈
11. 埋木細工 菱形茶托 石垣博作 昭和 5枚
仙台埋木細工同業会寄贈
12. 染付草文猪口 伊万里「福」 18C前~中 1口 西川瑞國C
13. 染付竹に梅文猪口 伊万里「大明年製」カ 18C前~中
1口 西川瑞國C
14. 染付草花文猪口 伊万里「福」 18C中頃 1口 西川瑞國C
15. 染付松竹草花文猪口 伊万里「大明化□」
18C中頃~後半 1口 西川瑞國C
16. 染付蛸唐草文猪口 伊万里 18C後半 3口 西川瑞國C
17. 染付水辺に沢瀉文猪口 伊万里 18C後半カ 1口
西川瑞國C
18. 染付花鳥文猪口 伊万里 18C後半 1口 西川瑞國C
19. 染付草花文猪口 伊万里 釉 19C前半カ 1口 西川瑞國C
20. 染付矢羽に桜文猪口 瀬戸美濃(銅版転写) 19C後半
1口 西川瑞國C
21. 染付桜に山形文猪口 瀬戸美濃(型紙刷) 19C後半 1口
西川瑞國C
22. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
23. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
24. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
25. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
26. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
27. 壺 堤焼 19C 1点 館蔵
28. 甕(鑲付) 堤焼 19C 1点 館蔵

「盆石、中国・朝鮮のやきもの」 6/23~8/9

1. 盆石「鎌倉」石底墨書「鎌倉盆石」享保10年献上
1点 伊文
2. 盆石「筑波根」石底貼紙「青石(か□拾九號)」
「祝ヶ崎石 盆石八」 1点 伊文
3. 盆石 青石「祝ヶ崎石」石底貼紙「青石(か□拾九號)」
「祝ヶ崎石 盆石八」 1点 伊文
4. 盆石「かつらぎ山」石底金蒔絵銘「かつらぎ山」 1点
伊文
5. 盆石「名取川石」石底貼紙墨書「名取川石」 1点 伊文
6. 禾目天目茶碗 中国 南宋(13C) 1口 伊澤家C
7. 白磁印花飛鳥牡丹文鉢 中国・定窯 北宋~金(12C)
1口 ゴトゥC
8. 白磁四耳壺 中国・邢州窯 唐(8C) 1口 ゴトゥC
9. 黒釉刻花円紋陶枕 中国・磁洲窯系 金~元(12~14C)
1口 福田徳治郎氏寄贈
10. 五彩花鳥文椀 中国・景德鎮窯 明末以降(18C) 3口
伊文

11. 青磁平茶碗 銘「常盤」朝鮮 高麗 (12~13C) 1口 有井C
12. 平茶碗 銘「清風」朝鮮 李朝 (16C頃) 1口 ゴトウC
13. 刷毛目三島茶碗 朝鮮 李朝 (16C頃) 1口 有井C
14. 粉引茶碗 朝鮮 李朝 (15C~19C) 1口 有井C
15. 青井戸茶碗 銘「深山路」朝鮮 李朝 (16C~18C) 1口 有井C
16. 御本茶碗 朝鮮 李朝 (17C後半~18C) 1口 伊澤家C
17. 茶碗 銘「弦月」朝鮮 李朝 (17C) 1口 ゴトウC
18. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
19. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
20. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
21. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
22. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
23. 壺 堤焼 19C 1点 館蔵
24. 甕 (鑲付) 堤焼 19C 1点 館蔵

「館蔵のやきもの」 10/6~12/20

1. 染付牡丹蛸唐草らっきょう徳利 切込焼 江戸 (19C) 1口 伊澤家C
2. 染付牡丹唐草紋大皿 古伊万里 (肥前磁器)、有田 底銘「福」(変形福字)、底釘書「本」 江戸 (19C前半) 1枚 伊文
3. 染付唐草紋大皿 古伊万里 (肥前磁器)、有田 江戸 (19C半ば) 1枚 伊文
4. 染付山水文大皿 古伊万里 (肥前磁器) 底銘「天明成化年製」 江戸 (19C) 1枚 伊文
5. 染付花唐草丸文盤 古伊万里 (肥前磁器)、有田 底銘「福」(変形福字) 江戸 (19C前半) 1枚 伊文
6. 染付蓬菜文大皿 古伊万里 (肥前磁器) 塩田町志田窯カ 底銘「福」(変形福字) 江戸 (19C) 1枚 伊文
7. 染付山水草花文菊花形盤 古伊万里 (肥前磁器)、有田 底銘「福」(変形福字) 江戸 (19C) 1枚 伊文
8. 染付団龍菊流水文角皿 伊万里 (有田) 底銘「天明成化年製」 江戸 (17~18C) 5枚 伊文
9. 染付桜花文輪花皿 伊万里 (有田) (底銘有) 江戸 (17~18C) 2枚 伊文
10. 白磁桜花形向付 伊万里 (有田) 江戸 (18C) 8口 伊文
11. 青磁菊花形変形皿 伊万里 (有田) 江戸 (18C) 3枚 伊文
12. 青磁鮑形皿 伊万里 (有田) 江戸中期 (18C) 2枚 伊文
13. 粉引茶碗 朝鮮 李朝 (15C~19C) 1口 有井C
14. 刷毛目三島茶碗 朝鮮 李朝 (16C頃) 1口 有井C
15. 御本茶碗 朝鮮 李朝 (17C後半~18C) 1口 伊澤家C
16. 茶碗 銘「弦月」朝鮮 李朝 (17C) 1口 ゴトウC
17. 赤楽茶碗 紫野真応大観 江戸前期 (17~18C) 1口 佐藤宗鶴C
18. 月に萩文黒楽茶碗 三浦乾也 銘「乾也」 幕末~明治 (19C) 1口 新井田C
19. 染付梅樹文碗 波佐見焼 江戸中期 (18C) 1口 ゴトウC
20. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵

21. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
22. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
23. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
24. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
25. 壺 堤焼 19C 1点 館蔵
26. 甕 (鑲付) 堤焼 19C 1点 館蔵

「三浦乾也特集」 12/22~2021.2/13

1. 染付牡丹蛸唐草らっきょう徳利 切込焼 江戸 (19C) 1口 伊澤家C
2. 老子像 三浦乾也 背面「太上老君」/銘「墨水天禄堂乾也造」箱蓋裏墨書「於墨水天禄堂乾也造」 印章「乾也」(黒文橢円印) 19C 1点 新井田C
3. 春駒御福人形 三浦乾也 銘「乾也」 19C 1点 新井田C
4. 白蔵主 三浦乾也 印銘「乾也」箱蓋表墨書「白蔵主」 蓋裏墨書「乾也造」印章「乾也」(朱文円印) 19C 1点 新井田C
5. 松竹梅文土風炉 三浦乾也 銘「乾也」 19C 1口 新井田C
6. 十二支扇面文火鉢 三浦乾也 銘「乾也」 19C 1口 新井田C
7. 花卉文絵替葉形向付 三浦乾也 銘「乾也」 19C 5枚1組 新井田C
8. 菊文茶碗 五代目尾上菊五郎好 三浦乾也 印銘「乾也」 19C 1口 新井田C
9. 乾山写鶴文黒楽茶碗 三浦乾也 彫銘「乾也」 19C 1口 新井田C



9. 乾山写鶴文黒楽茶碗

10. 陶製経筒写花入 三浦乾也 刻銘「明治十八年己酉五月六十五翁天禄堂乾也造」 明治18年5月 1口 新井田C
11. 蓮形柄香炉 三浦乾也 刻銘「明治十七年六月天禄堂乾也」 明治17年6月 1合 新井田C
12. 都鳥文言問団子皿 三浦乾也 印銘(4枚)「乾也」「言問」 箱蓋裏墨書「明治三十四年五月八日妻貞子と共に向島の桜の新樹を見にものしける時言問団子やの楼上にてこれをもとむ」 19C 5枚1組 新井田C
13. 乾也玉簪 三浦乾也 刻銘「天禄堂乾也」 19C 1点 新井田C
14. 秋草文中差 三浦乾也 銘「天禄堂」「乾也」 19C 1点 新井田C
15. 秋草文根掛 三浦乾也 銘「乾也」 19C 1点 新井田C
16. 絵替小玉 三浦乾也 銘「乾也」 19C 1点 新井田C

- | | |
|---|--------------------------------|
| 17. 茶碗象眼煙管入 雪花文煙管付 三浦乾也
茶碗銘「天祿堂」「乾也」/緒締刻銘「乾也」/煙管入蒔絵銘
「昨日被仰遣候下絵相聞進候、安キ御事ニ候」 19C 1式
新井田C | 2. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 18. 松文煙管入 印籠・緒締付 三浦乾也
印籠銘「天祿堂乾也」 19C 1組 新井田C | 3. 堤人形 犬ひき花魁 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 19. 破笠細工具尽盆 (三浦乾也) 19C 5枚のうち3枚
新井田C | 4. 堤人形 花籠 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 20. 桐松象眼秋草文蒔絵盆 柴田是真・三浦乾也合作
陶板貼付銘「乾也」・金蒔絵銘「是真」 19C 1枚 新井田C | 5. 堤人形 子抱き 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 21. 海辺額 三浦乾也 印銘「做卯観子笠翁作意天祿堂乾也造」
19C 1面 新井田C | 6. 堤人形 茶摘み 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 22. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵 | 7. 堤人形 傘持ち 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 23. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵 | 8. 堤人形 針箱 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 24. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵 | 9. 堤人形 猫抱き花魁 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 25. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵 | 10. 堤人形 花車 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 26. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵 | 11. 堤人形 蛸と子供 江戸後期 1点 足立孔C |
| 27. 壺 堤焼 19C 1点 館蔵 | 12. 堤人形 鯉つかみ 江戸後期 1点 個人蔵 |
| 26. 甕 (鍔付) 堤焼 19C 1点 館蔵 | 13. 花卷人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 茶道具 | 14. 花卷人形 花車 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| | 15. 花卷人形 鯛車 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| | 16. 花卷人形 怪童丸 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| | 17. 花卷人形 琴遊び 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| | 18. 花卷人形 子守 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| | 19. 花卷人形 山姥と金太郎 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| | 20. 花卷人形 三味線弾き 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| | 21. 花卷人形 甕割り 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| | 22. 花卷人形 衝立美人 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| | 23. 花卷人形 傘持ち 江戸後期 1点 本出保治郎C |

2020.4/1~4/10、5/19~6/21

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1. 竹一重切花入 伊達吉村作 江戸後期 1口 ゴトウC | 「山形の古人形と堤人形」 6/23~8/9 |
| 2. 赤楽茶碗 銘「唐人」川上白 江戸中期 1口 有井C | 1. 相良人形 亀かつぎ 江戸後期 1点 館蔵 |
| 3. 梅形寄蓋物 三浦乾也 銘「乾也」 19C 1組 新井田C | 2. 相良人形 俵持ち 江戸後期 1点 館蔵 |
| 6/23~8/9 | 3. 相良人形 恵比寿大黒 鯛釣り 江戸後期 1点 足立孔C |
| 1. 竹一重切花入 伊達綱村作 江戸前期 1口 新井田C | 4. 相良人形 三番叟 江戸後期 1点 足立孔C |
| 2. 肥後焼茶入 江戸初期 1点 館蔵 | 5. 相良人形 太鼓打ち 江戸後期 1点 足立孔C |
| 3. 象嵌青磁石榴雲文平茶碗 朝鮮 高麗 (12~13C) 1口 有井C | 6. 相良人形 這い子 江戸後期 1点 足立孔C |
| 10/6~12/20 | 7. 相良人形 おぼこ 江戸後期 1点 足立孔C |
| 1. 迫焼茶入 銘「多留満」伊達慶邦銘 江戸後期 1点 伊文 | 8. 相良人形 敦盛 江戸後期 1点 足立孔C |
| 2. 山水人物図水牛蓋置 江戸 1口 伊文 | 9. 相良人形 狐忠信 江戸後期 1点 足立孔C |
| 3. 染付臥牛香合 青木木米作 京焼 江戸中期 1合 伊文 | 10. 相良人形 静御前 江戸後期 1点 足立孔C |
| 4. 割木瓜形水指 備前焼 銘「バン (大日如来)」
応永三年七月日施主承慶入道」 応永3年カ 1口 館蔵 | 11. 相良人形 饅頭 江戸後期 1点 足立孔C |
| 12/22~2021.2/13 | 12. 相良人形 龍王 江戸後期 1点 足立孔C |
| 1. 月に菘文黒楽茶碗 三浦乾也 19C 1口 新井田C | 13. 堤人形 三番叟 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 2. 唐子蓋置 三浦乾也 19C 1口 新井田C | 14. 堤人形 狐忠信 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 3. 都鳥香合 三浦乾也 銘「乾也」 19C 1合 新井田C | 15. 堤人形 静御前 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| 4. 梅形寄蓋物 三浦乾也 19C 1組 新井田C | 16. 堤人形 敦盛 江戸後期 1点 足立孔C |
| 古人形 | 17. 鶴岡人形 布袋の宝引き 明治 1点 足立孔C |
| 「花卷人形と堤人形」 2020.4/1~4/10、5/19~6/21 | 18. 鶴岡人形 龍王 明治 1点 足立孔C |
| 1. 堤人形 山姥と金太郎 江戸後期 1点 館蔵 | 19. 鶴岡人形 太鼓打ち 明治 1点 足立孔C |
| | 20. 鶴岡人形 立ち娘 明治 1点 足立孔C |
| | 21. 伏見人形 饅頭 近代 1点 三原良吉C |
| | 「抱瘡よけ」 6/23~8/9 |
| | 22. 三春人形 猩猩 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| | 23. 三春人形 熊乗り金太郎 江戸後期 1点 本出保治郎C |
| | 24. 相良人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 足立孔C |

25. 鴻巣練物 天神 近代 1点 足立孔C 「抱瘡よけ」 10/6~12/20
26. 鴻巣練物 鯉乗り 近代 1点 足立孔C 1. 鴻巣練物 鯉に乗る金太郎 1点 足立孔C
27. 鴻巣練物 獅子舞 近代 1点 足立孔C 2. 鴻巣練物 天神 1点 足立孔C
28. 鴻巣練物 鯛車 近代 1点 足立孔C 3. 鴻巣練物 鯉抱き 1点 足立孔C
29. 鴻巣練物 おしどり 近代 1点 足立孔C 4. 鴻巣練物 熊と金太郎 1点 足立孔C
30. 鴻巣練物 桃太郎 近代 1点 足立孔C 5. 鴻巣練物 鯛車 1点 足立孔C
31. 鴻巣練物 犬 近代 1点 足立孔C 6. 鴻巣練物 おしどり 1点 足立孔C
7. 鴻巣練物 犬 1点 足立孔C
- 「芝居と東北の古人形」 10/6~12/20 8. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 館蔵
1. 相良人形 勘平 江戸後期 1点 足立孔C 9. 堤人形 猩猩 江戸後期 1点 足立孔C
2. 相良人形 政岡 江戸後期 1点 足立孔C 10. 三春人形 猩猩 江戸後期 1点 本出保治郎C
3. 堤人形 顔世御前 江戸後期 1点 館蔵 11. 三春人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 足立孔C
4. 堤人形 曾我五郎 江戸後期 1点 館蔵
5. 堤人形 弁慶 江戸後期 1点 本出保治郎C
6. 堤人形 武智十次郎 江戸後期 1点 本出保治郎C
7. 堤人形 静御前 江戸後期 1点 本出保治郎C
8. 堤人形 白酒売り 江戸後期 1点 本出保治郎C
9. 堤人形 政岡 江戸後期 1点 本出保治郎C
10. 堤人形 和藤内 江戸後期 1点 本出保治郎C
11. 堤人形 狐忠信 江戸後期 1点 足立孔C
12. 堤人形 八重垣姫 江戸後期 1点 個人蔵
13. 三春人形 武智十次郎と初菊 江戸後期 1点 本出保治郎C
14. 三春人形 静御前と狐忠信 江戸後期 1点 本出保治郎C
15. 三春人形 義経 江戸後期 1点 本出保治郎C
16. 三春人形 和藤内 江戸後期 1点 本出保治郎C
17. 花巻人形 斧定九郎 江戸後期 1点 本出保治郎C
18. 花巻人形 大星由良之助 江戸後期 1点 本出保治郎C
19. 花巻人形 力弥と小浪 江戸後期 1点 本出保治郎C
20. 花巻人形 義経 江戸後期 1点 本出保治郎C
21. 花巻人形 若衆 江戸後期 1点 本出保治郎C
22. 花巻人形 顔世御前 江戸後期 1点 本出保治郎C
23. 浮世絵 髭の意休〔市川団蔵〕・花川戸助六〔河原崎権十郎〕
・三浦屋揚巻〔岩井桑三郎〕
歌川国明画 文久2年 3枚続 大宮司雅之輔C
24. 浮世絵 真柴久吉〔彦三郎〕・武智光秀〔芝翫〕・
十次郎光義〔訥升〕・初菊〔三津五郎〕・母さつき〔菊次郎〕
豊原国周画 明治元年 3枚続 大宮司雅之輔C
25. 浮世絵 若狭之介〔河原崎三升〕・高の師直〔尾上梅幸〕・
かおよ〔尾上栄次郎〕・塩谷判官〔大谷紫道〕
豊原国周画 明治3年 3枚続 大宮司雅之輔C
26. 浮世絵 源義経〔市川団十郎〕・静御前〔岩井半四郎〕・
狐忠信〔尾上菊五郎〕
豊原国周画 明治14年 3枚続 大宮司雅之輔C
27. 浮世絵 歌舞伎十八番の内勸進帳・
富樫左衛門〔市川左団次〕・弁慶〔市川団十郎〕・
義経〔中村福助〕
豊原国周画 明治20年 3枚続 大宮司雅之輔C
28. 浮世絵 八重垣姫〔市川団十郎〕・武田勝頼〔中村福助〕
豊原国周画 明治21年 3枚続 大宮司雅之輔C
- 「抱瘡よけ」 12/22~2021.2/13
1. 相良人形 獅子舞 江戸後期 1点 本出保治郎C
2. 相良人形 牛乗り天神 江戸後期 1点 足立孔C
3. 相良人形 恵比寿大黒 鯛釣り 江戸後期 1点 足立孔C
4. 相良人形 福祿寿 江戸後期 1点 足立孔C
5. 相良人形 羽子板 江戸後期 1点 足立孔C
6. 堤人形 宝船 江戸後期 1点 館蔵
7. 堤人形 天神 江戸後期 1点 本出保治郎C
8. 堤人形 獅子舞 江戸後期 1点 本出保治郎C
9. 堤人形 お供え餅 江戸後期 1点 本出保治郎C
10. 堤人形 羽子板 江戸後期 1点 本出保治郎C
11. 堤人形 堂内天神 江戸後期 1点 足立孔C
12. 堤人形 福神川越し 江戸後期 1点 足立孔C
13. 三春人形 牛乗り天神 江戸後期 1点 本出保治郎C
14. 三春人形 万歳 江戸後期 1点 本出保治郎C
15. 三春人形 大黒 江戸後期 1点 本出保治郎C
16. 三春人形 恵比寿 江戸後期 1点 本出保治郎C
17. 花巻人形 大黒 江戸後期 1点 本出保治郎C
18. 花巻人形 布袋 江戸後期 1点 本出保治郎C
19. 花巻人形 獅子舞 江戸後期 1点 本出保治郎C
20. 花巻人形 弁財天 江戸後期 1点 本出保治郎C
21. 花巻人形 お供え餅 江戸後期 1点 本出保治郎C
22. 花巻人形 天神 江戸後期 1点 足立孔C
- 「抱瘡よけ」 12/22~2021.2/13
1. 鴻巣練物 天神 1点 足立孔C
2. 鴻巣練物 立ち娘 1点 足立孔C
3. 鴻巣練物 獅子舞 1点 足立孔C
4. 三春人形 起き上がりこぼし 江戸後期 5点 足立孔C
5. 花巻人形 鍾馗 江戸後期 1点 本出保治郎C
- コレクション展示室II
- 「仙台四大画家特集」 2020.4/1~4/10、5/19~6/14
1. 柳に黒白図 東東洋筆 江戸後期 1幅 館蔵
2. 蘆間吹笛図 東東洋筆 江戸後期 1幅 館蔵
3. 常盤雪行図 東東洋筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C

4. 孔雀図 小池曲江筆 寛政10年 1幅 石原謙太郎C
5. 蘭亭曲水図 小池曲江筆 文化4年 1幅 亀田兵治C
6. 羅漢に龍図 小池曲江筆 天保8年 1幅 館蔵
7. 梅月図 菅井梅閑筆 江戸後期 1幅 新津宗助C
8. 懸崖蘭図 菅井梅閑筆 江戸後期 1幅 阿部次郎C
9. 牡丹図 菅井梅閑筆、南山古梁・舟山万年賛
天保4年 1幅 金ヶ崎二郎氏寄贈
10. 水亭午翠図 菅井梅閑筆 天保13年 1幅
亀卦川浩氏・守氏寄贈
11. 雨中山水図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C
12. 漁楽図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 館蔵
13. 紅葉図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 館蔵

「仙台の画家が中国絵画に学んだ作品」 6/16~7/12

1. 墨梅図 佐久間洞巖筆 享保10年 1幅 伊澤家C
2. 竜図 東東洋筆 安永7年 1幅 東量三氏・眞氏寄贈
3. 孤峰断林図 東東洋筆 天保3年 1幅 館蔵
4. 夏冬山水図 東東洋筆 天保6年 双幅 亀田兵治C
5. 海棠白頭翁図 小池曲江筆 江戸後期 1幅 個人蔵
6. 海棠白頭翁・桃実綬帯鳥図 小池曲江筆 寛政12年 双幅
個人蔵
7. 海棠孔雀図 小池曲江筆 寛政6年 1幅 館蔵
8. 松樹綬帯鳥図 松林山人筆 江戸後期 1幅 館蔵
9. 溪亭午翠図 菅井梅閑筆 天保元年 1幅 伊澤家C
10. 秋冬山水図 菅井梅閑筆 文政10年 双幅 伊澤家C
11. 浅絳山水図 江稼圃筆 清または江戸後期 1幅 館蔵
12. 南楼風月図 菅井梅閑筆 江戸後期 1幅 共生福祉会
13. 出山釈迦図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 館蔵
14. 八種画譜 宝永7年刊 8冊 館蔵
15. 萬古春図巻 佐久間洞巖筆 享保12年 1巻 伊澤家C
16. 草虫図巻 東東洋筆 天明元年 1巻 東量三氏・眞氏寄贈

①「文書と記録でたどる支倉常長の足跡」 7/21~8/9

1. 貞山公治家記録 巻18上 (文禄元年正月5日条)
元禄16年 1冊 伊文
2. 仙台藩奉行知行割状 支倉六右衛門(常長)宛
慶長13年10月22日 1面 支倉家資料
3. 伊達政宗書状 茂庭石見(綱元)宛
(慶長17~18年)8月12日 1幅 佐藤哲氏寄贈
4. 木村宇右衛門覚書 上 木村宇右衛門可親著
慶安5年頃 1冊 伊文
5. 貞山公治家記録 巻23 (慶長18年9月15日条)
元禄16年 1冊 伊文
6. セビリア市宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
7. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
8. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)(複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
9. 重文 伊達政宗所用印章 江戸初期 1顆 伊文



9. 重文 伊達政宗所用印章

10. 伊達政宗遣欧使節記 イタリア語版 アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
11. 伊達政宗遣欧使節記 ドイツ語版 アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
12. ローマ教皇謁見図(『伊達政宗遣欧使節記 ドイツ語版』より)
アマーティ著 1617年刊 1冊 館蔵
13. 伊達政宗遣欧使節・ローマ教皇謁見記 1615年刊 1冊
館蔵
14. 支倉常長銅版画 サデルル作 1616~17年頃 1枚 館蔵
15. 支倉常長銅版画 1616~17年頃 1枚 館蔵
16. 『健康的の飲み物に関する論文』 フランチェスコ・スカッキ
1622年刊 1冊 館蔵
17. イエズス会士フランシスコ報告書
ペドロ・モレホンら2名宛 (1622年) 1通 館蔵
18. 支倉常長書状(複製) 勘三郎(支倉常頼)宛
原本は元和4年9月22日 1通 館蔵
19. 貞山公治家記録 巻28 (元和6年8月26日条)
元禄16年 1冊 伊文
20. 伊達譜 下 内藤以貫編 寛文4年以前 1冊 伊文
21. 高祖父輝宗曾祖父政宗祖父宗忠記録抜書 貞享2年頃
1冊 伊文
22. 平姓伊藤一家支倉氏系図 江戸中期頃カ 1巻
支倉哲男氏寄贈
23. 支倉家家譜書出 支倉右仲筆 安永2年3月14日 2帖
支倉哲男氏寄贈

②「江戸の狩野家と藩に仕えた絵師たち」 10/6~11/23

1. 伊達政宗甲冑像 狩野探幽筆 江戸初期 1幅 伊文
2. 龍図 狩野探幽筆 寛文10年 双幅 伊文
3. 関羽・花鳥図 狩野安信・狩野洞雲筆 江戸前期
3幅対 伊澤家C
4. 王昭君図 狩野常信筆 江戸前期 1幅 伊澤家C
5. 村子姫霊夢図 狩野古信筆・林信篤賛 享保6年 1幅
館蔵



5. 村子姫霊夢図

6. 仙台領分名所手鑑 狩野典信画・伊達宗村書
江戸中期 1帖 中嶋成夫氏寄贈
7. 和漢賢聖名所尽画冊 松原探梁筆 江戸中期
2帖のうち 伊達家寄贈文化財
8. 李白・伊勢図 松原探梁筆 江戸中期 双幅 館蔵
9. 武夷九曲棹歌図巻 佐久間洞巖筆 享保13年 1巻
大内源太右衛門C
10. 花港観魚図 佐久間洞巖筆 江戸中期 1幅
大内源太右衛門C
11. 松島・塩竈図 菊田栄羽筆 江戸中期 双幅 館蔵
12. 衣通姫図 忠岡三千子筆 江戸中期 1幅 館蔵
13. 趙雲像 佐久間六所筆 江戸後期 1幅 伊文
14. 隻履達磨図 佐久間鉄園筆 明治 1幅 館蔵

③「福島美術館の優品」 12/1~2021.1/31

1. 旭日に鶴図 東東洋筆 江戸後期(19C) 1幅 共生福祉会
2. 富士図 中村不折筆 大正8年頃 1幅 共生福祉会
3. 七富図 佐久間晴嶽筆 明治(19~20C) 1幅 共生福祉会
4. 恵比須・大黒図 佐久間六所筆 嘉永6年 双幅
共生福祉会
5. 松鯉図 熊耳耕年筆 昭和9年 1幅 共生福祉会
6. 松齡鶴寿図 遠藤速雄筆 明治43年初春 双幅 共生福祉会
7. 松上鶴図 菊田伊洲筆 江戸後期(19C) 1幅 共生福祉会
8. 子の日遊び図 土佐光孚筆 江戸後期(19C) 双幅
共生福祉会
9. 郭子儀・唐子図 狩野古信筆 江戸中期(18C) 3幅対
共生福祉会
10. 鶴図画賛「杉苗や」 遠藤曰人筆 天保6年 1幅
共生福祉会
11. 朱画達磨 中林梧竹筆 明治~大正(19~20C) 1幅
共生福祉会



11. 朱画達磨

12. 観音菩薩立像 高村光雲作 明治末~昭和初期(19~20C)
1軀 共生福祉会

④「特集震災10年・災害を生きた人々―被災した資料のレスキュー活動と仙台平野の地震」 2/9~2/13

1. 荒浜御林調書/安達四兵衛書状 /安達四兵衛筆
天保3年11月/文政年間 1通/1通 個人蔵
2. 大日如来堂祭礼旗 荒井村神屋鋪講中
天保4年9月20日 1流 高橋久氏寄贈
3. 荒浜小学校棟札・校名表札 昭和11年/昭和23年
1点/1点 仙台市立荒浜小学校旧蔵
4. 福室避難所掲示チラシ 福室市民センターほか
平成23年 4枚 館蔵
5. 根白石村御門松納申候者共諸役御免願写 組頭次右衛門ほか筆 寛文10年6月5日 1巻 鷲尾栄一郎氏寄贈
6. 六丁目の蓬蟻庵の話 渡邊喜惣治筆 昭和34年2月14日
1冊 渡邊泰子氏寄贈
7. 廻文 諸友乃元義(蓬蟻庵)筆 明治初期(19C)
3幅 個人蔵
8. 日本三代実録(版本) 貞観11年5月条 1冊 館蔵
9. 棟平瓦・獸面文鬼瓦 平安 各1基 市教委
10. 荒浜地域地層標本(貞観11年5月) 平成25年3月 1点
独立行政法人産業技術総合研究所寄贈
11. 国分荒浜并名取井土浜之麓図 江戸後期(19C) 1鋪 館蔵
12. 貞山公治家記録 卷22 慶長16年10月28日条 1冊 伊文
13. 晴天風雨気考帳 柴崎以政筆 明治29年 1冊 個人蔵

国指定文化財の公開

当館は昭和50年から、文化財保護法第48条に基づく文化庁長官による勧告及び承認による国宝・重要文化財の公開館に指定されている。これは、広く全国の人々に文化財を公開し、文化の向上に資するために設けられた制度で、独立行政法人国立博物館をはじめ、全国の各地域ごとに14館が公開館として指定されている。当館は、東北地方における主要館の一つとして位置づけられており、仙台市内のみならず東北地方の国宝・重要文化財が公開の対象となり得る。

本年度の承認による出品を行った文化財は下記のとおりである。

1. 重要文化財 銅鏡 10面
山形県 月山神社・出羽神社・湯殿山神社蔵
2. 重要文化財 銅造懸仏及び銅鏡 14面
宮城県 熊野那智神社蔵
3. 重要文化財 太刀(銘備州長船住義光・建武四年十二月) 1口 宮城県 亀岡八幡宮蔵

企画展

令和2年度は当初3つの企画展開催を予定していた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染拡大防止の観点から企画展の開催を見送り、夏・秋・冬の常設展示において、各企画展のエッセンスを集約した展示を特集展示室などで行った。

なお、当初予定していた企画展と変更後の特集展示の日程は以下の通り。

①企画展「仙台の美と出会うー福島家三代の書画・工芸品コレクション」

令和2年4月24日(金)～6月7日(日)

→特集展示「福島美術館の優品」

令和2年12月1日(火)～令和3年1月31日(日)

②企画展「支倉常長帰国400年記念 東アジアとヨーロッパー伊達政宗が見た世界」

令和2年7月17日(金)～9月6日(日)

→特集展示「支倉常長帰国400年」

令和2年7月21日(火)～8月9日(日)

※当初は9月13日(日)までの開催を予定していたが、8月9日に発生した防煙垂れ壁の落下により同日正午から臨時休館となったため、展示も打ち切りとなった。

③企画展「仙台藩の絵画」

令和2年10月9日(金)～11月29日(日)

→特集展示「仙台藩の絵画」

令和2年10月6日(火)～11月23日(月・祝)

※当初は特集展示の開催を9月24日(木)から予定していたが、防煙垂れ壁の落下に伴う臨時休館により、10月6日(火)からの開催となった。

また、2021年は東日本大震災の発災から10年を迎えることから、各展示ゾーンで「特集震災10年」の共通テーマを設定した展示も実施した。常設展示の企画とはいえ、まとまったテーマで実施したことから、企画展に準じてこの項に掲載した。

特集展示

「支倉常長帰国400年」

会 期 令和2年7月21日(火)～8月9日(日)

展示構成

(1) 世界の中の日本ー慶長遣欧使節の背景ー
(特集展示室)

(2) 国宝「慶長遣欧使節関係資料」(テーマ展示室Ⅱ)

(3) 文書と記録でたどる支倉常長の足跡
(コレクション展示室Ⅱ)

※総合展示室内の各コーナーでも関連資料を展示。



展示風景

関連行事

(1) 友の会広報セミナー

10月19日(月) 午前の部 10:30～12:00

午後の部 13:30～15:00

博物館ホール・展示室

参加 午前33人、午後22人

動画配信

(1) おうちで楽しむ展覧会

伊達武将隊と行く！はっけん！仙台市博物館

特集展示「支倉常長帰国400年」part 1・2

Part 1 9月29日(火)～

Part 2 10月15日(木)～

動画共有サービス名：YouTube

「せんだいTube」(仙台市公式動画チャンネル)

展示資料目録

- (1) 世界の中の日本—慶長遣欧使節の背景—
1. 花樹鳥獸蒔絵螺鈿書篋筒 桃山 1基 館蔵
 2. 草花蒔絵螺鈿洋櫃 桃山～江戸初期 1合 館蔵
 3. 鮫皮貼洋櫃 江戸初期 1合 館蔵
 4. 南蛮釣鐘 1570年銘 1口 個人蔵
 5. 十字文瀬戸黒茶碗 桃山～江戸初期 1口 館蔵
 6. 重文 伊達輝宗日記 伊達輝宗筆 天正2年 1冊 伊文
 7. 火繩銃 刻銘「仙台住木田市郎右衛門定義作中鍛」
江戸中期 1挺 館蔵
 8. 御物之帳 慶長6年頃 2冊 伊文
 9. 重文 黒羅紗地裾緋羅紗山形文様陣羽織
伊達政宗所用 桃山 1領 伊文
 10. 白茶天鷲絨地陣羽織 伝徳川家康所用、
山岡志摩重長拝領 桃山 1領 館蔵
 11. 坤輿万国全図屏風 名取春仲筆 江戸後期 6曲1隻 館蔵
 12. 南蛮屏風 菊田伊洲筆 江戸後期 6曲1双 館蔵
 13. 新大陸図 セバスティアン・ミュンスター
1546年版（初版：1544年） 1面 館蔵
 14. 東洋図 アブラハム・オルテリウス
1598年版（初版：1570年） 1面 館蔵
 15. アジア図 アブラハム・オルテリウス
（初版：1570年） 1面 館蔵
 16. 太平洋図 アブラハム・オルテリウス
（初版：1589年） 1面 館蔵



16. 太平洋図

17. 日本図 ルイス・テイセイラ／アブラハム・オルテリウス
（初版：1595年） 1面 館蔵
18. 日本図 ヨドクス・ホンディウス（初版：1606年） 1面 館蔵
19. アジア図 ヴィレム・ヤンソン・ブラウ／ヨアン・ブラウ
1642年版（初版：1635年） 1面 館蔵
20. 日本殉教の精華 アントニオ・カルディム編
1650年刊（初版：1646年） 1冊 館蔵
21. 日本図 フィリップ・ブリエ 1650年頃刊 1面 館蔵

- (2) 国宝「慶長遣欧使節関係資料」
22. 支倉常長像 高田力蔵模写 昭和47年 1面 館蔵
 23. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
17C 1面 館蔵



23. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像

24. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵



24. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像

25. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書
支倉六右衛門宛 1615年11月20日 1面 館蔵



25. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書

26. クロード・デュエ父子像 ジャック・カロー
1632年刊 1点 個人蔵
27. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
28. 国宝 マント及びズボン 17C 1組 館蔵
29. 国宝 鏡 17C 1双 館蔵
30. 国宝 鏡 17C 1口 館蔵
31. 国宝 轡 17C 2口 館蔵
32. 国宝 鞍 17C 1背 館蔵
33. 国宝 鞍 17C 1背 館蔵

34. 国宝 縞模様布 17C 1枚 館蔵
35. 国宝 祭服 17C 1領 館蔵
36. 国宝 十字架像 17C 1個 館蔵
37. 国宝 ロザリオ 17C 3連 館蔵
38. 国宝 ロザリオ 17C 2連 館蔵
39. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
40. 洗礼者聖ヨハネ像 メダイ(参考資料) 19C 1点 館蔵
41. 国宝 壁掛 17C 1枚 館蔵
42. 国宝 ディスチブリナ 17C 1口 館蔵
43. 国宝 テカ及び袋 17C 1具 館蔵
44. 国宝 十字架 17C 1口 館蔵
45. 国宝 レリカリオ 17C 1口 館蔵
46. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
47. 国宝 四方手 江戸初期カ 4箇 館蔵
48. 国宝 野杓 江戸初期カ 1具 館蔵
49. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1組 館蔵
50. 国宝 印章 江戸初期 2顆 館蔵
51. 国宝 留金具 17C 10点 館蔵
52. 遠藤陸郎撮影写真(パネル) 明治17年頃 館蔵
53. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
- (3) 文書と記録でたどる支倉常長の足跡
54. 貞山公治家記録 卷18上(文禄元年正月5日条) 元禄16年 1冊 伊文
55. 仙台藩奉行知行割状 支倉六右衛門(常長)宛 慶長13年10月22日 1面 支倉家資料
56. 伊達政宗書状 茂庭石見(綱元)宛(慶長17~18年) 8月12日 1幅 佐藤哲氏寄贈
57. 木村宇右衛門覚書 上 木村宇右衛門可親著 慶安5年頃 1冊 伊文
58. 貞山公治家記録 卷23(慶長18年9月15日条) 元禄16年 1冊 伊文
59. セビリヤ市宛伊達政宗書状(和文)(複製) 原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
60. ローマ教皇宛伊達政宗書状(ラテン文)(複製) 原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
61. ローマ教皇宛伊達政宗書状(和文)(複製) 原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
62. 重文 伊達政宗所用印章 江戸初期 1顆 伊文
63. 伊達政宗遣欧使節記 イタリア語版 アマーティ著 1615年刊 1冊 館蔵
64. 伊達政宗遣欧使節記 ドイツ語版 アマーティ著 1617年刊 1冊 館蔵
65. ローマ教皇謁見図(『伊達政宗遣欧使節記 ドイツ語版』より) アマーティ著 1617年刊 1冊 館蔵



65. ローマ教皇謁見図(『伊達政宗遣欧使節記 ドイツ語版』より) 館蔵
66. 伊達政宗遣欧使節・ローマ教皇接見記 1615年刊 1冊 館蔵
67. 支倉常長銅版画 サデルル作画 1616~17年頃 1枚 館蔵
68. 支倉常長銅版画 1616~17年頃 1枚 館蔵
69. 『健康的飲み物に関する論文』 フランチェスコ・スカッキ 1622年刊 1冊 館蔵
70. イエズス会士フランシスコ報告書 ペドロ・モレホンら2名宛(1622年)月日未詳 1通 館蔵
71. 支倉常長書状(複製) 勘三郎(支倉常頼)宛 原本は元和4年9月22日 1通 館蔵
72. 貞山公治家記録 卷28(元和6年8月26日条) 元禄16年 1冊 伊文
73. 伊達譜 下 内藤以貫編 寛文4年以前 1冊 伊文
74. 高祖父輝宗曾祖父政宗祖父忠宗記録抜書 貞享2年頃 1冊 伊文
75. 平姓伊藤一家支倉氏系図 江戸中期(18C)頃カ 1巻 支倉哲男氏寄贈
76. 支倉家家譜書出 支倉右仲筆 安永2年3月14日 2帖 支倉哲男氏寄贈

特集展示

「仙台藩の絵画」

会 期 令和2年10月6日(火)～11月23日(月)

展示構成

- (1) 藩主が描いた絵画 ※肖像画含む(特集展示室)
- (2) 江戸の狩野家と藩に仕えた絵師の優品

(コレクション展示室Ⅱ)

※総合展示室内の各コーナーでも関連資料を展示。



展示風景

- (4) 図書館連携講座

「お殿さまと絵かき」

10月31日(土) 13:30～14:30

せんだいメディアテーク 参加56人

講師：丑田美佐子氏(仙台市民図書館司書)

樋口智之(当館学芸普及室長)

- (5) 各種団体・学校等への展示解説

3件(学校3件)参加 計98人

動画配信

- (1) まちなか博物館講座(東北工業大学・仙台市博物館連携事業)

「仙台藩の絵画—お殿様と絵師たち—」

10月24日(土)～11月23日(月・祝)

動画共有サービス名：YouTube

「channel tohtech」

(東北工業大学YouTubeチャンネル)

- (2) おうちで楽しむ展覧会

伊達武将隊と行く!はっけん!仙台市博物館

特集展示「仙台藩の絵画」

Part 1 11月14日(土)～

Part 2 11月18日(水)～

動画共有サービス名：YouTube

「せんだいTube」(仙台市公式動画チャンネル)

関連行事

- (1) しろ・まち講座

「仙台を彩った絵画文化—藩主と藩に仕えた絵師たち—」

11月7日(土) 13:30～14:30

博物館ホール 参加15人

講師：寺澤慎吾(当館学芸員)

- (2) ミュージアムセミナー

10月17日(土) 10:00～11:30

博物館講習室・展示室 参加8人

- (3) 友の会広報セミナー

11月9日(月) 午前の部 10:30～12:00

午後の部 13:30～15:00

博物館ホール・展示室

参加 午前38人、午後21人

展示資料目録

(1) 藩主が描いた絵画

1. 花鳥図屏風 伊達綱宗筆 江戸前期 6曲1双 伊文



1. 花鳥図屏風 (左隻)

2. 霊昭女・花鳥図 伊達綱宗筆 江戸前期 3幅対 伊文
 3. 蓮図 伊達綱村筆・賛 江戸中期 1幅 伊文
 4. 日輪図 伊達綱村筆 江戸中期 1幅 伊文
 5. 鳳凰図 伊達吉村筆 江戸中期 3幅対 伊文
 6. 六所玉河和歌御手鑑 伊達吉村筆 江戸中期 1帖 伊文



6. 六所玉河和歌御手鑑

7. 源氏八景御手鑑 伊達吉村筆 江戸中期 1帖 伊文
 8. すなどり図巻 (たかがり・すなどり図巻のうち) 伊達吉村筆 江戸中期 2巻のうち 伊文
 9. 伊達綱宗画像 (伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 10. 伊達綱村画像 無明禅師筆・香国和尚賛 享保4年 1幅 伊文
 11. 伊達吉村画像 (東帯姿) 狩野古信筆・伊達吉村賛 江戸中期 1幅 伊文
 12. 伊達吉村画像 (直衣姿) 伊達吉村筆・賛 江戸中期 1幅 伊文
 13. 長松院 (伊達吉村夫人) 画像 忠岡三千子筆 江戸中期 1幅 伊文
 14. 伊達吉村画像 (伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆 享保9年 1面 伊文
 15. 伊達家歴代画真下絵 伊達吉村筆 享保9年 1巻 遠藤養一氏寄贈

(2) 江戸の狩野家と藩に仕えた絵師たち

16. 伊達政宗甲冑像 狩野探幽筆 江戸初期 1幅 伊文
 17. 龍図 狩野探幽筆 寛文10年 双幅 伊文
 18. 関羽・花鳥図 狩野安信・狩野洞雲筆 江戸前期 3幅対 伊澤家C
 19. 王昭君図 狩野常信筆 江戸前期 1幅 伊澤家C
 20. 村子姫霊夢図 狩野古信筆・林信篤賛 享保6年 1幅 館蔵
 21. 仙台領分名所手鑑 狩野典信画・伊達宗村書 江戸中期 1帖 中嶋成夫氏寄贈
 22. 和漢賢聖名所尽画冊 松原探梁筆 江戸中期 2帖のうち 伊文
 23. 李白・伊勢図 松原探梁筆 江戸中期 双幅 館蔵
 24. 武夷九曲棹歌図巻 佐久間洞巖筆 享保13年 1巻 大内源太右衛門C



24. 武夷九曲棹歌図巻

25. 花港観魚図 佐久間洞巖筆 江戸中期 1幅 大内源太右衛門C
 26. 松島・塩竈図 菊田栄羽筆 江戸中期 双幅 館蔵



26. 松島・塩竈図

27. 衣通姫図 忠岡三千子筆 江戸中期 1幅 館蔵
 28. 趙雲像 佐久間六所筆 江戸後期 1幅 伊文
 29. 隻履達磨図 佐久間鉄園筆 明治 1幅 館蔵

特集展示

「福島美術館の優品」

会 期 令和2年12月1日(火)～令和3年1月31日(日)

展示構成

- (1) 伊達家ゆかりの品々
- (2) 仙台藩ゆかりの絵画
- (3) 工芸の優品（以上、特集展示室）
- (4) 福島美術館新春吉例「めでた掛け」
（コレクション展示室Ⅱ）
- (5) 明治以降の美術（総合展示室）

※総合展示室内の各コーナーでも関連資料を展示。



展示風景

関連行事

- (1) 友の会広報セミナー

1月12日(火) 午前の部 10:30～12:00

午後の部 13:30～15:00

博物館ホール・展示室

参加 午前21人、午後17人



ポスター

動画配信

- (1) おうちで楽しむ展覧会

伊達武将隊と行く！はっけん！仙台市博物館
特集展示「福島美術館の優品」part1・2

Part 1 1月7日(木)～

Part 2 1月8日(金)～

動画共有サービス名：YouTube

「せんだいTube」(仙台市公式動画チャンネル)

展示資料目録

- (1) 伊達家ゆかりの品々

1. 伊達政宗自筆書状 日傾斎(鮎貝宗重)宛

天正16年12月17日カ 1幅

共生福祉会

2. 茶席献立 伊達政宗筆 慶長12年頃11月12日 1幅

共生福祉会

3. 花鳥図 伊達綱宗筆 江戸前期～中期 1幅

共生福祉会



3. 花鳥図

4. 弁財天・牡丹図 伊達綱宗筆 江戸前期～中期 3幅対

共生福祉会

5. 巖上鉢図 伊達綱村筆 元禄8年頃 1幅

共生福祉会

6. 木庵性瑠像 喜多元規筆・木庵性瑠賛

寛文4年5月5日 1幅

共生福祉会

7. 近江八景画帖 伊達吉村筆 江戸中期 1帖

共生福祉会

8. 和歌手鑑短冊帖 伊達重村筆 江戸中期 1帖

共生福祉会

(2) 仙台藩ゆかりの絵画

- 9. 鷹図 菊田栄羽筆 右幅：延享2年 左幅：寛延4年 双幅 共生福祉会
- 10. 若衆・花魁図 忠岡三千子筆 江戸中期 双幅 共生福祉会
- 11. 鍾馗図 東東洋筆 江戸後期 1幅 共生福祉会



11. 鍾馗図

- 12. 三皇図 小池曲江筆 文化3年 1幅 共生福祉会
- 13. 十六羅漢図 菅井梅関筆 江戸後期 1幅 共生福祉会
- 14. 雨中瀧図 菊田伊洲筆 弘化3年 1幅 共生福祉会
- 15. 琵琶行図 佐久間晴嶽筆 明治15年 1幅 共生福祉会
- 16. 富士昇龍図 佐久間晴嶽筆 明治9年 1幅 共生福祉会

(3) 工芸の優品

- 17. 青磁鳳凰耳花入 中国・龍泉窯 南宋～元 1口 共生福祉会
- 18. 金海茶碗 銘「垂桜」 朝鮮 李朝 1口 共生福祉会
- 19. 松竹鶴蒔絵香合 江戸 1合 共生福祉会
- 20. 結文形松竹染付香合 永楽和全作 江戸 1合 共生福祉会
- 21. 織部香合 江戸 1合 共生福祉会
- 22. 隅切角形香合 江戸 1合 共生福祉会
- 23. 香道具 江戸後期 1式 共生福祉会

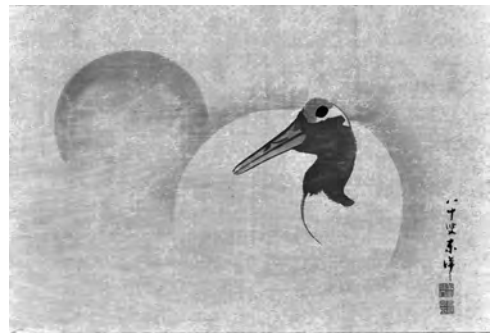


23. 香道具

- 24. 秀衡椀 桃山～江戸 1式 共生福祉会
- 25. 二彩角皿 切込焼 江戸末期～明治 1枚 共生福祉会

(4) 福島美術館新春吉例「めでた掛け」

- 26. 鶴に旭日図 東東洋筆 江戸後期 1幅 共生福祉会



26. 鶴に旭日図

- 27. 富士図 中村不折筆 大正 1幅 共生福祉会
- 28. 七富図 佐久間晴嶽筆 明治 1幅 共生福祉会
- 29. 恵比須・大黒図 佐久間六所筆 嘉永6年 双幅 共生福祉会
- 30. 松鯉図 熊耳耕年筆 昭和9年 1幅 共生福祉会
- 31. 松齡鶴寿図 遠藤速雄筆 明治43年初春 双幅 共生福祉会
- 32. 松上鶴図 菊田伊洲筆 江戸後期 1幅 共生福祉会
- 33. 子の日遊び図 土佐光孚筆 江戸後期 双幅 共生福祉会
- 34. 郭子儀・唐子図 狩野古信筆 江戸中期 3幅対 共生福祉会
- 35. 「杉苗や」句自画賛 遠藤曰人筆 天保6年 1幅 共生福祉会
- 36. 朱画達磨 中林梧竹筆 明治～大正 1幅 共生福祉会

- 37. 観音菩薩立像 高村光雲作 明治末～昭和初期 1軀 共生福祉会

(5) 明治時代以降の美術

- 38. 四季の花図 熊耳耕年筆 昭和初期 1幅 共生福祉会
- 39. 猫に罌粟図 遠藤速雄筆 明治 1幅 共生福祉会



39. 猫に罌粟図

- 40. 桜花双鳩図 相山秀朗筆 大正14年 1幅 共生福祉会
- 41. 五言二句 高橋天華筆 大正～昭和初期 双幅 共生福祉会

特集展示

「特集震災10年—災害を生きた人々」

会 期 令和2年12月22日(火)～令和3年2月13日(土)

※会期は3月21日(日)までを予定していたが、2月13日に発生した福島県沖地震によって、館内設備に被害が生じたことから、翌日から臨時休館するとともに展示を終了した。



展示風景

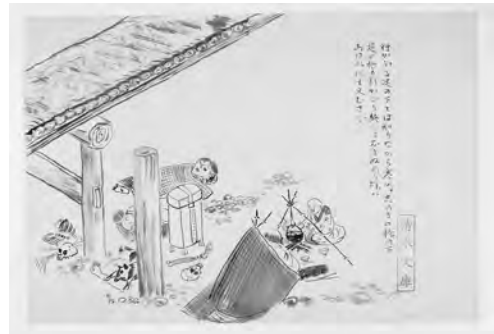
展示資料目録

仙台藩の飢饉 (2020.10/6～12/13)

※先行展示 (城下町仙台コーナー)

- 1. 仙台下絵図 宝暦10～12年 1 鋪 飯倉晴武氏寄贈
- 2. 天明飢饉の記録板書 天明4年 1 点 伊東善広氏寄贈
- 3. 六代治家記録 徹山公 卷31 天明6年5月27日条 1 冊 伊文
- 4. 六代治家記録 徹山公 卷29 天明4年4月16日条 1 冊 伊文

- 5. 銀札 天明4年 5 点 平間家資料
- 6. 天明飢死図集 (写本) 鈴木三伯筆 原本は天明5年10月 1 冊 館蔵



6. 天明飢死図集 (写本)

- 7. 六代治家記録 龍山公 卷31 天保7年9月23日条 1 冊 伊文
- 8. 天保荒歳物語 上 天保10年 1 冊 報恩会
- 9. 飢饉食料草木 佐々城朴庵筆 天保4年 1 冊 三原良吉C
- 10. 国分大倉村難渋御百姓共江松皮餅被下置通帳 天保7年 1 冊 館蔵
- 11. 御救助方万人講 天保7年9月 1 冊 佐藤恒明氏寄贈

仙台城の被災と修復 (仙台城のすがたコーナー)

- 1. 仙台城修復伺絵図 寛文8年10月4日 1 鋪 報恩会
- 2. 江戸幕府老中奉書写 寛文8年10月12日 1 通 館蔵
- 3. 江戸幕府老中奉書写 寛文13年9月15日 1 通 伊文
- 4. ノミ 仙台城本丸跡出土 江戸前期 2 点 仙台市教委
- 5. カスガイ状敷金 仙台城本丸跡出土 江戸前期 3 点 仙台市教委
- 6. クサビ状敷金 仙台城本丸跡出土 江戸前期 2 点 仙台市教委
- 7. 水晶 仙台城本丸跡出土 江戸前期 10 点 仙台市教委
- 8. 仙台城修復伺絵図 享保6年11月5日 1 幅 報恩会
- 9. 江戸幕府老中奉書 享保6年11月19日 1 通 館蔵
- 10. 仙台城二の丸家作水抜絵図 江戸後期 1 鋪 報恩会
- 11. 御城中御縮等之部 (江戸中期～後期) 1 冊 報恩会
- 12. 仙台城二の丸焼失の際尽力人数調 高野大学 (文化元年) 7月2日 1 綴 伊文
- 13. 遠藤近江覚書写 (文化元年7月) 1 通 個人蔵

仙台藩の自然災害 (仙台藩のようすコーナー)

- 1. 貞山公治家記録 卷30 寛永元年10月5日条 1 冊 伊文
- 2. 王翼祈祷文 王翼筆 (寛永2年・正月22日) 1 通 伊文
- 3. 仙台藩領内洪水被害口上覚書写 寛永15年4月21日 1 通 伊文

4. 凶荒図録 小田切春江編 木村金秋画 明治18年 1冊
三原良吉C
5. 備荒草木図 建部清庵著 天保4年 2冊 館蔵
6. 民間備荒録 建部清庵著 明和8年 1冊 個人蔵
7. 安政二年八月三日地震被害調写 治三郎宛
安政2年8月8日 1綴 伊文
8. 享和壬戌洪水記(写本) 原本鈴木三伯筆
原本は享和2年 1帖 館蔵
9. 安政三年七月二十三日日本吉北方津波状況調
石森幸左衛門筆 (安政3年)11月 1通 伊文

仙台藩の疫病と信仰 (城下町仙台コーナー)

1. 鍾馗図 狩野古信筆 江戸中期 1幅 伊文
2. 鍾馗図 狩野典信筆 江戸中期 1幅 伊文
3. 痘疹戒草巻中 池田錦橋輯著 文化6年 1冊 尚文館C
4. 蘇民将来 近代 三原良吉C
5. 新形三十六怪撰為朝の武威痘鬼神を退く図 明治23年 館蔵
6. 清正神儀公御手形 近代 1枚 三原良吉C
7. 修身図鑑附録 三好清篤画 明治26年 報恩会
8. 獅山公治家記録 享保18年7月26日条 1冊 伊文
9. 救民単方 佐々木朴庵 安政5年 1冊 尚文館C
10. 仙台城五蠶卦絵図(複製) 原本は元禄4・5年
原本は報恩会
11. 定禅寺諸御用記録 役者大悲院筆 嘉永5年1月 報恩会
12. 桜田良佐日記 桜田良佐筆 安政6年10月17日条 報恩会
※No.1は12/2~1/21、No.2は2/2~2/13の展示

近代の仙台地域の災害 (近代都市仙台コーナー)

1. 虎列刺病予防心得 宮城県 明治10年 1冊 館蔵
2. 伝染病患者第九回報告 宮城県衛生課 明治15年 1紙
館蔵
3. 芭蕉の辻商館火災の図 笠原景親筆 明治42年 1面
仙台市消防局蔵
4. 大風雨ノタメ水害調 明治22年9月11日 1枚 館蔵
5. 水害救恤義捐金米募集取扱所 明治22年9月 1枚 館蔵
6. 河原町区水害救助義捐金穀物品決算簿 明治22年 2冊
館蔵
7. 大橋の銘板 明治25年~昭和13年 1点 報恩会
8. 三陸大津波を伝える新聞記事(パネル) 奥羽日日新聞
明治29年6月26日付 1点 館蔵
9. 本吉郡鹿折村絵図 明治初期 1枚 報恩会
10. 本吉郡小木田村絵図 明治初期 1枚 報恩会
11. 三陸大海嘯遭難幻燈(パネル) 明治29年 4点 館蔵
12. 追悼文の草稿 佐藤時彦筆 明治29年 2枚 館蔵
13. 宮城県管内水害区域図 明治43年 1枚 館蔵

14. 明治43年洪水を伝える絵ハガキ(パネル) 明治43年
2点 館蔵
15. 南町大火を伝える絵ハガキ 北目町・柳町(パネル)
大正8年 1点 館蔵
16. 南町通を走る市電(絵ハガキ・パネル) 昭和初期
1点 館蔵
- ※No.7~16は2/2~2/13の展示

被災した資料のレスキュー活動と仙台平野の地震

(コレクション展示室II)

(2021.2/9~2/13)

1. 荒浜御林調書/安達四兵衛書状/安達四兵衛筆
天保3年11月/文政年間 1通/1通 個人蔵
2. 大日如来堂祭礼旗 荒井村神屋鋪講中
天保4年9月20日 1流 高橋久氏寄贈
3. 荒浜小学校棟札・校名表札 昭和11年/昭和23年
1点/1点 仙台市立荒浜小学校旧蔵
4. 福室避難所掲示チラシ 平成23年 4枚 館蔵
5. 根白石村御門松納申候者共諸役御免願写
寛文10年6月5日 1巻 鷲尾栄一郎氏寄贈
6. 六丁目の蓬蟻庵の話 昭和34年2月14日 1冊 寄贈
7. 廻文 諸友乃元義(蓬蟻庵)筆 江戸末~明治初年カ
3幅 個人蔵
8. 日本三代実録(版本) 貞観11年5月条 1冊 館蔵
9. 棟平瓦・獣面文鬼瓦 平安 各1基 仙台市教委
10. 荒浜地域地層標本(貞観11年5月) 平成25年3月 1点
独立行政法人産業技術総合研究所寄贈
11. 国分荒浜并名取井土浜之麓図 江戸後期 1鋪 館蔵



11. 国分荒浜并名取井土浜之麓図

12. 貞山公治家記録 卷22 慶長16年10月28日条 1冊 伊文
13. 晴天風雨気考帳 柴崎以政筆
明治29年旧5月5日(太陽暦6月15日) 1冊個人蔵

4. 資料の収集保管

令和2年度は、伊達家文書(1,046通)、伊達家印章の計2件が重要文化財に指定された。この指定により、当館が収蔵する国指定文化財は国宝1件・重要文化財7件となった。(収蔵する国指定・宮城県指定・仙台市指定の文化財について、表2に一覧を掲載している。)

受贈資料

令和2年度は17の個人から123件154点(概数)の資料の寄贈を受けた。

※寄贈者(敬称略)／資料名／数量の順に記載
本郷榮一郎／宮城県指定有形文化財 薙刀 銘国包ほか／9件10点
不明(引渡者：仙台市環境局施設課)／甕(堤焼)／1件1点
佐藤耕太郎／版籍奉還に際し書付／1件1点
庄司弘之／四季耕作図屏風 高橋容所筆／1件2点
寺嶋一夫／大槻平泉像 小圃六一画ほか／10件10点
橘川孚・橘川敦子／仙台藩砲術家橘川家資料／一括
鈴木祐子／伊達政宗書状ほか／4件6点
五十嵐裕／夏冬山水図 菊田伊洲筆／1件2点
安久津成一／安久津家資料／一括
亘理洋子／伊達吉村書状ほか／2件2点
東泰好／木製箱 伝東東洋遺品ほか／8件19点
清水保彦／雛人形ほか／4件19点
吉岡成二／桃青書状(断簡)／1件1点
鈴木佳幸／仙台北城大手門写真／2件2点
梅村ゆふ子／伊達齊宗領知朱印状および知行割目録ほか／2件2点
大槻久紀／仙台藩士大槻家(芋沢村)文書／41件41点
塩澤早春／伊達政宗書状ほか／34件34点

購入資料

令和2年度の購入資料は0件であった。

寄託資料

令和2年度は124人13,003件の寄託を受けた。

資料修理

令和2年度は7点の修理を行なった。

- (1) 表具の仕立て直し
仙道人取橋合戦之図 1幅 斎藤報恩会寄贈資料
会津摺上原合戦之図 1幅 斎藤報恩会寄贈資料
計2点
- (2) 掛緒・巻緒の交換
葡萄図 伊達宗村筆 1幅
社会福祉法人共生福祉会寄託資料
計1点
- (3) 表具の仕立て直し・太巻装
伊達政宗書状 鬼岩(鬼庭石見)宛
(天正16年カ)8月4日付 1幅 計1点
- (4) 裏打ち・卷子装
扱捉島沿岸図 市川安民筆 1巻 計1点
- (5) 書状剥がし・裏打ち
書状貼交花鳥図屏風 6曲1隻 計1点
- (6) 体験学習用複製資料修理
銀伊予札白糸素懸威胴丸具足 1領 計1点

資料保存

市民の貴重な財産である文化財を保存し、次の世代に継承するため当館では収蔵庫及び展示室においては適切な温度と湿度を保ち、紫外線をカットした蛍光灯及びLEDを使用している。

また虫菌害への対策として、下記のとおり(1)加害生物及び浮遊菌調査、(2)くん蒸庫におけるくん蒸を実施し、資料の殺虫・殺菌処理を行った。

(1) 加害生物及び浮遊菌調査

目的：歩行性昆虫の種類と侵入経路の特定

塵埃・浮遊菌の数量把握

実施日：①令和2年6月29日～7月13日

②トラップ設置：

令和2年11月4日～11月16日

浮遊菌採集：令和2年12月2日

方法：粘着トラップで歩行性昆虫を捕獲。

菌類はエアースンプラーによる採集と培養による属名同定。

調査場所：展示室・収蔵庫など館内226カ所に粘着トラップを設置。同じく22カ所においてエアースンプラーを採取。

効果：調査結果を受け加害生物の侵入を防ぐため

の対策を講じた。昆虫の侵入が認められたカ所を含む整理整頓と清掃を行い、さらに侵入経路の遮断を行った。また上記期間以外にも数箇所に着着トラップを設置し、継続的に侵入状況を観察した。

(2) くん蒸庫におけるくん蒸

目的：新規収蔵資料や一時預り資料、借用資料等のうち虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺虫・殺菌。

実施日：①令和2年9月7日～11日

②令和3年1月23日～1月27日

方法：すべてエキヒュームS（酸化エチレン製剤）ガス投薬による密閉くん蒸。

効果：供試虫・供試菌はいずれも殺滅され、殺虫・殺菌効果は100パーセントと判定された。

その他：各回とも環境への影響に配慮し、使用ガスの屋外排気にあたっては活性炭に有害物質を吸着させて排気を行った。

※令和3年2月13日の地震を受け、くん蒸設備気密試験および動作確認点検を行った。

資料の貸出

令和2年度は9の施設に54件87点の資料貸出を行った。

※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載

文化庁／指定調査のため／伊達家文書19件19点、伊達家印章9件40点、武田家資料1件1点／令和2年1月15日～6月12日

東京都江戸東京博物館／特別展「江戸ものづくり列伝－ニッポンの美は職人の技に宿る－」／三浦乾也作 菊文茶碗ほか5件5点／令和2年1月16日～6月17日

東京都江戸東京博物館・山口県立美術館・あべのハルカス美術館／特別展「奇才－江戸絵画の冒険者たち－」／菅井梅関筆 鷺鳥図ほか7件8点／令和2年6月18日～11月18日

東北歴史博物館／特別展「伝えるかたち／伝えるわざ－伝承と変容の日本建築」／御修覆帳ほか4件4点／令和2年9月9日～11月28日

東京国立博物館／特別展「桃山-天下人の100年」／重要文化財 銀伊予札白糸威胴丸具足（豊臣秀吉所用・伊達政宗拝領）、黒漆五枚胴具足（伊達政宗所用・菅野重成拝領）、菊花図屏風3件3点／

令和2年9月11日～12月7日

国立歴史民俗博物館／企画展示「性差（ジェンダー）の日本史－治める・はたらく・性を売る－」／仙台藩江戸上屋敷絵図ほか6件6点／令和2年9月10日～12月24日

世田谷文化生活情報センター 生活工房／「渦巻く智慧 未来の民具 しめかざり」／皿結び（仙台の伝統的な門松飾りの内）1件2点／令和2年8月26日～令和3年1月15日

写真資料の貸出・利用

当館では写真資料の貸出と利用に応じている。令和2年度の利用申込は233件558点であった。

「重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用」はこのべ19回、「ユネスコ世界記憶遺産・国宝 支倉常長像」はこのべ22回の利用があった。



重文 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用



ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像

表2 収蔵指定文化財一覧

令和3年3月31日現在

国指定文化財（国宝）

項目	資料名	員数	指定年月日
歴史資料	慶長遣欧使節関係資料	47点	平成13年6月22日

※慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市公民権証書・支倉常長像・ローマ教皇パウロ五世像の3点はユネスコ記憶遺産（平成25年6月19日登録）

国指定文化財（重要文化財）

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	小紋染胴服	1領	昭和53年6月15日
工芸品	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付(伊達政宗所用) 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旒	1領	昭和54年6月6日
工芸品	銀伊予札白糸威胴丸具足 兜・小具足付 附 兜巾 1頭 頭巾 1頭 団扇 3握 軍扇 2握	1領	昭和54年6月6日
工芸品	帯(三沢初子所用) 附 総鹿子裂 2枚 入日記(正徳2年4月) 1通	12条	平成3年6月21日
書跡	塵芥集	1冊	平成15年5月29日
古文書	伊達家文書(1,046通)	26巻、21冊、 20幅、953通、 1鋪、2綴、2枚	令和2年9月30日
古文書	伊達家印章 附 印譜(44通) 3冊、2帖、39通	127顆	令和2年9月30日

宮城県指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	仙台城本丸大広間障壁画扇面図	6曲1双 2曲1双	平成5年12月24日
工芸	薙刀 銘国包	1口	昭和34年8月31日
考古資料	土偶／鍛冶沢遺跡出土	1箇	平成24年5月1日
歴史資料	国絵図 正保年間奥州仙台領絵図(写)	1軸	平成20年5月2日

仙台市指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	紙本著色伊達政宗画像(狩野探幽筆・伊達政宗筆和歌短冊貼込)	1幅	昭和44年7月31日
絵画	菊絵和歌屏風	2隻	昭和51年7月1日
絵画	躑躅ヶ岡花見図屏風	6曲半双	昭和51年7月1日
絵画	菅井梅関 水亭午翠図	1幅	昭和51年7月1日
絵画	仙台城旧本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本著色葵図(2曲屏風) 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図(東東洋筆)	1双 6面 4面	昭和60年9月4日
絵画	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅2面	昭和60年9月4日

項目	資 料 名	員 数	指定年月日
絵画	絹本著色霊昭女、牡丹、芙蓉図(伊達綱宗筆)	3幅	昭和60年9月4日
絵画	紙本著色河図之図 (東東洋筆)	1幅	昭和60年9月4日
絵画	銅板油彩悲しみのマリア像	1面	昭和60年9月4日
絵画	瀟湘八景図(雪村周継筆)	6幅	平成7年3月23日
工芸品	仙台藩歴代藩主所用具足	11領	昭和60年9月4日
工芸品	服飾類 (伊達政宗所用) 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	1具 1領 1領 1領 1腰 1腰 1腰 1条	昭和60年9月4日
工芸品	孔雀羽根織込陣羽織 (伊達重村所用)	1領	昭和60年9月4日
工芸品	茶杓 仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作 2筒 伊達忠宗作 2筒 伊達綱宗作 6筒 伊達綱村作 7筒 伊達吉村作 36筒 仙台藩主作 7筒 (以上茶杓箆筒入) 伊達忠宗作 1筒	61筒	昭和60年9月4日
工芸品	仙台城旧本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草文釘隠	1個 1個	昭和60年9月4日
工芸品	花鳥山水文孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 「元禄貳己巳年石村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1合	1面	昭和60年9月4日
工芸品	黒漆五枚胴具足(伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領)	1領	平成20年3月24日
工芸品	朱黼漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付(伝上杉謙信所用)	1領	平成20年3月24日
工芸品	脇差 附 金梨地葵紋拵	1口	平成20年3月24日
工芸品	葵紋菊蒔絵耳盥	1具	平成24年12月21日
工芸品	竹菱梅葵紋蒔絵女乗物	1挺	平成26年7月31日
古文書	晴宗公采地下賜録	2冊	昭和51年7月1日
古文書	印章 (仙台伊達家伝来)	133顆	昭和60年9月4日
古文書	伊達治家記録(仙台市博物館本)	696冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達世臣家譜及続編(仙台市博物館本)	268冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達出自正統世次考(仙台市博物館本) 伊達出自正統世次考首巻 伊達出自世次考 伊達正統世次考 伊達出自正統世次考系図 附 御代々考考證 遊佐好生筆 10冊	1冊 9巻9冊 10巻14冊 1冊	昭和60年9月4日
古文書	林子平自筆写本絵図分類 附 六無斎遺詠 1冊	8枚	昭和60年9月4日
古文書	支倉家文書	一括	昭和60年9月4日

項目	資 料 名	員 数	指定年月日
考古資料	伊達政宗墓所出土品		昭和60年9月4日
	糸巻太刀刀身	1口	
	糸巻太刀拵	1腰	
	黒漆葛蒔絵文箱	1合	
	青龍付文鎮(文箱内容品)	1点	
	墨(文箱内容品)	1挺	
	黒漆白梅蒔絵箱	1合	
	梨地菊蒔絵箱	1合	
	黒漆鉄線蒔絵香合	1合	
	梨地梅笹蒔絵硯箱	1合	
	筆入(硯箱内容品)	1点	
	墨(硯箱内容品)	1挺	
	硯(硯箱内容品)	1面	
	水滴(硯箱内容品)	1点	
	梨地煙管箱	1合	
	煙管羅字(煙管箱内容品)	2点	
	梨地菊蒔絵印籠	1具	
	皮袋	1点	
	慶長1分金(皮袋内容品)	3枚	
	携帯用磁石(皮袋内容品)	1点	
	金製ブローチ(皮袋内容品)	1点	
練玉(皮袋緒締)	1点		
銀製服飾品	1点		
円鏡	1点		
毛拔	2点		
雲母製菜板	5枚		
葵紋金製菜板	1枚		
金具	一括		
残欠類	一括		
歴史資料	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1巻	平成11年2月1日
歴史資料	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48件	平成11年3月23日
歴史資料	奥州仙台城絵図(推定正保2～3年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下五釐卦絵図(推定元禄4～5年)	4鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(推定天明6～寛政元年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(文久2年)	1幅	平成12年4月28日
歴史資料	明治元年現状仙台城市之図	1面	平成12年4月28日
歴史資料	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附 春慶塗印籠蓋造箱 1合	1幅	平成13年3月22日
歴史資料	旧大橋の擬宝珠	1口	平成13年3月22日

表3 収蔵資料一覧

令和3年3月31日現在

伊達家寄贈文化財	古文書、絵画、工芸等	22,054
慶長遣欧使節関係資料	支倉常長像、ローマ教皇パウロ五世像等	52
瑞鳳殿発掘資料	糸巻太刀、黒漆地葛蒔絵文箱等	21
青木家資料	具足、旗、刀剣、古文書等	13
安久津成清関係資料	教育、ギリシャ正教・自由民権運動関係文書	446
浅尾哲次関係資料	古文書、書簡、写真、法服	30
足立孔コレクション	古堤人形、古三春人形、古相良人形、古花巻人形等	3,367
阿部次郎コレクション	絵画、浮世絵、古書籍、古文書	3,286
伊澤家コレクション	絵画、古書籍、具足、刀剣、工芸等	1,288
石橋幸作コレクション	飴売り風俗人形、駄菓子模型	501
石原謙太郎コレクション	絵画、書跡、屏風	84
石母田家資料	古文書等	83
板橋次郎関係資料	近代資料等	724
和泉幸一郎コレクション	浮世絵、陶磁器等	708
大内源太右衛門コレクション	絵画、歴史資料等	90
大久保良雄コレクション	書跡	1,136
岡家資料	古文書等	11,000◇
小野家資料	古文書、古記録、古写真等	791
小野台蔵コレクション	土人形、郷土玩具等	1,826
片倉家資料	小紋染胴服、陣羽織、書状等	487
金子家資料	古文書、古記録	46
亀田孜コレクション	拓本、写真等	537◇
亀田兵治コレクション	絵画、開成丸関係資料	103
菅野家資料	具足、工芸、服飾、古文書等	247
菊田定郷コレクション	書籍、絵画等	340◇
甲田コレクション	仙台平袴、裂地、絵画、陶磁器、刀剣等	522
古賀孝コレクション	切込焼、東北の陶磁器	178
国分家資料	古文書等	60
小関家・新井奥蔵関係資料	古文書、書跡、古写真	91
ゴトウコレクション	絵画、工芸、書跡	256
小松家資料	仙台平等裂地	10
斎藤報恩会寄贈資料	絵図、古文書、古記録等	3,000◇
佐藤明コレクション	絵画、書跡、土人形	122
佐藤家資料	古文書、古記録、自由民権運動関係資料	301
佐藤宗鶴コレクション	茶道具等	520
佐藤半兵衛コレクション	古銭、中国絵画	3,291
尚文館コレクション	古書籍、古記録等	3,052
鈴木家資料	具足、古文書等	134
大宮司雅之輔コレクション	浮世絵	3,079◇
武田家資料	古文書、古記録、服飾等	192
武市家資料	古文書、古記録、具足	293
千田家資料	古文書等	405
角懸家資料	古文書、絵画、具足、刀剣等	407
中村徳重郎コレクション	林子平関係資料、古文書、古記録	432
新井田コレクション	陶器、絵画等	250
新津宗助コレクション	絵画、書跡、刀剣	114
西川瑞國コレクション	陶磁器等	518
濱田家資料	古文書、古記録、濱田景隆遺品	157
林家・大槻家関係資料	古文書、絵画、肖像写真	94
林信夫コレクション	浮世絵、近世絵画	196
藤塚家資料	藤塚知明、林子平関係資料等	343◇
朴沢家資料	古文書、古記録、絵画	539
本出保治郎コレクション	古堤人形、古三春人形、古花巻人形、古相良人形等	3,416
松川家資料	古文書、古記録、絵画等	245◇
三原良吉コレクション	古文書、古書籍、古写真、絵画、玩具等	4,856
横山文夫コレクション	東北の陶磁器	25
仙岳院関係資料	古文書、輿、絵画等	(一括)
書跡	書跡、文芸等	466
工芸・彫刻	埋木細工、服飾、刀剣、具足、陶磁器、古土人形、独楽等	2,894
絵画	絵画	1,180
考古資料	土器、石器等	414
歴史資料	古文書、古書籍、古記録、絵図、地図、貨幣、地券状、写真、近代資料等	17,071

総計 98,383点

(新規収蔵資料154点。整理完了分含む。ただし仙岳院関係資料を除く)

点数は資料整理状況により、前年と著しく異なっている場合がある。

◇整理中の資料群のうち整理が完了した点数、または概数を記載。

5. 教育・普及

講座・イベント

1. リピーター勧誘イベント

「よろいのシールをあつめよう！」

シール・台紙配布 10月6日(火)～2月13日(土)
配布場所 情報資料センター

表4 よろいシール参加状況

年度	新規参加者	特典進呈
R2	7人	4人

歴代仙台藩主のよろいシールを作成し、希望があれば常設展観覧者1名につき、シール1枚を配布するキャンペーンを継続。シールを全種類集めた参加者には特典（政宗のよろいクリアファイル）を進呈した。



2. 博物館七夕飾り

令和2年7月7日(火)～8月9日(日)

エントランスホール

柳生地区（仙台市太白区）に伝承されてきた柳生和紙を使用し、七夕の竹飾りを飾った。吹き流しを中心に、仙台七夕の七つ道具（吹き流し・短冊・紙衣・千羽鶴・巾着・投網・屑籠）を作り、展示した。短冊は、博物館ツイッターにて願い事を募集し、職員が代筆して飾り付けた。

当初は8月23日までを予定していたが、臨時休館のため途中で打ち切りとなった。



3. 夏休みサポートプロジェクト

令和2年7月23日(木)～8月9日(日)

例年、夏休み期間に合わせて、「夏休み自由研究サポートプロジェクト」を実施してきたが、令和2年度はスタディーシートや新聞用紙等を配付・紹介する形に変更し、児童・生徒の調べ学習の一助となるようにした。また、博物館ホームページのキッズコーナーに、調べ学習サポートのページを新設し、新聞用紙を掲載して、必要に応じて活用できるようにした。

当初は8月30日までを予定していたが、臨時休館により、館内でのスタディーシート等の配布は途中で打ち切りとなった。

4. 親子体験イベント

夏休み工作教室

令和2年7月25日(土)に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

5. 仙台っ子歴史探検隊

令和2年8月22日(土)に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

6. しろ・まち講座 39～41

仙台城と城下町仙台についての理解を一層深めたり、展示会の見どころについて紹介したりするために講座を実施している。令和2年度はNo.39とNo.40が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。No.41は感染症対策のため、事前申し込み制として人数を制限して実施した。会場は博物館ホールで13:30～14:30に開催した。

表5 令和2年度 しろ・まち講座

No.	月日	講師・演題
39	5/24 (土) 中止	尾暮まゆみ氏（元福島美術館学芸員） 「街のちいさな美術館が紡いだ刻—地域の美術文化を遺すために—」
40	8/1 (土) 中止	佐々木 徹（当館学芸員） 「慶長遣欧使節—伊達政宗の国際外交—」
41	11/7 (土)	寺澤 慎吾（当館学芸員） 「仙台を彩った絵画文化—藩主と藩に仕えた絵師たち—」



しろ・まち講座41

7. まちなか博物館講座 8・9

平成28年度より東北工業大学との連携事業として、歴史や美術に関する講座を実施している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第8回を中止。また、第9回は特集展示「仙台藩の絵画」に関連し、展示に合わせた内容の講座を、東北工業大学YouTubeチャンネル「channel tohtech」にて動画配信（オンデマンド）で行った。

※撮影協力：東北工業大学ライフデザイン学部
経営コミュニケーション学科
猿渡研究室

表6 令和2年度 まちなか博物館講座

No.	月日	講師・演題
8	5/16 (土) 中止	小田嶋なつみ（当館学芸員） 「美を愉しむところをつなぐ —福島美術館の優品たち—」
9	10/24 (土) ～ 11/23 (月/祝)	寺澤慎吾（当館学芸員） 「仙台藩の絵画 —お殿様と絵師たち—」 ※オンデマンド配信 (どなたでも視聴可)



まちなか博物館講座9

8. 生涯学習推進（館内講師・館外講師派遣）

団体・機関などからの依頼を受けて、感染症対策を講じながら学芸員等の館職員が館内もしくは館外で講話を行った。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止や垂れ壁落下、地震被害による臨時休館の影響で、館内講師の件数が少なかった。

下表は、当館で受理した「講師派遣申込書（館内・館外）」を基に作成した講師派遣状況である。なお、ここでは、一般を対象とした講師派遣状況についてのみ記載し、小・中・高等学校・大学・特別支援学校を対象とした講師派遣状況（館内・館外）については、「学校教育との連携」の頁に記載している。

表7 令和2年度 館内外講師派遣状況

講師派遣（館内・館外）	件数	対象人数
館内講師 ○特集展示の解説等	1件	30人
館外講師	12件	612人
合計	13件	642人

9. その他のイベント

○青葉チャレンジキッズin博物館

（青葉区中央市民センターとの共催）

日時：令和2年10月25日（日） 9：30～11：40

会場：博物館庭

青葉山公園（三の丸跡～本丸跡）

参加者：96人

（青葉区内小学生親子、ジュニアリーダー、嘱託社会教育主事）

博物館の館庭から仙台城本丸跡までを仙台城や伊達家に関する問題を解きながら進んでいくオリエンテーリングを行った。参加親子やジュニアリーダーが協力し合いながら活動し、交流を深める場となった。



青葉チャレンジキッズin博物館

プレイミュージアム

プレイミュージアムは、「博物館を存分に楽しんでもらいたい」という意図のもとに命名された展示室である。当室には歴史や文化を体験できる様々な資料が展示されており、利用者はそれを手に取って自由に遊ぶことができる。「遊びの素材」の中から取捨選択し、面白さを発見するのは幅広い年齢層の利用者である。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体験型中心のプレイミュージアムの開室を見送った。



1. 常設展示

当室では、通常、利用者の行動を「観る・動かす音を出す・うつしとる・変身する・はかる・織る・編む・考える・学ぶ」の10に分類している。

例年、「変身する」の利用者行動の中に含まれる「政宗のかぶとをかぶってみよう」は人気のある常設展示となっている。

表8 主な常設展示資料

観る	輪島塗蒔絵工程見本／板木の見本／錦絵（東海道五十三次）／絵巻物の複製ミニ版（鳥獣人物戯画ほか）／和綴じの昔の絵本（まるづくしほか）／縄文土器（複製）／土人形（つつみ・相良ほか）／木地玩具（江戸独楽・木下駒・八幡馬・三春駒ほか）／張子（仙台・三春ほか）／凧／紙芝居
動かす	手毬／お手玉／紙風船／けん玉／羽子板／郷土玩具（江戸独楽・べたくた・藍づきお蔵・餅つき兎・牛若と弁慶・浜北風車・お化けの金太・鳩車・米つき鼠・かっぱのすいか喰らい・ずぼんぼほか）／茶運び人形／日立風流物操り人形
音を出す	箏／法螺貝／銅鐸／神楽鈴／五鈴鈴／拍子木／びんざさら／擬音（雨うちわ・各種鳥笛ほか）／郷土玩具（犬山でんでん太鼓・庄内板獅子・巴波の鯨・土佐の鳴子・土鈴類ほか）／手作り楽器
写し取る	平面 収蔵品の透過写真や複製版の浮世絵（トレーシングペーパーを使用） 立体 複製の縄文土器（型取器を使用）
はかる	長さ 物差し（曲尺・鯨尺ほか）／ウォーキングメジャー 量 枡（一升・五合・一合）／計量カップ 重さ ヘルスマーター／台秤

織る	平織機（カランコ） 織りの組織見本	編む	百足編み 花結び
変身する	複製や復元品 その他	政宗具足／政宗かぶと／秀吉具足／山形文様陣羽織／常長の衣装／桃山時代様式の打掛・小袖十二単着せ替え人形／草鞋／お面（仙台張子）／手拭	
考える	からくりの復元 アイ・トリック ゲーム パズル	二挺天府式和時計 ゆがみ絵／トロンプイユ（だまし絵）／ゾートロップ／反射式覗き眼鏡／世界七不思議アナモルフォーシス／鞆絵／立体眼鏡／万華鏡類 投扇興／盤双六／貝合せ／投壺／絵双六／将棋／碁／カルタ 組木パズル／大型パズル／伊達政宗ジグソーパズル／戦国時代パズル／草木染さいころパズル／清少納言の智恵の板／マグネツト式政宗具足シート／触覚パズル／ピクチュアパズル日本地図	
学ぶ	来館者用情報提供システム／各種図書		

以上は、購入、委託製作、当館製作からなる

2. イベント

よろいや小袖などを着用して変身するイベント。例年、年3回実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべて中止した。

3. 特別イベント

令和2年度はプレイミュージアムの閉室に伴い、「短冊に願いを…」を展示室出口付近のロビーで行った。

期間：7月7日(火)～8月9日(日)

（当初は8月23日までを予定していたが、臨時休館により打ち切り）

短冊枚数：283枚

内容：和紙に願い事を書き、七夕を迎える楽しさを味わってもらうイベント。柳生和紙の短冊を用意し、ペンで願い事を書き、2階展示室ロビーにある笹竹（造花）に結んでもらった。



情報資料センター

博物館には、資料の収集及び調査・研究に伴って膨大な情報が蓄積される。その提供手段は主に展示活動であるが、それを補足するため、図書などの二次資料で提供している。また、歴史的分野の生涯学習支援は、博物館の教育普及活動の要素であり、当センターを実践の場と位置づけている。

利用者のニーズに対応できるよう、ミュージアムアシスタント2人（うち司書1人）が利用案内と質問の受付にあたり、専門的な回答を要するものについては、各担当学芸員に引き継いでいる（利用状況は表9参照）。

また、近年恒常的に抱える書架スペースの狭隘化問題に対応するため、蔵書の整理や配架内容の見直しを行っている。

令和2年度はさらに、新型コロナウイルス感染拡大防止、防煙垂れ壁落下、地震被害による臨時休館あるいは閉室に対応した。

なお、休館・閉室期間中も外線電話による問合せ・質問等については対応した。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策

開室中の対策として、仙台市のガイドラインに基づいた利用案内を入口に掲示し（写真①参照）、利用者に「利用票」の記入や短時間の利用を呼びかけた。また、室内は座席数を減らし、飛沫防止対策として透明ビニールやアクリル板を設置した（写真②③参照）。



写真①



写真②



写真③

地震被害状況

福島県沖地震により、壁側書棚の固定ボルトの抜け及びゆるみが数カ所生じた（写真④参照）が、臨時休館中に修理を完了した。また、壁書棚の上部1～3段から激しく図書が落下した（写真⑤⑥参照）。他に、マイクロフィルムのリール損傷や、壁面の亀裂、天井材の破片（少量）の落下などがみられたが、蔵書などに大きな被害はなかった。



写真④



写真⑤



写真⑥

提供資料

1. 図書資料

図書は自由閲覧とし、センター内書架に配している蔵書以外にも要望により閲覧に供しているが、全て貸し出しには応じていない。

内容は、仙台を中心とする東北地方の地方史文献、通史及び分野別の全集、美術全集、百科事典及び分野別の辞典類、古典文学などである。

令和2年度の受入図書は1,502冊で、図書整理の結果、蔵書数は83,885冊となった。このうち当センターで自由閲覧できる図書は5,982冊である。

また、センター内の企画として、特集展示に関連した特設図書コーナーを設置した。令和2年度は3回設置し、設置冊数は延べ40冊であった。

2. 収蔵資料閲覧カード

伊達家文書を中心に、絵巻物・浮世絵等の写真を添付したカードを整冊し、室内に配架している。

3. マイクロフィルム

伊達家文書を中心にマイクロフィルム化を進めている。マイクロリーダープリンター1台を設置し、有料（申込制）で複写プリントのサービスを行っている（利用件数は表9参照）。

フィルムの資料は伊達治家記録や、三原良吉コレクション（一部）などが閲覧可能である。

4. 映像資料

申込み制の利用とし、館内講演会などの記録映像を中心にモニターで提供している。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止した。

5. 周辺情報・他館情報の提供

仙台市と近郊の博物館・美術館など文化施設の利用案内や展示・行事の情報、また全国の博物館・美術館から送られてくるポスター、リーフレット、館だより等についても当センターで取り扱っている。

6. デジタルデータの活用

総合展示室に設置された来館者用情報提供システム（5台）と同様のものを1台設置。なお、当センターとプレミュージアムのシステムには、総合展示室のものとは異なり、収蔵品や関係施設を検索しやすくするためのキーワード検索機能を備えている。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のためいずれも休止した。

表9 令和2年度 情報資料センター利用状況（人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数		—	—	—	—	—	—	193	189	120	98	32	—	632
相談質問		4	9	14	7	18	15	30	19	24	22	5	5	172
外線問合せ		134	213	318	334	355	300	351	256	267	229	248	268	3,273
映像利用	利用者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	利用(件)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
図書複写利用	利用者	—	—	—	—	—	—	27	16	17	12	5	—	77
	複写(枚)	—	—	—	—	—	—	231	165	274	81	44	—	795
マイクロフィルム利用	利用者	—	—	—	—	—	—	2	2	5	1	0	—	10
	複写(枚)	—	—	—	—	—	—	71	85	108	13	0	—	277
画像提供装置利用者数 (情報資料センター内)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収蔵資料検索アクセス数 (情報資料センター)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 令和2年度は10月6日～令和3年2月13日の期間のみ新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて開室。

※ 臨時休館中、いずれも外線による問い合わせは継続。相談・質問も電話で対応。

2. 学校向け広報

学校による博物館活用の機会を広げるため、博物館のホームページに「学校の先生方へ」という項目を設け、展示見学、職場訪問、貸出教材リスト、出前授業、教員向け研修などの最新情報を提供している。各種申込用紙のダウンロードも可能である。

また、教員が新年度の学習計画や研修計画を立てる際の参考資料になるよう、学校向けプログラムの紹介や館内の行事日程などを掲載したリーフレットを、宮城県内の各学校に送付している。

3. 学校教員対象講座

(1) ミュージアムセミナー

特別展と企画展毎に県内の教員を対象に行うセミナーで、授業作りや博物館学習に役立ててもらうことを目的としている。学芸員が展示の見どころを解説した後、展示室の自由観覧とした。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月26日、7月30日の開催を見送った。

- ・企画展「仙台の美と出会う」
日 時：令和2年4月26日(日) →中止
- ・企画展「支倉常長帰国400年記念」
日 時：令和2年7月30日(木) →中止
- ・特集展示「仙台藩の絵画」 参加者：8人
日 時：令和2年10月17日(土) 10:00~11:30

(2) 博物館活用研修

指導主事による社会科、図工・美術科を中心とした博物館学習に関する講話、学習プログラムの体験、学芸員による展覧会解説などを通して、博物館見学に対する意識付けを図り、博物館活用のヒントになるような研修の機会を提供している。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

日 時：令和2年7月30日(木) →中止

(3) 学校・各種教育機関との連携研修

学校や教育機関と連携し、下記の研修会を予定していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全て中止した。

- ・社会教育施設連携研修
日時：令和2年7月31日(金) →中止
- ・小中学校図工・美術科研修
日時：令和2年8月4日(火) →中止
- ・社会科研修（市中学校教育社会科研究会と共催）

日時：令和2年9月17日(木) →中止

なお、各種研修会の開催に代えて、より多くの教職員に博物館活用等の学びの場を提供することを目的として、博物館ホームページに資料「博物館の活用と学校教育との連携」を掲載した。

4. 展示見学におけるボランティアとの連携

常設展示室で児童生徒から出される質問や資料解説について、ボランティアが主に対応している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアの展示室内での活動が休止となったため、実施することができなかった。

5. 職場体験

キャリア教育の浸透に伴い、職場訪問や学芸員の仕事に関する問合せが増加している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中学校の職場体験を見合わせた学校もあり、1校・3人を受け入れた。歴史資料の取扱い体験、清掃作業、学習プログラム用材料製作等、3日間の体験プログラムを通して博物館の仕事について学んだ。また、職場体験が中止となった中学校に出向き、博物館の仕事に関する講話を行った。他に県内外の小・中学生の来館時に、職業に関する質問等に随時対応した。

6. 博物館教材の貸出

令和2年度の博物館教材の貸出件数は、11件であった。最も件数の多かった貸出教材は「梁山公行列図巻」（5件）で、他には慶長遣欧使節関係資料に関するパネル資料等の貸出があった。

7. 館内講師・館外講師派遣

学校や市民センター、一般団体からの要望に応じて館職員が館内外で講話を行っている。中でも児童・生徒が博物館を見学する際には、より楽しく見学できるように、「学習プログラム」を利用してほしいと考えている。

館内講師については、特に小・中学校で、社会科プログラム「伊達政宗と仙台」の利用が多い。大学からの依頼では、展覧会の展示解説のほか、文化財保護や博物館の概要や活用といった内容の希望が多い。

また図工・美術科の体験プログラムを利用する学校としては小学校が多く、特別支援学校や福祉施設等の利用も増えてきている。「もんきりがたで遊ば

う」では、もんきり遊びに挑戦した後に、展示室で家紋を探しながら興味深く見学する様子が見られた。館外講師については、主に小学校で出前授業を行った。図工・美術科プログラムの「もんきりがたで遊ぼう」では、学年を問わず手軽に体験できることから、好評を得ている。

表13 学習プログラム一覧

	プログラム名	内 容
社 会 科	伊達政宗と仙台	伊達政宗の生涯をたどり、まちづくりの特徴を学ぶ
	慶長遣欧使節と支倉常長	慶長遣欧使節の目的や支倉常長の功績について学ぶ
	仙台藩の参勤交代を調べよう	オリジナル教材を使い、参勤交代の様子について学ぶ
	政宗のよろいを調べよう	体験用よろいを使い、よろいの材質や構造について学ぶ
図 工 ・ 美 術 科	もんきりがたで遊ぼう	江戸時代から伝わる型を使った切り紙を体験する
	ミニするめてんばたをつくろう	凧作りをとおして仙台地方に伝わる凧の由来について学ぶ
	土人形って何だろう	絵付けをとおして埴人形の歴史や特徴を学ぶ
	ようこそ屏風絵の世界へ	鑑賞やミニ屏風の製作をとおして屏風の歴史や構造を学ぶ
	蒔絵であそぼう	蒔絵の製作をとおして蒔絵の美術作品や歴史について学ぶ

表14は、当館で受理した「講師派遣依頼（館内・館外）」の中から、学校関係を選び作成した講師派遣状況である。（学校関係以外への対応は、「講座・イベント」の頁を参照）

表14 令和2年度 講師派遣一覧（学校関係）

講師派遣（館内・館外）	件数※	対象人数※
館内講師	19件	728人
（内訳）○社会科プログラム	11件	517人
○図工・美術科プログラム	3件	87人
○その他の講話・講義	7件	181人
館外講師	11件	737人
（内訳）○小学校（出前授業）	10件	697人
○市内大学	1件	40人
合 計	30件	1,465人

※1校で複数のプログラムを行うことがあるため、館内講師件数の総数、対象人数の総数と、それぞれの内訳の合計は一致しない。

8. 博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に、実習生の受け入れをしている。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

9. キャンパスメンバーズ制度

平成25年4月1日から開始したキャンパスメンバーズ制度の加入校は、令和3年3月現在で18校となった。キャンパスメンバーズ加入校との連携事業としては、令和2年度で4年目となる館内イベントへの学生サポーターの活用（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止）のほか、博物館活用研修や、平成28年度から開始した東北工業大学とのまちなか博物館講座（詳しくは「講座・イベント」の項を参照）がある。

令和2年度 加入校一覧（五十音順）

尚綱学院大学／聖和学園短期大学／仙台高等専門学校／仙台白百合女子大学／仙台青葉学院短期大学／東北医科薬科大学／東北学院大学／東北工業大学／東北生活文化大学／東北生活文化大学短期大学部／東北大学／東北福祉大学／東北文化学園専門学校／東北文化学園大学／放送大学 宮城学習センター／宮城学院女子大学／宮城教育大学／宮城大学

生涯学習施設との連携

SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）

SMMAは、仙台・宮城地域における豊かな学習環境を整備し、人々の知的活動の活性化及び地域づくりに資するため、仙台・宮城地域の多様な館種の博物館施設が集合し、大学機関や図書館などと連携してネットワークを形成することにより、知的資源や人材の相互活用とそれぞれが持つ機能の融合を図り、博物館機能の高度化と地域を活性化させる新たな知の集積の形成を目的として平成21年度に設立された。事務局がせんだいメディアテークに置かれている。

参加機関 17施設

仙台市科学館／仙台うみの杜水族館／せんだい3.11メモリアル交流館／仙台市縄文の森広場／仙台市天文台／地底の森ミュージアム／仙台市博物館／仙台市八木山動物公園／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／せんだいメディアテーク／東北学院大学博物館／東北大学総合学術博物館／東北大学史料館／東北大学植物園／東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館／東北福祉大学・鉄道交流ステーション／仙台市教育委員会（生涯学習部）

1. SMMAクロスイベント

特集 東日本大震災10年－仙台の災害とミュージアム

2021年3月11日に、東日本大震災から10年を迎えることを受けて、SMMA参加館のうち仙台の災害に関わる展示や企画を行う仙台市博物館・仙台市歴史民俗資料館・せんだい3.11メモリアル交流館の3館でパネル展示を行った。

各館の展示内容は、①SMMAと本イベントを紹介する3館共通パネル1枚、②震災後の自館の活動を紹介するパネル1枚、③現在開催中の他館の展示を紹介するパネル2枚である。

開催期間：令和3年2月11日(木)～4月11日(日)

開催場所：仙台市博物館・仙台市歴史民俗資料館・せんだい3.11メモリアル交流館

※仙台市博物館は2月13日(土)の福島県沖地震の影響により2月14日(日)から臨時休館。

※仙台市歴史民俗資料館とせんだい3.11メモリアル交流館は新型コロナウイルス感染症の宮城県・仙台市緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置を受け、3月26日(金)から臨時休館。



せんだい3.11メモリアル交流館の展示風景

2. SMMA各館の交流

SMMA参加館の職員を対象とした研修会は、ミュージアムの分野を超えて日常業務の中で同じような悩みや課題を抱える職員のために、意見・情報交換、ワークショップ、外部講師を招いて講習会等を実施するものである。

平成28年度から引き続き令和2年度も博物館がSMMAの研修・交流企画部会の担当となり、SMMA各館からの研修・交流等についての要望を受けて実施した。

SMMA研修会

「動画の制作－コロナ禍における仙台市科学館の実践から－」

日時：令和2年11月13日(金) 14:00～15:30

会場：仙台市科学館 2階特別展示室

内容：コロナ禍において、全国各地のミュージアムがYouTube等で情報発信を行っていることを踏まえ、動画の撮影・編集・配信の方法について、仙台市科学館の実践例から学ぶ。

講師：仙台市科学館 西海枝恵氏、青沼一岳氏、石川歩氏、倉品敏氏、相澤修大氏

参加者：37人



研修会の様子

この他、運営会議や実行委員会を通して、SMMAの運営について協議するとともに、各館の情報交換を行った。

仙台歴史ミュージアムネットワーク（歴ネット）

仙台の歴史や文化についての幅広い関心に応えるため、市内8つの歴史・文化施設が連携して平成21年度に結成。平成30年度より史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設が加わり9館となった。歴ネットと略称。事務局は当館に置かれている。

参加施設 9施設

地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／仙台市博物館／仙台城見聞館／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／仙台市戦災復興記念館／史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設

1. 連携事業の実施

(1) 歴ネットクイズラリー

※SMMAクロスイベントとして実施

クイズラリーは、参加者がオリジナルクイズに答えて各館を回遊しながら仙台の歴史・文化を学ぶことができるイベントである。令和2年度は、4館達成者には歴ネットクリアブックを、8館以上達成者には歴ネット各館オリジナルグッズ詰め合わせと歴ネット特製缶マグネットをプレゼントした。参加者にとってクイズラリーは、他施設を巡るきっかけとなっている。また、クイズの解答を考える際に、展示物を深く観察したり、親子で話し合ったり、クイズを楽しんでいる様子が見られた。

期間：令和2年9月1日(火)～令和3年1月31日(日)

(当館は防煙垂れ壁落下に伴う臨時休館により10月6日(火)より参加)



歴ネットクイズラリー
(ポスター)

台紙配布数：5,941枚

4館達成者：317人

8館以上達成者：106人



8館以上達成者へのプレゼント

(2) SMMAミュージアムユニバースへの参加

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ミュージアムユニバースの開催が見送られた。そのため、イベントには参加することができなかった。

(3) 仙台の伝統門松復元事業

※SMMAクロスイベントとして実施

かつて仙台やその周辺で飾られていた仙台の伝統的な門松を泉区根白石で昔ながらの門松を受け継いでいる旧家の方の協力を得て再現、歴ネット8館で展示した。伝統門松の展示は、市民に仙台の伝統や歴史に触れてもらう機会となった。昨年度に引き続き、門松に取り付けるしめ縄を担当者が中心となって作成した。

展示期間：令和2年12月15日(火)～令和3年2月14日(日)

※当館の期間（各施設で展示期間を設定）

展示会場：地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／仙台市戦災復興記念館／史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設／仙台市博物館

研修

日時：令和2年12月4日(金) 13:00～16:00

会場：仙台市縄文の森広場活動室及び工房

内容：しめ縄作り

参加者：歴ネット職員

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催した。



しめ縄作り研修



仙台の伝統門松の復元展示

2. 広報・その他

(1) 歴ネット会議

令和2年度は5回の会議を設け、連携事業についての検討や情報交換を行った。

(2) 歴ネットシートの作成・配布

参加館が統一規格のシートを用いて、各館ごとに仙台の歴史や文化について紹介した。

○令和2年度シート配布数：約5,392枚

※仙台市博物館分・7種

(3) 連携事業の広報

連携事業についてはチラシを作成し、各館で配布した。また、SMMAウェブサイト「見験楽学」にて、情報発信を行った。

「特集震災10年」関連パネル展示

旬の常設展2020冬「特集震災10年—災害を生きた人々」関連展示として、ミュージアムストリートにてパネル展示を行った。

当初、令和2年12月22日(火)～令和3年6月20日(日)の開催を予定していたが、福島県沖地震による臨時休館を受け、一時休止となった。

その後、せんだい3.11メモリアル交流館の協力を得て、3月9日(火)から開催場所を同館に変更して展示を再開した。しかし新型コロナウイルス感染症拡大による宮城県・仙台市緊急事態宣言の発令を受け、3月26日(金)より同館も休館となった。

前期

「仙台市域の災害の記録」

「仙台市史活用資料集」より作成したパネルを展示し、仙台市域の災害の歴史を区ごとに紹介した。

期間：令和2年12月22日(火)～令和3年2月7日(日)

会場：仙台市博物館

後期

「東日本大震災が仙台市沿岸部地域に与えた影響と現在のようにす」

東日本大震災の津波で被災した仙台市沿岸部地域の景観の変遷を、江戸時代や明治時代の絵図、写真(震災前後、5年後、10年後にそれぞれ撮影)などを用いて紹介した。

「東日本大震災後の仙台市沿岸部の風景」

東日本大震災後の沿岸部の風景写真(2018年高橋親夫氏寄贈)より、宮城野区蒲生付近・岡田付近、若林区荒浜付近・藤塚付近の4地域について、被災時の状況から2018年までの風景を時系列で紹介し、復興の歩みを振り返る構成とした。

期間：令和3年2月9日(火)～2月13日(土)

会場：仙台市博物館

期間：令和3年3月9日(火)～3月25日(木)

会場：せんだい3.11メモリアル交流館3階

(来場者数：2,393人)



ミュージアムストリートでの展示風景
上：前期、下：後期



せんだい3.11メモリアル交流館での展示風景



メモリアル交流館で行ったパネル展のポスター

広報

展覧会やイベントなどの各種行事に来館・参加いただくためには、周知・広報も重要であり、博物館の普及活動の一環として位置づけられている。

広報にもさまざまな方法・媒体があり、博物館だよりなどの印刷物、ホームページ・SNSを合わせたインターネットによる広報を基本に、電照広告等各種媒体を活用し、多角的な情報発信に努めている。令和2年度は、断続的に続いた臨時休館や事業の変更・休止等の情報を速やかに、かつ正確に周知するために、インターネットを通じた即時的な情報発信や、印刷物の内容を変更する機会が頻繁にあった。

また、博物館に来館できなくても自宅等で博物館の企画が楽しめるよう、インターネットを活用した新たな情報発信に取り組んだ。

1. 広報用印刷物

以下2つを発行・配布した。ホームページへPDFデータを掲載し、自由に閲覧できるようにしている。

- (1) 博物館だより（原則隔月発行） No.186～200
225×420mm 四つ折り 観音開き
- (2) 展覧会案内 2021年4月～2022年3月版
225×420mm 四つ折り 観音開き

2. 広報資料の発送及び取材・記事掲載依頼への対応

マスコミをはじめとする関係機関による情報発信も当館広報にとって大切である。そのため各機関への情報提供として、上記広報用印刷物や展覧会のチラシなどを発行時に送付。また、展覧会等に対する各社からの取材や原稿の掲載・校正依頼、照会・回答などにも随時対応した（約190件）。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面取材を控え、電話やメールによる応対を中心とした。

3. 「国際センター駅」への広告掲出について

平成27年の仙台市地下鉄東西線開業により、JR仙台駅から当館への主なアクセス手段が東西線となったため、当館最寄りの国際センター駅内に電照広告やデジタルサイネージを掲出。近隣の国際センターや青葉山交流広場、東北大学で行われる催しの利用者等へのPRとして活用している。

4. インターネット広報

(1) ホームページ

博物館の利用案内や展覧会・イベント情報、英語による博物館情報（展覧会案内含む）などのほか、伊達政宗、支倉常長をはじめとする主な収蔵資料約50件の情報を閲覧できるコーナー、調べ学習にも活用できるキッズコーナーなどを充実させている。

令和2年度の当館ホームページ（トップページ）のアクセス数は175,188件であった。なお、例年は特別展・企画展の会期中にアクセス数が増加するが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響による外出自粛等もあってかアクセス数が減少したものの、「おうちで楽しむ展覧会」等の情報発信や再開館等の情報源として一定の需要があった。



博物館ホームページ
(左) トップページ
(右) おうちで楽しむ展覧会

(2) ツイッター

平成27年12月5日から運用を開始した「仙台市博物館公式ツイッター」では、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の特徴である即時性・拡散性を活かし、展覧会やイベント等の情報を発信。また、歴史や伊達政宗等に関心の高いフォロワーが多いため、展示資料の紹介や歴史のこぼれ話などもツイートしている。フォロワー数は、令和2年度末時点で約4,400人（前年度末より約1,000人増）。今後も利用者の興味関心に訴える情報提供を積極的に行うなど、継続的なフォロワー獲得に努める。

5. おうちで楽しむ展覧会（ホームページ・YouTube）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った企画展や期間が短くなった特集展示、全国的な外出自粛などの状況をふまえ、博物館の企画を自宅等でもご覧いただけるように、ホームページ・YouTubeを通じた新たな情報発信を行った。

(1) ホームページ

○おうちで楽しむ展覧会「仙台の美と出会う」

4月に開催を見送った企画展で展示を予定していた資料の一部について、解説を添えて紹介。

○おうちで楽しむ展覧会「伊達家文書と藩主の印章」

臨時休館により開催期間が短くなった特集展示の資料の一部について、解説を添えて紹介。



(2) YouTube（動画配信）

①政宗がゆく！ 仙台市博物館 伊達家文書&印章編

仙台・宮城のPR活動を行っている奥州・仙台おもてなし集団「伊達武将隊」の協力を得て、開催から10日で中断した特集展示「重要文化財指定記念 伊達家文書と藩主の印章」の様子を伊達武将隊公式YouTubeチャンネルで配信。新たに重要文化財に指定される伊達家ゆかりの古文書・印章等の魅力や資料にまつわる背景などについて、伊達武将隊と当館学芸員の掛け合いを交えて動画で紹介した。



②伊達武将隊と行く！はっけん！仙台市博物館

「伊達武将隊」と当館学芸員が特集展示及び館内資料の魅力などを紹介する動画（計8本）を制作し、せんだいTube（仙台市公式YouTubeチャンネル）で配信。仙台の歴史・文化・美術など多様な視点から資料の魅力に触れ、より多くの人に興味を持ってもらう機会とした。



○特集展示「支倉常長帰国400年」

伊達政宗と支倉常長、仙台藩と海外との交流をはじめ、ユネスコ「世界の記憶」(ユネスコ記憶遺産)などの貴重な資料を紹介。



○特集展示「仙台藩の絵画」

仙台藩主が描いた絵画や仙台藩に仕えた絵師たちの作品など、江戸時代の仙台を彩った絵画の数々とその背景を紹介。



○特集展示「福島美術館の優品」

仙台市若林区土樋で「街の小さな美術館」として親しまれ、平成30年10月に活動を休止した福島美術館の収蔵資料の中から選りすぐりの作品を紹介。



上記のほか、館内資料の魅力を紹介する「政宗公の具足体験!」や「高札場を考察?!」も制作した。これら2本は令和3年度に公開予定である。

6. チャレンジ!おうちで楽しむ博物館 (ホームページ)

児童生徒の学習へ役立ててもらうために、ホームページに「チャレンジ!おうちで楽しむ博物館」を掲載した。自宅でも楽しみながら取り組める「もんきりがた遊び」や郷土玩具づくりなどの工作の紹介や、収蔵資料に関するクイズのページがある。



刊行物・グッズ等

令和2年度は、下記のとおり3種の刊行物を発行した。(市史活用推進事業で作成された刊行物については、「7. 市史活用推進事業」参照)

オリジナルグッズもこれまで同様大変好評をいただき、令和2年度は、A4クリアファイル(伊達政宗のよろい)、ジグソーパズル(奥州仙台城絵図)の製作を行った。

1. 刊行物

(1) 「仙台市博物館年報」第47号

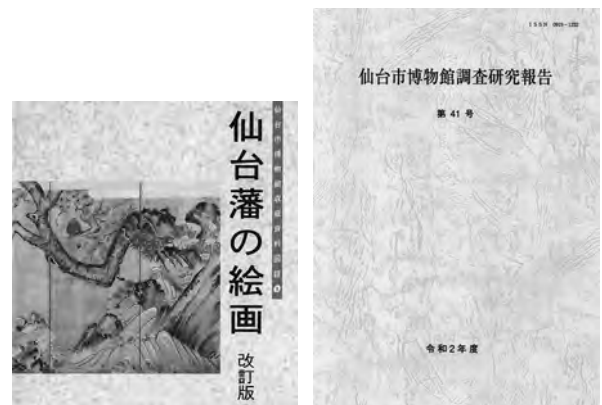
令和2年6月30日発行 A4判 96頁

(2) 「仙台市博物館調査研究報告」第41号

令和3年3月29日発行 B5判 56頁

(3) 収蔵資料図録⑤「仙台藩の絵画 改訂版」

令和2年10月16日発行 A4変形判 124頁



収蔵資料図録⑤
「仙台藩の絵画 改訂版」

調査研究報告書

2. オリジナルグッズ

令和2年度の販売用製作は以下のとおり。

(1) A4クリアファイル 360円(税込)

(2) ジグソーパズル 1,320円(税込)



A4クリアファイル
(伊達政宗のよろい)

ジグソーパズル(奥州仙台城絵図)

6. 調査・研究

令和2年度『仙台市博物館調査研究報告』第41号には、以下の論文を掲載した。(掲載順)

仙台市国分尼寺観音菩薩立像の墨書銘について

佐々木 徹

本稿では、令和元年(2019)に新たに発見された仙台市国分尼寺本尊・聖観音菩薩立像の墨書銘について、銘文の内容を紹介し、若干の考察を加えた。

その結果、国分尼寺に居住する「継岳」なる寺僧が発起人となり本像の造立事業が始められたこと、宮城郡南目城に拠点を置く国分氏家臣の北目紀伊守政信がその求めに応じ、大旦那となって造立費用を拠出していたこと、天文4年(1535)に本像が造立され墨書銘が記されたことなどを明らかにした。

仙台藩儒役遊佐家の事跡

—資料レスキュー活動による保全資料の紹介—

倉橋 真紀

本稿では仙台藩で代々儒役を務めた遊佐家資料の調査を行い、同家の事跡をまとめた年表や資料翻刻・写真などを掲載している。

当該資料群は、東日本大震災後に当館で行った、仙台市内で被災した地域の歴史資料や文化財を救出し、応急処置や一時保管などを行う資料レスキュー活動の中で保全されたものの中の一つである。

資料レスキュー活動の概要と、保全資料からわかる歴史を地域へ還元することの重要性なども併せて述べた。

戊辰戦争時の仙台藩の軍

中武 敏彦

本稿では戊辰戦争時における仙台藩の軍について、軍装・軍編成・装備の3点から実態の把握を試みた。

仙台藩では会津藩への出兵を前に、甲冑の廃止・銃隊による小隊編成などの軍制改革を実施した。小銃も洋式銃を大量に輸入し、藩直属兵はミニエー銃隊に再編された。一方で知行地を持つ大身の家臣の兵は、新政府軍との開戦後も軍装・装備が統一されず、仙台藩の軍は混成部隊の弱点を最後まで克服できなかったことを事例に基づき指摘した。

資料紹介 刀工本郷国包関係資料について

酒井 昌一郎

江戸時代の仙台藩を代表する刀工である本郷国包の子孫にあたる本郷家より、薙刀(宮城県指定文化財)などの資料群が令和2年(2020)に当館へ寄贈された。本稿では9点の寄贈資料について若干の考察を加えながら写真とともに紹介し、文字資料は翻刻した。このうち「仁澤」号由緒写については、瑞巖寺100世である洞水東初筆と考えられることから、原資料が認められた寛永15年(1638)をさほど降らない時期に写された可能性があることを述べた。

◇令和3年度研究テーマ◇

令和3年度の仙台市博物館学芸員の研究テーマは以下のとおりである。

日本中近世絵画史の研究 樋口 智之
仏教彫刻・工芸史の研究 酒井昌一郎
古代中世東北史および近世前期の

伊達家・仙台藩の研究 佐々木 徹
近世の伊達家と仙台藩の研究 菅原 美咲
中世・近世の庶民信仰美術の研究 寺澤 慎吾
中世・近世の絵画および東北の

工芸について 小田嶋なつみ
中世・近世の領主権力の研究 黒田 風花
社会科における博物館の活用について 村上 聡
図画工作科・美術科における博物館の
活用について 飯淵 泉

表15 仙台市博物館調査研究報告一覧

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No. 1	1. 仙台における明治20年代の自由民権思想－雑誌「通信演説」と「東北評論」から－ 2. 仙台北丸の障壁画をめぐる 3. 大槻磐溪書翰集について 4. 伊達政宗の印章・印影について 5. 博物館を市民のものとするために	佐藤憲一 濱田直嗣 鶴飼幸子 嘉藤美代子 佐藤泰	昭和56年3月 完売
No. 2	1. 養賢堂の学制改革について－桜田欽斎、志村篤治の反論を中心に－ 2. 仙台の書肆について－西村治郎兵衛、西村治右衛門、伊勢屋半右衛門、伊勢屋安右衛門－ 3. 伊達家旧蔵の印章について 4. (史料紹介) 宮城県の自由民権運動に関する新史料 5. 名取市熊野神社蔵 木造狛犬調査報告	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 佐藤憲一 佐藤泰	昭和57年3月 完売
No. 3	1. 角懸鹿谷の美術 2. 正保年間製作「奥州仙台領絵図」について 3. 大槻俊斎の書状について 4. 伊達家旧蔵の印章について・補遺	濱田直嗣 佐藤憲一 鶴飼幸子 嘉藤美代子	昭和58年3月 完売
No. 4	1. 仙台藩寛永期検地帳について－「伊具郡東根之内小斎村御検地帳」の分析 2. 堤人形と信仰－照徳寺内地蔵堂の例－ 3. 伊達政宗・伊達忠宗所用兎の銘について 4. 旧支倉家関係資料について	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 濱田直嗣	昭和59年3月 完売
No. 5	仙台市博物館蔵ブルーノ・タウト指導照明器具4点の復元研究報告ならびに修理報告	庄子晃子・鈴木治平	昭和60年3月 完売
No. 6	仙台北城館および周辺建築復元考	佐藤巧	昭和61年3月(平成10年3月増刷) 完売
No. 7	1. 円山応挙試論 2. 伊達の黒箱文書について 3. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(一) 4. 善応寺横穴墓群、法領塚古墳出土鉄・銅製品整理報告	内山淳一 鶴飼幸子 小井川百合子 田中則和	昭和62年3月 完売
No. 8	1. ローマ、ボルゲーゼ宮「支倉常長」像の作者について 2. 江戸時代における古瓦の認識－宮城県域を中心に－ 3. 「支倉常長追放文書」の年代について 4. 菅野壽雄氏寄贈資料について－染織資料を中心に－ 5. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(二)	田中英道 佐々木和博 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子	昭和63年3月 完売
No. 9	1. 新博物館への一考察－反省と展望－ 2. 学校教育における博物館利用学習 3. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(三) 4. 仙台藩関係の婚礼調度について 5. 慈光明院蔵 種子華鬘について 6. 柴田町金谷貝塚出土の權杖木製品 7. 支倉常長の法王使節団に関する諸問題 8. 伊達政宗の「鉛筆」調査報告 I～V	佐藤泰 佐藤佳彦 小井川百合子 嘉藤美代子 高橋あけみ 田中則和 P.コッラディーニ・芳野明 訳 内藤俊彦・西本洋二・村山斌夫・小井川百合子	平成元年3月 完売
No.10	1. 東北地方における山伏筈 2. 「仙台領奥州街道絵図」の基礎的検討 3. 白雲の研究－未紹介の真景帖を中心に－ 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(四) 5. 館蔵考古資料の紹介 I 6. トチの実を食す	高橋あけみ 佐々木和博 内山淳一 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成2年3月 完売
No.11	1. 「宗久・宗易道具書立」を含む伊達政宗伝授書群について 2. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(五) 3. 館蔵考古資料の紹介 II－佐藤半兵衛コレクションに見る中国古銭－ 4. 宮城県における古代火山灰の年代観について	高橋あけみ 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成3年3月 920円
No.12	1. 戦国期奥羽の在家をめぐる 2. 伊達政宗と医事・医学－高屋家文書の紹介を兼ねて－ 3. 朱罨漆紫色素懸威具足・三宝荒神形兜付について 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(六) 5. 画像情報提供装置の導入について 6. 赤焼土器についての覚書－宮城県とその近県－ 7. 仙台北城三ノ丸跡出土漆器資料の製作技法	菅野正道 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子 阿部秀夫 結城慎一 北野信彦	平成4年3月 完売
No.13	1. 東洋におけるキリスト教伝道の歴史的証言－クイリナーレ宮殿のサーラ・レージアの肖像画について－ 2. 宮城県大和町西風所在の五輪塔－支倉常成・常長との関わりの可能性－ 3. 財団法人斎藤報恩会所蔵「遠藤山城文書」について 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(七)	K.H.フィオーレ・小関史絵 訳 佐々木和博 明石治郎 小井川百合子	平成5年3月 完売

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.14	1. 観瀾閣宝物目録について－仙台伊達家における什器保存の試み 2. 孫太郎虫と仙台藩主－江戸後期博物趣味の一断面－ 3. 東京国立博物館所蔵の「小袖図」(伊達家旧蔵) などについて 4. 重要文化財・慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市民権証書の修理について 5. 洋式帆船開成丸について	小井川百合子 内山淳一 嘉藤美代子 高橋あけみ 荒井聡	平成6年3月 完売
No.15	1. 『伊達支族伝引証記』所収の石田文書 2. 「支倉六右衛門遺物」と写真－明治時代前期の動向を中心に－ 3. 観瀾閣宝物目録について(二)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺) 4. 伊達政宗の母・義姫の出奔の時期について－新出の虎哉和尚の手紙から－ 5. 『松島風土記』所載の「坪碑文図」－多賀城碑に関する新資料－ 6. 仙台県『目論見書』について－芝居小屋経営の視点から－ 7. 宮城県における岩版・土版について	菅野正道 濱田直嗣 小井川百合子 佐藤憲一 佐々木和博 佐藤理香 原河英二	平成7年3月 完売
No.16	1. 「スタディ・シート」の十年－博物館ワーク・シートの構想と実践－ 2. 観瀾閣宝物目録について(三)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺二) 3. 「古川状」について 4. 情報資料センターの展望と課題－10年目をむかえて－ 5. 伊達政宗の使節団(1614年)	佐々木和博 小井川百合子 伊藤信 郷湖理香 J.C.R.フラード・ 今江克彦 訳	平成8年3月 920円
No.17	1. 博物館の「利用」から「活用」へ－仙台市博物館での実践を通して－ 2. 「宗久・宗易道具書立」を含む佐藤家本四冊について 3. 天正十七年の伊達氏の正月行事－「茶湯客座亭座人数書」と「矢日記」・「玉日記」の再検討－ 4. 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土の土偶について 5. 宮城県仙台市青山二丁目B遺跡出土の石器について	布施勝久 高橋あけみ 菅野正道 相原淳一 原河英二	平成9年3月 完売
No.18	1. 円爾弁門最晩年の頂相著賛について－我が国への頂相文化定着の一局－ 2. 仙台藩の小人について 3. 支倉常長将来の刀剣に関する基礎的研究	樋口智之 齋藤潤 佐々木和博	平成10年3月 920円
No.19	1. 伊達家の家紋に関する一考察－家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の家紋およびその変遷－ 2. 資料紹介 戦国期伊達領における馬術・伯楽関係資料－館蔵の新資料から－ 3. 資料紹介 仙台市博物館所蔵『年中行事絵巻模本』十八巻 4. 中部バヌアツ・エファテ島東海岸における考古学的踏査	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之 相原淳一・中野 拓大・磯目隆夫・ 篠遠喜彦	平成11年3月 完売
No.20	1. 新収資料・国分家資料について 2. 伊達家文書の形成過程(一) 3. 朝鮮出兵時における伊達政宗の足跡をたどる－大韓民国倭城等調査報告－ 4. 中国に「仙台」を訪ねて－仙台開府四百年記念特別展・中国調査の報告－ 5. 近年における仙台市博物館の入館者動向－98・99年実施の面接調査およびアンケート調査から－	齋藤潤 菅野正道 濱田直嗣・ 齋藤潤 樋口智之 相原淳一	平成12年3月 920円
No.21	1. 百富士画をめぐる－江戸時代後期の風景趣味と絵画－ 2. 「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について 3. 資料紹介 仙台市博物館所蔵の伊達氏古系図四種	内山淳一 高橋あけみ 羽下徳彦	平成13年3月 920円
No.22	1. 仙台市内出土の陶磁器集成－近世－ 2. 仙台市博物館における学校教育との連携－社会科・総合的な学習の時間における博物館利用の報告－ 3. 仙台市博物館におけるマルチメディア博物館実証実験について 4. ローマ教皇パウロ5世宛伊達政宗ラテン語書状について－西洋古典文献学の立場から－ 5. 佐藤家本について(補遺)	佐藤洋 高倉祐一 荒井聡 石田啓 高橋あけみ	平成14年3月 920円
No.23	1. 陸奥国分寺の不動明王・毘沙門天・十二神将 2. 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物について 3. 調査報告 大崎八幡宮石の間天井画について 4. 仙台市博物館における広報活動について 5. 仙台市博物館利用者アンケート調査報告－平成12・13・14年度の調査から－	酒井昌一郎 高橋あけみ 樋口智之 佐藤美香 高倉祐一	平成15年3月 920円
No.24	1. 仙台画壇の黎明期－寛政・文化期の画譜と書画会を中心に－ 2. もう一つの伊達綱村茶会記「学恵茶湯志」	内山淳一 小井川百合子	平成16年3月 920円
No.25	1. 絵仏師徳応・貞綱の肖像画制作について－瑞巖寺僧関係作品を中心に－ 2. 伊達氏における印判状の成立 3. 資料紹介 佐々木閑心覚書－伊達氏系譜の異伝資料－	樋口智之 菅野正道 羽下徳彦	平成17年3月 完売
No.26	1. ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三棚について－黒棚(ベネチア東洋美術館蔵)・厨子棚(鍋島報效会蔵)・書棚(仙台市博物館蔵)－ 2. 伊達家文書の形成過程(二) 3. 資料紹介 文化三年御屏風本帳附渡帳 4. 資料紹介 尚文館コレクションの「西洋式軍鼓」免許巻	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之・ 齋藤潤 船渡崇	平成18年3月 完売

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.27	1. 陸奥国分寺の仏像－主に表面仕上げに関するデータから－ 2. 仙台市博物館ボランティア「三の丸会」活動紹介－10周年を迎えて－ 3. 仙台市博物館友の会活動35年の総括と今後の課題	酒井昌一郎 高橋綾子 小井川百合子・ 大友まさ子	平成19年3月 920円
No.28	1. 支倉常長像の模写と写真－大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」 説の検証を兼ねて－ 2. 柳宗悦と東北－昭和九年～昭和十五年－ 3. 資料紹介 御証文方御本牒手控－仙台藩における資料管理の側面－	濱田直嗣 小井川百合子 齋藤潤	平成20年3月 完売
No.29	1. 失われたみちのく図巻－谷元旦・大野文泉の東北地方写生図をめ ぐって－ 2. 伊達政宗公三百年祭について	内山淳一 水野沙織	平成21年3月 920円
No.30	1. 史料紹介「領内境日記」－伊達吉村の軍制整備との関係から－ 2. 小田原参陣における伊達領の警固体制 3. 十八夜観世音堂立像に使用された木材の樹種 〈付論〉十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果を受けて	坂田美咲 菅野正道 大山幹成 星野安治 鈴木三男 酒井昌一郎	平成22年3月 920円
No.31	1. 奥の正法寺と偽繪旨 2. 資料紹介「伊達の黒箱」文書について（一） 3. 新「スタディシート」の一年－その構成と活用方法を中心に－ 4. 仙台市博物館リニューアルにおける情報提供システムの導入について	佐々木徹 坂田美咲 岩瀬利宏 押野良美	平成23年3月 920円
No.32 ・ 33 合併号	1. 「御奥方格式」について－美術工芸的アプローチ－ 2. 安政六年武市九郎三郎通達の蝦夷地警固日記 3. 「葦名鞠負戊辰記事」に関する一考察 4. 花嶽神社安置の不動明王二童子像について 5. 蔵王町下別当遺跡の「人面装飾土器」－特に著保内野遺跡出土国 宝「土偶」との比較から－	高橋あけみ 水野沙織 栗原伸一郎 酒井昌一郎 竹田幸司・安倍 千春・西脇対名 夫	平成25年3月 完売
No.34	1. 屏風のなかの動物たち－伊藤若冲とその周辺作品をめぐって－ 2. 資料紹介－「伊達の黒箱」文書について（二）－ 3. 慶長遣欧使節をめぐる諸問題－大使支倉の名乗りと「震災復興派 遺説」について－	内山淳一 菅原美咲 佐々木徹	平成26年3月 920円
No.35	1. 中尊寺蔵「平泉諸寺参詣曼荼羅」について 2. 登米市懐古館所蔵資料 伊達政宗筆 古歌「咲時ハ」（一幅）につ いて－その成立事情と伝来の経緯－ 3. 史料紹介『成宗公御上洛之日記写』に関する一考察 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について（上）	寺澤慎吾 佐藤憲一 星川礼応 松田清	平成27年3月 920円
No.36	1. 伊達家文書に遺る「小文の礼紙」についての調査報告 2. 「伊達家文書」所収「岩城親隆書状」の再検討 3. 戦国時代後期における宮城郡・黒川郡の交通について 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について（下）	明石治郎 泉田邦彦・星川 礼応 三好俊文 松田清	平成28年3月 920円
No.37	1. 支倉常長の将来品「合羽と前蓑」再考 2. 狩野古信筆「村子姫霊夢図」について －制作背景の考察と絵師・狩野古信の事績を中心に－ 3. 資料紹介 仙台藩土猪狩家伝来の戦国・江戸初期文書 4. 資料紹介 「小松家記録」 －仙台藩御織物師の家の江戸から昭和の記録－	的場節子 寺澤慎吾 菅野正道 鈴木かおる	平成29年3月 完売
No.38	1. 秋田蘭画再考－実景との関わりを中心に－ 2. 仙台藩の贈答－江戸中・後期を中心に－ 3. 伊達政宗関係文書にみえる切封の折紙書状について 4. 資料紹介 戦国期伊達氏関連未紹介資料	内山淳一 菅原美咲 明石治郎 菅野正道	平成30年3月 1,020円
No.39	1. 光明寺蔵奈良絵本「いつくしま」について 2. 戦国期南奥羽の流通と交通 3. 戦国期伊達氏家臣についての一考察 4. 市内小学生における仙台市博物館の利活用の現状と展望 －児童の意識調査と博物館職員への聞き取り調査を通して－	小田嶋なつみ 長澤伸樹 黒田風花 大久保裕隆・高 橋龍馬・永山達 郎・村田智朗・ 土井謙治	平成31年3月 完売
No.40	1. 仙台祭絵の研究 2. 資料紹介 「鷹匠半澤家資料」について 3. 伊達政宗の「捻」 4. 佐久間洞巖について	浅野秀剛 菅原美咲 明石治郎 寺澤慎吾	令和2年3月 1,020円
No.41	1. 仙台市国分尼寺観音菩薩立像の墨書銘について 2. 仙台藩儒役遊佐家の事跡－資料レスキュー活動による保全資料の紹介－ 3. 戊辰戦争時の仙台藩の軍 4. 資料紹介 刀工本郷国包関係資料について	佐々木徹 倉橋真紀 中武敏彦 酒井昌一郎	令和3年3月 920円

（価格および内容については令和3年5月25日現在、以下続刊）

7. 仙台市史活用推進事業

仙台市制百周年記念事業の一つとして昭和61年から開始された市史編さん事業は、平成2年度からは当館が事業を所管し、館内に設置された市史編さん室が事務局となって平成26年度までに通史編9巻、資料編13巻、特別編9巻、年表・索引1巻の合計32巻を刊行するとともに、関連資料の調査・収集や、普及事業を展開してきた。

平成27年2月に最終巻となる『年表・索引』が刊行されたことで市史編さん事業は終了し、事務局として実務を担ってきた市史編さん室は廃止となった。

平成27年度からは、市史編さん事業で蓄積された多くの成果の活用を図るとともに、市域の歴史に関する調査や資料収集を行う「仙台市史活用推進事業」が新たに開始され、市史編さん事業の残務処理を含めて、組織改正によって設置された学芸普及室がその担当となった。

「仙台市史活用推進事業」の6年目となる令和2年度の業務としては、前年度から引き続いて、市民向けの普及書作成や他機関との連携を含めた普及事業の開催、収集した資料の整理、東日本大震災に対応した資料保全活動と震災アーカイブ事業に取り組んだ。

1. 講座等

(1) 仙台市史講座

仙台市史講座は、市史編さん事業成果の地域還元と『仙台市史』の読者層の拡大を目的に市内59カ所に設置されている市民センターとの共催で、年2回程度実施してきたものである。講演のテーマは、市史編さん事業で得られた調査研究成果の中から、開催場所に即したものを選択してきた。

東日本大震災から10年目にあたる令和2年度は、「仙台の災害と資料レスキュー」と題し、下記の通り実施した。

①第40回仙台市史講座

演 題：「大災害から歴史を救う

—被災史料レスキュー25年の歩み—

講 師：川内 淳史氏

(東北大学災害科学国際研究所准教授)

日 時：令和2年11月14日(土) 13:30~14:30

会 場：博物館ホール

受講者：19人

②第41回仙台市史講座

演 題：「災害史と疫病—仙台藩の飢饉を例に—」

講 師：菊池 勇夫氏 (一関市博物館館長)

日 時：令和2年11月21日(土) 13:30~14:30

会 場：博物館ホール

受講者：39人



市史講座の開催状況 (第40回)



市史講座の開催状況 (第41回)

(2) くずし字講座

古文書やくずし字の読解に関する初心者向け講座を平成24年度から東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料科学研究部門との共催で実施してきた。

→新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(3) 図書館連携講座

平成27年度から仙台市図書館と連携し、各図書館を会場に実施している。令和2年度は当館の特集展示「仙台藩の絵画」に合わせ、「お殿さまと絵かき」をテーマとし、大名と絵師が生み出す美の世界について紹介する、ブックトーク(図書館担当)と歴史講話(博物館担当)を組み合わせ実施した。

テーマ：「お殿さまと絵かき」

講 師：丑田美佐子氏(仙台市民図書館司書)

樋口智之(当館学芸普及室長)

日 時：令和2年10月31日(土) 13:30~14:30

会 場：せんだいメディアテーク

受講者：56人



「お殿さまと絵かき」の開催状況

2. 刊行物

令和2年度は、完売となっていた『「仙台市史」活用資料集』vol.2、vol.3をそれぞれ増刷した。

(1)『「仙台市史」活用資料集vol.2 若林区の歴史探し』
700部発行

令和2年11月30日第2刷発行 A4判 16頁

(2)『「仙台市史」活用資料集vol.3 泉区の歴史探し』
700部発行

令和2年11月30日第2刷発行 A4判 16頁

(3)『市史せんだい』Vol.30

令和2年9月末に発行予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特集企画ならびに「伊達政宗文書」の調査が実施できなかったことから、制作を中止した。

3. 広報事業

市史編さん事業の成果を広く市民に周知し、地域の歴史や文化に対する関心を高めることと、『仙台市史』の販売促進を目的に、さまざまな広報事業に取り組んでいる。

仙台商工会議所機関誌『飛翔』での連載

『飛翔』には『仙台市史』の広報事業の一貫として平成21年から連載記事を掲載してきた。令和2年度は、4月号から7月号に近代以前の仙台の武道等を紹介する「仙台のスポーツむかし話」、8月号以降は街道や藩政時代の旅を紹介する「資料で旅する仙台藩の『道』」を連載した。また、令和3年1月号から4月号(令和3年度)は特集として「東日本大震災から10年 仙台と災害の歴史」を連載している。執筆は学芸普及室および学芸企画室の職員が担当した。内容、執筆者は次の通り。

令和2年

4月号「仙田野球こぼれ話」(中武敏彦)

5月号「仙台藩の武道とスポーツ① 伊達家の鷹狩り」(菅原美咲)

6月号「仙台藩の武道とスポーツ② 仙台藩の弓術」(小田嶋なつみ)

7月号「仙台藩の武道とスポーツ③ 仙台が誇る名力士・谷風とライバル・小野川」
(樋口智之)

8月号「奥州街道と仙台藩の道」(倉橋真紀)

9月号「仙台藩の参勤交代」(黒田風花)

10月号「出羽への道」(長澤伸樹)

11月号「塩竈、松島への道」(寺澤慎吾)

12月号「仙台藩の舟の道」(佐々木徹)

令和3年

1月号「仙台藩と疫病」(菅原美咲)

2月号「寺社と災害の伝承」(倉橋真紀)

3月号「東日本大震災と資料レスキュー活動」
(阿部さやか)

4. 調査・資料収集

市域に関連する歴史資料の調査や収集については、仙台市史編さん委員会から仙台市長あてに平成25年8月に提出された提言書で、事業終了後も市域に関連する歴史資料の調査や収集を継続的に実施することが要望されたことを受けて、仙台市史活用推進事業の中で継続的に行っている。調査資料については、デジタルカメラ等を用いた撮影や目録作成などを行っている。また、市史編さん事業で調査・収集した資料のデータベース作成、デジタル化の作業も継続実施した。

(1) 主な調査先・資料群

宮城県／有限会社A L S O

(2) 購入資料

仙台城本丸大広間絵図 1幅

5. 資料保全・震災アーカイブ活動

令和元年度に引き続き、東日本大震災で被害を受けた歴史資料を対象に資料レスキュー活動(整理・保全等)を行った。整理が終了した資料については、所蔵者の意向を踏まえながら、順次返却を行っている。

また、令和3年3月11日に東日本大震災から10年を迎えることに伴い、常設展2020冬「特集震災10年—

災害を生きた人々」関連展示として、津波で被災した仙台市沿岸部地域の景観の変遷や、当館が行ってきた資料レスキュー活動を紹介するパネル展示を行った（別頁『特集震災10年』関連パネル展示』で詳述）。

仙台国際センターで開催された「仙台防災未来フォーラム2021」では、ブース出展（パネル展示および冊子「仙台市博物館の資料レスキュー活動」の紹介と希望者への配付）を行った。

なお、例年教職員向けに行っていた仙台市教育センターでの震災関連パネル等の展示は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

○活動状況

①令和2年12月22日(火)～令和3年2月7日(日)

パネル展「仙台市域の災害の記録」

(会場：博物館)

②令和3年2月9日(火)～2月13日(土)

パネル展「東日本大震災が仙台市沿岸部地域に与えた影響と現在のようす」

パネル展「東日本大震災後の仙台市沿岸部の風景」

(会場：博物館)

令和3年6月20日(日)までの展示を予定していたが、福島県沖地震の影響による臨時休館に伴い、2月14日(日)より中断した。

※令和3年3月9日(火)～3月25日(木)は、せんだい3.11メモリアル交流館にて開催

③令和3年3月7日(日)

「仙台防災未来フォーラム2021」ブース出展

パネル展「東日本大震災が史跡に与えた影響と被災資料の保全活動」

冊子「仙台市博物館の資料レスキュー活動」配付
博物館ブース来場者146人、冊子配付数25冊

(会場：仙台国際センター展示棟)

8. ボランティア

仙台市博物館では「仙台市博物館ボランティア(三の丸会)」が展示解説をボランティアで行っている。平成9年に組織されたこの団体は令和2年で24年目を迎え、令和2年度の登録者は104人であった。

ボランティア活動は活動班(各班10～11人の12班編成)に分かれ、月に2回程度活動している。活動内容は常設展示室での資料解説が主で、他にもプレイミュージアムでの活動補助、平成22年度からは館庭(三の丸跡)案内をしている。

会の運営や情報交換は月1回の役員会で行われる。役員会は会長、副会長、会計、監事、各部長、班長、担当職員からなる。会全体の活動方針に関わる事項は年1回の総会で決定している。

また、ボランティアの任期については平成19年度より5年任期制を導入している。しかし市民からボランティア活動への要望が高まり、新規ボランティアの採用の仕方について見直しを図る必要が出てきたことから、平成27年度、任期についての見直しを行った。その結果、5年任期後の再応募は妨げないが連続した活動は10年までとすること、10年活動後は一度退会することが役員会等を通して了承された。また、平成29年度より5年以上活動をした退会者には登録・更新式において感謝状を贈呈している。

1. 新規会員の募集・養成講座等

本年度は新規ボランティア募集に14名の応募があり、13名を採用した。例年5月の中旬から下旬にかけてボランティア養成講座を実施し、新規会員については、講座を受講した後に正会員として登録することが慣例となっている。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動そのものも休止の状態が続き、養成講座の開催を延期せざるを得なかった。そのため、特例として養成講座の前に会員証を配布して正会員としての登録を認め、養成講座については後日開催した際に受講するという形をとった。

延期した養成講座は、令和3年3月に全2回・10講座で、例年よりも規模を縮小して開催する予定だったが、第1回講座を実施した後、新型コロナウイルス感染症の拡大により第2回講座の開催を急遽延期せざるを得なくなり、代替開催日未定のまま年度末

を迎えている。

なお、令和3年10月から博物館が大規模改修による長期休館となることから、令和3年度の新規会員の募集は行わなかった。



ボランティア養成講座

・第1回 令和3年3月13日(土)

会場：史跡陸奥国分寺・国分尼寺ガイダンス施設
学習室

内容：博物館の概要（教育普及・プレイミュージアム）／ボランティア活動について／三の丸会の紹介／歴史部門の展示説明／美術部門の展示説明

・第2回 令和3年3月20日(土) →延期

会場：博物館講習室

内容：歴史部門展示の説明／美術部門の展示説明

2. 令和2年度の活動の経過

令和2年度の三の丸会の活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止及び防煙垂れ壁落下に伴う臨時休館等により、事実上10月まで休止の状態が続いた。また、例年5月末に会員が一堂に会する形で開催していた総会も延期となり、後日書面表決という形で開催した。

10月の再開館に先立ち、三の丸会執行部と協議した結果、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示解説及び館庭案内の活動は今年度いっぱい休止し、博物館講習室等を使用し、部・班活動を実施することを中心とした各々の自己研鑽の時間に充てることとなった。また、大規模改修による長期休館を予定していることから、三の丸会としては、特例として6月から令和3年9月までを令和2年度として取り扱うことが決定した。

11月上旬に曜日班（各曜日1班・2班）ごとに合同説明会を開催し、今後の活動の進め方を確認の上、11月中旬から部・班活動を開始した。なお、部・班活動については、11月から2月までの間にのべ19回

実施した。一方、2月14日以降は、地震被害等による臨時休館等に伴い、活動の休止を余儀なくされた。

3. 博物館主催による主な研修

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施しているギャラリートーク及び接遇研修（生涯学習課と共催）等の研修会は開催することができなかった。

4. ボランティアと博物館との懇談会

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施しているボランティアと博物館との懇談会は開催することができなかった。

5. ボランティア新規会員との懇談会

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施しているボランティア新規会員との懇談会は開催することができなかった。

6. 部会活動

ボランティアは活動班の他に、5つの部会のいずれかに属し活動している。

表16 三の丸会の部会

部会	活動内容
運営部	会の運営に関する事務全般を担当し、会則の改正や総会の準備、議事録作成等を行う。
研修部	会員の研究発表会、学習会、講演会、館外研修会などの企画・運営を担当する。
会報部	三の丸会会報を発行。博物館情報、会員による寄稿文、勉強会報告などが掲載され、情報共有の大切な手段となっている。
英語部	海外からの観覧者に英語で解説する。予約による英語解説も行っている。部会では勉強会の他、英語ガイド事例集を作成。
資料部	観覧者からの質問と回答をまとめた「尋解集」の作成や、各種資料の収集・保管を担当。古文書講読会を月に1度実施。

<三の丸会部会主催による主な研修>

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施している新規会員向け研修、館外研修（ボランティア三の丸会研修旅行）、研修部主催・教養講座等の研修会は、開催することができなかった。

一方、各部や各班の活動において、新規会員に対するフォローアップ研修を積極的に行った。

9. 友の会

仙台市博物館友の会は、博物館活動を愛好する市民によって昭和47年に結成された。博物館を中心として歴史・芸術・民俗などに関する知識を深めながら会員相互の親睦をはかり、かつ博物館活動の支援を目的として、その普及発展に寄与してきた。

会員は賛助会員（年会費1口 5,000円）・普通会員（年会費 3,000円）・学生会員（年会費 2,000円）からなる。令和2年度の普通会員数は258人であった。すべての会員構成は、別表の通りである。

友の会の企画運営は、役員で構成される役員会において決定されており、本年度の役員会は9回開催された。また役員は会報を編集する編集委員会、研修会を企画・立案する研修委員会、講演会の司会や受付などを担当する講座委員会に属し、それぞれ積極的に活動を行った。各事業には友の会サポーターにも協力をいただいた。

会の事業実績は、右記のとおりである。広報セミナー3回、古文書講読会1回、見学セミナーを2回実施し、いずれも多くの方の参加を得ることができた。なお、本年度2回実施予定だった日帰り研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止となった。

表17 令和2年度会員内訳

	性別	年代	人数(人)	
賛助会員	—	—	21	
普通 会 員	男 性	10代	0	144
		20代	0	
		30代	2	
		40代	8	
		50代	19	
		60代	40	
		70代	27	
		80代	24	
		90代	1	
		不明	23	
	女 性	10代	0	114
		20代	0	
		30代	1	
		40代	8	
50代		12		
60代		28		
70代		35		
80代		20		
90代	0			
不明	10			
不 明		8		
学生会員	—	—	1	
計			280	

令和2年度 友の会事業実績

1. 総会

4/27 資料発送による書面表決 表決数213票

2. 事業

(1) 会報「仙台市博物館友の会だより」発行
191号～193号 計3号

(2) 行事

9/1 見学セミナー 地底の森ミュージアム
同行 小田嶋なつみ学芸員 参加33人

10/19 特集展示広報セミナー
「支倉常長帰国400年」
講師 黒田風花学芸員 参加55人

11/9 特集展示広報セミナー
「仙台藩の絵画」
講師 寺澤慎吾学芸員 参加59人

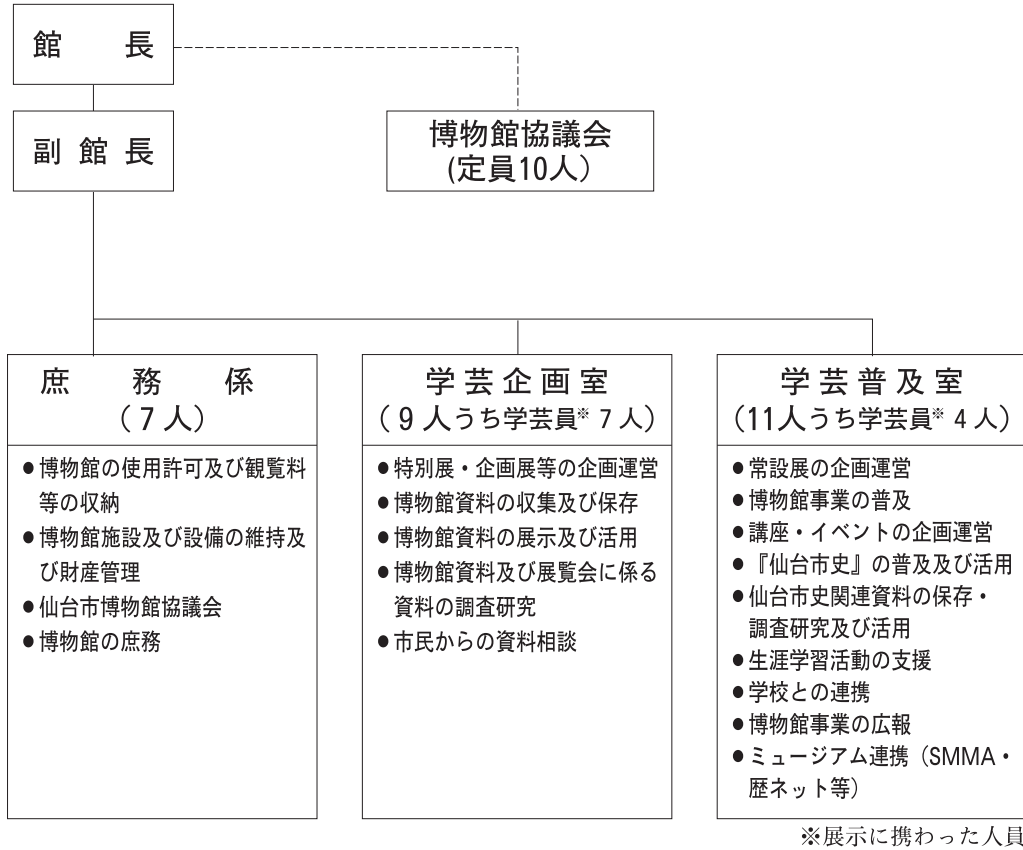
11/19 見学セミナー 宮城県美術館
同行 小田嶋なつみ学芸員
寺澤慎吾学芸員 参加56人

1/12 特集展示広報セミナー
「福島美術館の優品」
講師 小田嶋なつみ学芸員 参加38人

12/21 古文書講読会
「伊達政宗の重臣・
茂庭綱元宛書状を読む」
講師 黒田風花学芸員 参加33人

10. 組織・予算・運営

組織・事務分掌（令和2年4月1日現在）



予算概要（令和2年4月1日現在）

表18 令和2年度予算概要

(単位：千円)

費目	当初予算額	摘要
1 運営管理費	(1) 光熱水費	52,468 電気、上・下水道、ガス使用料
	(2) 管理運営委託費	104,449 警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	(3) 施設修繕費	9,792 機械設備等修繕費
	(4) 資料修繕費	1,340 収蔵資料修繕費
	(5) その他管理運営費	16,900 教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小計	184,949
2 資料購入費	0	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3 特別展覧会開催費	16,740	特別展覧会開催に要する経費
4 市史活用推進費	5,924	市史活用推進・刊行に要する経費
5 維持修繕費	140,019	大規模改修工事設計業務委託に要する経費
合計	347,632	

職員（令和2年4月1日現在）

館 副 長 館 長 高 橋 泰 あけみ
高 橋 高 橋

室・係	職名	氏名
庶務係	係長	高橋 薫
	総括主任	門馬 純子
	主任	佐藤 正彦
	主事	板橋 裕太
	会計年度任用職員	高橋 麻衣
	会計年度任用職員	遠藤 遼亮
	会計年度任用職員	阿部 千恵
学芸企画室	室長	酒井 昌一郎
	主任	佐々木 徹
	主事	寺澤 慎吾
	主事	小田嶋 なつみ
	主事	黒田 風花
	会計年度任用職員	明石 治郎
	会計年度任用職員	鈴木 かおる
	会計年度任用職員	中武 敏彦
	会計年度任用職員	佐藤 由夏理
学芸普及室	室長	樋口 智之
	指導主事	飯淵 泉
	指導主事	村上 聡
	主任	村上 明日香
	主事	菅原 美咲
	会計年度任用職員	村岡 淳子
	会計年度任用職員	氏家 文枝
	会計年度任用職員	二上 玲子
	会計年度任用職員	倉橋 真紀
	会計年度任用職員	長澤 伸樹
	会計年度任用職員	阿部 さやか

仙台市博物館協議会

令和2年度 仙台市博物館協議会委員

(五十音順・敬称略 ◎=会長 ○=副会長)

跡部 薫	仙台市議会議員
○尾崎 彰宏	東北大学大学院教授
菊池 勇夫	宮城学院大女子大学名誉教授
◎佐川 正敏	東北学院大学教授
佐治ゆかり	前 郡山市立美術館館長
佐藤 憲子	仙台市放課後子ども教室 遠見塚 YOU-GOクラブ コーディネーター
高橋 綾子	仙台市立大沢中学校校長
伊達 泰宗	伊達家伯記念會(株)取締役会長
長岡 龍作	東北大学大学院教授
森 美智子	東北学院大学名誉教授

- (7) 市史活用推進事業及び資料レスキューについて
- (8) 令和3年度の展覧会について
- (9) レストラン運営会社の変更について

2 協議事項

- (1) 企画展 仙台市博物館開館60周年記念祭
「たっぷり わくわく 名品尽し」について

3 その他

- (1) 令和3年度の博物館協議会開催日程について

令和2年度 協議内容

○第1回 令和2年7月28日(火)

1 報告事項

- (1) 当館における新型コロナウイルス感染症対策について
- (2) 令和2年4月～6月の観覧者数について
- (3) 令和2年度の企画展について
- (4) 教育普及事業について
- (5) 市史活用推進事業及び資料レスキューについて
- (6) 各種機関との連携事業について

2 協議事項

- (1) コロナ禍時代における当館運営の在り方について

○第2回 令和3年2月9日(火)

1 報告事項

- (1) 当館における新型コロナウイルス感染症対策及び防煙垂れ壁落下にかかる休館について
- (2) 令和2年7月～令和3年1月の観覧者数について
- (3) 特集展示「支倉常長帰国400年」「仙台藩の絵画」「福島美術館の優品」について
- (4) 常設展「特集震災10年－災害を生きた人々」について
- (5) 大規模改修について
- (6) 教育普及事業について

11. 利用状況

月別観覧者数

表19 令和2年度 月別観覧者数（人）

	個人				団体				無料	総計
	一般	高校	小中	計	一般	高校	小中	計		
4	145	5	10	160	0	0	0	0	176	336
5	467	4	6	477	0	0	0	0	314	791
6	1,090	12	33	1,135	0	0	0	0	529	1,664
7	1,995	35	93	2,123	0	0	0	0	638	2,761
8	697	19	67	783	0	0	0	0	194	977
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	2,876	42	162	3,080	10	0	256	266	1,452	4,798
11	3,330	47	50	3,427	4	0	70	74	2,184	5,685
12	1,539	35	27	1,601	0	0	0	0	720	2,321
1	839	11	11	861	0	0	0	0	752	1,613
2	426	7	10	443	0	0	0	0	290	733
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	13,404	217	469	14,090	14	0	326	340	7,249	21,679

展示開館日数 188日

※令和2年度の臨時休館

4月11日～5月18日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

8月9日正午～10月5日 防煙垂れ壁落下による点検・工事のため

2月14日～3月31日(*) 福島県沖地震による被災箇所の修繕のため

*至令和3年5月11日（5月12日より再開館）

施設利用状況 ※ギャラリー利用状況については実績なし

表20 ホール利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
建設局公園課	12/17	1	公園整備事業説明会
博物館		7	講演会等
計		8	

展示開館日数：188日

講師等利用状況

表21 講師利用件数表

年度	内訳	件数(件)				計	人数(人)				計
		館内		館外			館内		館外		
		学校	一般	学校	一般		学校	一般	学校	一般	
令和2年度		19	1	11	12	43	728	30	737	612	2,107

表22 レファレンス等の状況(件)

年度	内訳	資料相談・ 質問対応等	マスコミ 対応	資料閲覧 対応等	写真貸出・ 利用	計
令和2年度		219	255	34	233	741

表23【参考】 館外実施分含む博物館利用状況(人)

	人数
観覧者数	21,679
学校・各種教育機関との連携研修	0
情報資料センター利用者数(電話相談等除く)	632
館外講師派遣(対象人数)	1,349
仙台市史講座(参加者数)	58
図書館連携講座(参加者数)	56
計	23,774

視察対応状況 実績なし

12. 条例・規則・要綱等

仙台市博物館条例

昭和60年12月19日

仙台市条例第二九号

仙台市博物館条例（昭和36年仙台市条例第二十二号）の全部を改正する。

（設置）

第一条 歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として、博物館を設置する。

（名称及び位置）

第二条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
仙台市博物館	仙台市青葉区川内二十六番地

（観覧料）

第三条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

（使用の許可）

第四条 表第二に掲げる施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 使用目的が博物館の設置目的に反するとき

（使用料）

第五条 施設の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第

一項の許可を受けた者につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

一 天災その他自己の責めによらない事由により施設を使用できないとき

二 市長が別に定める期間内に施設の使用の取りやめを申し出たとき

（使用許可の取消し等）

第六条 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

一 第四条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第四条第二項各号の一に該当することとなったとき

（観覧料等の返還）

第七条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

一 観覧料を納入した者につき天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないとき

二 使用料を納入した者につき第五条の二各号のいずれかに該当するとき

（観覧料等の減免）

第八条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

（損害賠償）

第九条 博物館の建物、付属設備又は資料を損傷し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会）

第十条 博物館法（昭和26年法律第二百八十五号）

第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の任命の基準は、博物館法施行規則（昭和三十年文部省令第二十四号）第十八条に規定する基準とする。

3 協議会の委員の定数は、10人とする。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委 任)

第十一条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則 (昭63、12・改正) 抄

この条例は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則 (平3、12・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。
(経過措置)
- 2 次項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平9、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。
(経過措置の原則)
- 2 次項から附則第十三項まで定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平15、7・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平16、3・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平24、3・改正)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平28、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成28年10月1日から施行する。
(使用料に関する経過措置)
- 2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合には、当該行為を使用の許可等とみなして同項の規定を適用することができる。

附 則 (平31、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。
(使用料及び利用料金に関する経過措置の原則)
- 2 附則第四項及び第五項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料及び利用料金については、なお従前の例による。
- 3 施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合には、当該行為を使用の許可等とみなして前項の規定を適用することができる。

別表第一(第三条関係)

(平28、3・改正)

区 分		金額(1人につき)
常 設 展	個人利用	一 般 460円
		高 校 生 230円
		小学生・中学生 110円
展	団体利用	一 般 360円
		高 校 生 180円
		小学生・中学生 90円
特 別 展		1,700円の範囲内で教育委員会が定める額

備考

- 一 特別展の観覧料を納入したものは、常設展は無料とする。
- 二 団体利用とは、30人以上の団体による利用をいう。
- 三 常設展のみの団体利用においては、引率者は、30人に1人の割合で無料とする。

別表第二（第四条、第五条関係）

（平3、12・平9、3・平28、3・平31、
3・改正）

使用区分 \ 使用時間	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:30)
ホール	5,500円	7,200円
ギャラリー	3,900円	4,800円

備考

- 一 全日（午前9時～午後4時30分）の使用時間に係る使用料は、午前及び午後の使用料の合計額とする。
- 二 使用時間が本表に定める使用時間に満たない場合は、時間割計算は、行わない。
- 三 本表に定める使用時間を超えて使用する場合における当該超える分に係る使用料は、その使用が午前9時以前又は正午から午後1時までのときは午前、午後4時30分以降のときは午後の使用料の額の時間割計算による。この場合において、超える時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。
- 四 本表に定める使用時間に準備等のために使用する場合は、当該使用料の2分の1とする。
- 五 附帯設備の使用料は、教育委員会が定める。
- 六 暖房し、又は冷房する場合の使用料は、教育委員会が定める。

仙台市博物館条例施行規則

昭和61年1月24日

仙台市教育委員会規則第二号

仙台市博物館条例施行規則（昭和36年仙台市教育委員会規則第八号）の全部を改正する。

（趣 旨）

第一条 この規則は、仙台市博物館条例（昭和60年仙台市条例第二九号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（休館日）

第三条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館することができる。

- 一 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）
- 二 休日の翌日（土曜日、日曜日、十月の第二月曜日の翌日又は休日に当たる日を除く。）
- 三 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで
- 四 その他教育委員会が必要と認める日

（入館者の遵守事項）

第四条 入館者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 博物館の建物、付属設備若しくは資料を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと
- 二 許可を得ないで博物館の資料の撮影、模写等をしないこと
- 三 所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと
- 四 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと
- 五 その他係員の指示に従うこと

（入館の制限）

第五条 教育委員会は、博物館を利用する者が次の各号の一に該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることがある。

- 一 適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の

者

- 二 酔者
- 三 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯し、又は動物を伴う者
- 四 係員の指示に従わない者
- 五 その他管理上支障があると認められる者
(観覧券)

第六条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、観覧券の交付を受け、展示室の入り口においてこれを係員に提示しなければならない。

- 2 前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。
(使用許可の手続)

第七条 条例第四条第一項の許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者は、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の十四日前までに使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 前項の使用申込書の受付は、使用日の3月前から行うものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、6月前から行うことができる。
- 3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。
(市長が必要と認めるときの使用料の納期限)

第七条の二 条例第五条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

- 一 使用料を口座振替の方法により納入する場合
使用許可を受けた日の属する月の翌月末日
- 二 教育委員会が特別な事由があると認める場合
教育委員会が定める日

(市長が必要と認めるときの使用料の額の特例)

第七条の三 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が条例第五条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

- 2 条例第五条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に

応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- 一 使用許可を受けた日から使用日の一月前の日までの期間 零
- 二 使用日の一月前の日の翌日から使用日の七日前の日までの期間 条例第五条第一項の規定による使用料（以下「従前の使用料」という。）の額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）。ただし、附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、零
- 三 使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間 従前の使用料の額
- 3 使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。
(使用者の遵守事項)

第八条 使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 使用の権利を譲渡し、又は転貸しないこと
- 二 使用許可を受けた目的以外の目的に使用しないこと
- 三 入場人員は収容定員を超えないこと
- 四 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に留意すること
- 五 許可を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと
- 六 許可を得ないで広告物等の掲示若しくは配布又は看板立札等の設置を行わないこと
- 七 使用の終了後、直ちにその使用に係る施設を原状に回復すること
(観覧料等の返還)

第九条 観覧料を納入した者が天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないときは、観覧料の全額を返還する。

- 2 使用者が条例第五条の二第一号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。
- 3 使用者が条例第五条の二第二号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、

それぞれ当該各号に定める額とする。

一 第七条の三第二項第一号に掲げる期間 既納の使用料の全額

二 第七条の三第二項第二号に掲げる期間 既納の使用料の額から当該額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）を控除して得た額（付帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、既納の使用料の全額）

4 使用料の返還を受けようとする者は、使用料返還申込書を教育委員会に提出しなければならない。（観覧料等の減免）

第十条 観覧料又は使用料の減免を受けようとする者は、減免を受けようとする事由を記載した減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

（付帯設備等の使用料）

第十一条 条例別表第二備考第六号の付帯設備の使用料は、別表一に表の定めるとおりとする。

2 条例別表第二備考第七号の暖房し、又は冷房する場合の使用料は、同表に定める使用料の額に同表の使用区分に応じ別表二の表に定める額を加算した額とする。

（博物館協議会）

第十二条 仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十三条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要と認めたときに開催する。

2 会長は、会議を招集し、その議長となる。
3 会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。
4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十四条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

（実施細目）

第十五条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則（昭和63、2・改正）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成9、3・改正）

（施行期日）

1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。（経過措置）

2 改正後の別表一の表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後になされた使用許可に係る付帯設備使用料について適用し、施行日前になされた使用許可に係る付帯設備使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成9、9・改正）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成15、9・改正）

（施行期日）

1 この規則は、平成15年11月16日から施行する。ただし、第六条及び第十条の改正規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 改正後の第九条の規定は、この規則の施行の日以後に使用料の返還の申込みがあった場合について適用する。

附 則（平16、3・改正）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第八条の改正規定及び第十三条の改正規定（「定例会及び臨時会とし、定例会は隔月に、臨時会は」を削る部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附 則（平17、3・改正）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平27、3・改正）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

別表（第十一条関係）

（平9、3・改正）

一 付帯設備使用料

区 分	単 位	金額（1回につき）
舞台照明設備	1式	1,000円
音響設備	1式	2,100円
視聴覚設備	1式	1,000円

備考 1回とは、使用1回（使用が2日以上にわたる場合は、1日）をいう。

二 暖房し、又は冷房する場合の加算額

区 分	加算額（1時間につき）
ホ ー ル	500円
ギャラリー	400円

備考 暖房し、又は冷房する時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げる。

仙台市博物館資料取扱要綱

（平成29年1月12日教育長決裁）

（趣旨）

第1条 この要綱は、仙台市博物館（以下「博物館」という。）における、美術工芸品や歴史資料等の文化財（以下「文化財」という。）の購入、寄贈、寄託、貸出および借用等に関する取扱いについて必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱における博物館資料とは、博物館が購入、寄贈等により所蔵している文化財を指す。

2 寄託資料とは、所蔵者からの寄託の申し出を受け、博物館が展示活用等のため受託した文化財を指す。

3 借用資料とは、博物館における展示や調査研究等のため、所蔵者から一時的に借用する文化財を指す。

（博物館資料等の収集方針）

第3条 博物館資料の購入、寄贈は博物館資料の収集方針（別紙1）に沿って行うものとする。また寄託についても博物館資料の収集方針に準じて行うものとする。

（購入）

第4条 仙台市博物館長（以下「館長」という。）は資料の購入にあたり、1件につき100万円以上に相当する場合、その適否及び価格について、博物館協議会等、学識経験および専門的知識を有する者の審議を経るものとする。

2 1件につき100万円以上に相当しない場合でも、館長が必要と認める場合は、その適否及び価格について、博物館協議会等、学識経験および専門的知識を有する者の意見を聴取することができる。

3 館長は、博物館資料を購入したときは、仙台市博物館資料購入台帳および仙台市が定める備品台帳に登載するものとする。

（寄贈）

第5条 館長は、文化財を寄贈しようとする者（以下「寄贈者」という。）から、資料寄贈申込書（様式1）の提出を受け、審査するものとする。

2 館長は、文化財の寄贈を受納したときは、資料寄贈受納書（様式2）を発行し、これを仙台市博物館資料寄贈台帳に登載するものとする。

3 館長は、文化財の寄贈者に対し、感謝状等によ

り感謝の意を表することができる。

(寄託)

第6条 館長は、所蔵者から文化財の寄託の申し出があった場合は、これを受託することができる。

- 2 館長は、文化財を寄託しようとする者（以下「寄託者」という。）から、資料寄託申込書（様式3）の提出を受け、審査のうえ可否を決する。
- 3 館長は、文化財を寄託者から受領したときは、寄託者に資料受託書（様式4）を発行するとともに、仙台市博物館寄託台帳に登載するものとする。
- 4 寄託資料の受託期間は原則として1年度以内とし、寄託者から特に申し出がない限り、必要に応じて更新できるものとする。
- 5 寄託の更新手続きは年度ごとに行ない、原則として前年度末の3月末日までに寄託者に更新通知を行うものとする。
- 6 寄託資料の受け入れ時および返還時の輸送または修理については、寄託者の負担とする。ただし、館長が展示および保管のため緊急に輸送または修理する必要があると認めるときは、寄託者と協議のうえ、博物館の負担で行うことができる。
- 7 館長は、寄託資料の保管について博物館の所蔵資料と同等に扱い、その責を負う。ただし、災害その他不可抗力によって汚損、破損および亡失等があった場合はこの限りではない。

(寄託の変更等)

第7条 館長は、寄託資料の全部を返還するときは、資料受託書と引き換えに文化財を引き渡し、その際、寄託者は受領書（様式5）を館長へ提出するものとする。

- 2 館長は、寄託資料の一部を返還するときは、寄託者から寄託一部解除願い書（様式6）の提出を受け、新たな資料受託書を発行するものとする。
- 3 館長は、寄託者が相続または譲渡等により変更となり、かつ引き続き寄託を希望する場合は、新寄託者から寄託者変更届（様式7）の提出を受けるものとする。また寄託者の住所が変更となった場合も寄託者変更届の提出を受けるものとする。
- 4 上記1項から3項までの届出を受けた場合は、仙台市博物館寄託台帳を更新し管理するものとする。
- 5 寄託資料の特別利用および展覧会等への一時貸出については、それを行おうとする者が寄託者の承諾を得たうえで、必要な手続きを行わなければ

ならない。

(借用)

第8条 館長は、博物館における展示、調査研究等のため、所蔵者から一時的に文化財を借用する場合、資料借用書（様式8）を発行し、資料借用書の控えを保管する。

- 2 借用資料は、借用目的が達せられた場合、すみやかに資料借用書と引き換えに所蔵者に返納する。
- 3 借用期間は1年以内とし、借用期間を延長する場合は、あらためて資料借用書を発行するものとする。
- 4 所蔵者が資料借用書を紛失した場合は、借用資料の返納の際、所蔵者から受領書の提出を受けるものとする。

(博物館資料の貸出)

第9条 館長は、博物館資料の借用依頼があった場合は、審査のうえ貸し出すことができる。

- 2 館長は、博物館資料の貸出を承諾したときは、出品承諾書（様式9または資料の貸出に当たって承諾を受けた者（以下「借用者」という。）の定めるもの）を発行し、仙台市博物館資料貸出台帳に登載するものとする。
- 3 貸出資料の件数は、貸出依頼のあった展覧会等1件につき20件以内とし、貸出期間は60日以内とする。ただし、特別の事由がある場合は、この限りではない。

- 4 館長は、資料の貸出を行うときは、借用者から借用書を受け取るものとする。
- 5 館長は、貸し出した資料の返還を受けるときは、資料の汚損、破損等の有無を確認し、借用書を借用者に返還するものとする。

(博物館資料の特別利用)

第10条 館長は、博物館内において博物館資料の閲覧や撮影を行おうとする者から、仙台市博物館資料特別閲覧・撮影申込書兼承認書（様式10）の提出を受け、これを承認する場合は承認書として発行するものとする。

(写真等の利用)

第11条 館長は、博物館資料の写真等（フィルム、電子データ、映像を含む）の貸出および掲載等を求める者から、仙台市博物館写真利用・減免申込書（様式11）の提出を受け、これを承認する場合は仙台市博物館写真利用・減免承認書（様式12）を発行するものとする。

2 写真の利用については別に定める。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、資料の取り扱いについて必要な事項は館長が別に定める。

附則

この要綱は、平成29年1月12日から施行する。

※仙台市博物館資料取扱要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱

(平成25年2月4日教育長決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度（以下「制度」という。）の設置及び取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。
(設置目的)

第2条 仙台市博物館（以下「博物館」という。）は、大学等との連携を図り、学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生等が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的に、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度を設けるものとする。

(対象)

第3条 制度に入会することができるものは、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の学校単位とする。但し、博物館が認める場合は、学部等の単位でも入会することができる。

(名称)

第4条 制度に入会した大学等は、「仙台市博物館キャンパスメンバー」（以下「メンバー」という。）と称する。

(特典)

第5条 メンバーの特典は、次のとおりとする。

- (1) メンバーに在籍する学生及び教職員の常設展観覧料の全額免除及び特別展観覧料の半額免除
- (2) 博物館が発行する印刷物の提供
- (3) 博物館での校外授業、研修、見学等の実施への協力
- (4) その他博物館長が認めた事項

2 前項第1号の特典を受けようとする者は、その身分を証明するものを提示するものとする。

(入会手続)

第6条 制度に入会を希望する大学等は、別紙様式1に定める「仙台市博物館キャンパスメンバーズ入会申込書」（以下「申込書」という。）により入会手続を行うものとする。

2 博物館は前項に定める入会手続を行った大学等がメンバーとしての要件を満たしている場合は入会を認め、別紙様式2に定めるメンバー証を発行するものとする。

(会費)

第7条 会費は、年会費とし、別表のとおりとする。

ただし、次条第2項の規定により入会したメンバーの会費は、別表備考欄2のとおりとする。

2 前項の規定による会費は、納入通知書記載の納入期限までに納入するものとする。

3 博物館は、指定した期日までに会費の払い込みがない場合は、入会を取り消すことができるものとする。

(有効期間)

第8条 メンバーの有効期間は、原則として毎年4月1日から翌年の3月末日までとする。

2 大学等は、前項の規定にかかわらず、年度途中で入会できるものとする。この場合の有効期間の始期は、申し込みの時期、大学等の要望その他の状況を考慮し、博物館が定める。

(退会)

第9条 メンバーが退会しようとする場合は、博物館に退会届を提出するものとし、博物館が受理した時点で退会したものとする。

2 博物館は、メンバーとして適当でないと認められる行為があった場合は、当該メンバーを脱会させ、再入会させないことができるものとする。

3 退会した場合の会費は、原則として返還しない。

(事務)

第10条 制度の事務は博物館が行う。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年4月1日改正)

この改正は、平成31年4月1日から施行する。

別表 区分と年会費

学生・教職員数	年会費	月割額
500人未満	30,000円	2,500円
500～1,000人未満	50,000円	4,200円
1,000～1,500人未満	75,000円	6,300円
1,500～2,000人未満	100,000円	8,400円
2,000～2,500人未満	125,000円	10,500円
2,500～3,000人未満	150,000円	12,500円
3,000～3,500人未満	175,000円	14,600円
3,500～4,000人未満	200,000円	16,700円
4,000～4,500人未満	225,000円	18,800円
4,500～5,000人未満	250,000円	20,900円
5,000～5,500人未満	275,000円	23,000円
5,500～6,000人未満	300,000円	25,000円
6,000～6,500人未満	325,000円	27,100円
6,500～7,000人未満	350,000円	29,200円
7,000～7,500人未満	375,000円	31,300円
7,500～8,000人未満	400,000円	33,400円
8,000～8,500人未満	425,000円	35,500円
8,500～9,000人未満	450,000円	37,500円
9,000～9,500人未満	475,000円	39,600円
9,500人以上	500,000円	41,700円

備考

- 1 学生数には、大学院生、通信制課程の学生を含む。また、基準となる学生数は申込日における直近の学校基本調査票（文部科学省指定統計）に基づくものとする。
- 2 年度中の入会に係る当該年度の会費については、月割額（当該年度を12で除して得た額に100円未満の端数が生じたときは100円に切り上げた額）に入会月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とする。

※ 仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館のあゆみ

旧 館

昭和34年 3月	博物館建設調査着手
35年 1月	学識経験者による基本構想検討
3月	博物館建設費予算計上
9月	博物館建設事務局設置
10月	博物館建設工事着工
36年 6月	同工事竣工（鉄筋コンクリート2階建一部地階 総床面積883㎡）
7月	博物館条例設定
9月	博物館施行規則及び処務規定制定
10月	同条例・施行規則施行、仙台市博物館開館
38年 7～11月	第一次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積244㎡）
43年 3～11月	第二次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積879㎡）
46年12月～47年 3月	第三次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積405㎡）
50年11月	文化財保護法第48条に基づく勧告・承認館認定
58年 3月	新館建築のため休館
5月	旧博物館解体工事開始
7月	旧博物館解体工事完了

新 館

昭和57年 4月	博物館基本構想策定委員会設置
7月	同委員会が「仙台市博物館基本構想報告書」を仙台市教育委員会へ提出
9月	市議会で新博物館基本設計費を議決
11月	新博物館建設基本設計開始
58年 5月	新博物館建設実施設計・展示実施設計開始
59年 1月	博物館改築工事安全祈願祭及び起工式執行
60年 7月	建築工事完了
11月	定礎式
61年 2月	展示工事完了
3月	新博物館開館
62年 9月	新博物館入場者50万人達成
平成元年10月	新博物館入場者100万人達成
11年 8月	新博物館入場者300万人達成
13年 6月	「慶長遣欧使節関係資料」47点 歴史資料国宝第1号指定
19年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定業務開始
21年 3月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画総合設計完了
21年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」館内改修工事着工
22年 3月	改修工事完了
22年 4月	リニューアルオープン
23年 3～4月	東日本大震災に伴う復旧工事（1期）
4月	開館50周年
6～7月	復旧工事（2期）
24年 1～2月	復旧工事（3期）、完全復旧
7月	開館以来の入館者数が700万人を突破
25年 6月	国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち、「支倉常長像」等3点がユネスコ記憶遺産に認定
26年12月～27年 2月	空気熱交換機改修工事（1期）
27年 9月～28年 2月	空気熱交換機改修工事（2期）
29年 1～3月	空調設備改修工事（1期）
30年 1～3月	空調設備改修工事（2期）
令和 2年 1～3月	冷温水循環ポンプ改修工事・受変電設備更新工事
3年 3月	大規模改修工事（長寿命化・展示リニューアル）設計完了

仙台市博物館年報

第48号 令和2年度

編集・発行 仙台市博物館
仙台市青葉区川内26番地
〈仙台城三の丸跡〉
Tel.022(225)2557/0814

印刷 株式会社 孔栄社
仙台市青葉区立町16-13
Tel.022(262)4545

令和3年6月30日発行
©Sendai City Museum 2021

再生紙を使用しています